

# 令和3年度使用 中学校用教科用図書

- 1 全ての教科用図書に関する  
調査研究報告 (⑥)
- 2 各学校からの報告をとりまとめた  
調査研究報告 (⑤)

# 目 次

## 【全ての教科用図書に関する調査研究報告 (⑥)】

国語	1 頁	～	2 頁
書写	3 頁	～	4 頁
社会 (地理的分野)	5 頁	～	6 頁
社会 (歴史的分野)	7 頁	～	9 頁
社会 (公民的分野)	1 0 頁	～	1 1 頁
地図			1 2 頁
数学	1 3 頁	～	1 5 頁
理科	1 6 頁	～	1 7 頁
音楽 (一般)			1 8 頁
音楽 (器楽合奏)			1 9 頁
美術			2 0 頁
保健体育	2 1 頁	～	2 2 頁
技術・家庭 (技術分野)			2 3 頁
技術・家庭 (家庭分野)			2 4 頁
英語	2 5 頁	～	2 6 頁
道徳	2 7 頁	～	2 9 頁

## 【各学校からの報告をとりまとめた調査研究報告 (⑤)】

国語	3 0 頁	～	3 1 頁
書写	3 2 頁	～	3 3 頁
社会 (地理的分野)	3 4 頁	～	3 5 頁
社会 (歴史的分野)	3 6 頁	～	3 8 頁
社会 (公民的分野)	3 9 頁	～	4 0 頁
地図			4 1 頁
数学	4 2 頁	～	4 4 頁
理科	4 5 頁	～	4 6 頁
音楽 (一般)			4 7 頁
音楽 (器楽合奏)			4 8 頁
美術			4 9 頁
保健体育	5 0 頁	～	5 1 頁
技術・家庭 (技術分野)			5 2 頁
技術・家庭 (家庭分野)			5 3 頁
英語	5 4 頁	～	5 5 頁
道徳	5 6 頁	～	5 8 頁

# 調査研究報告書 ⑥

## 国語

発行者の番号略称	書名	学習指導要領との関連	内容	構成・分量・装丁	表記・表現
2 東書	新しい国語 1 新しい国語 2 新しい国語 3	<ul style="list-style-type: none"> <li>学習指導要領に示されている目標、内容、指導計画の作成と内容の取扱いを踏まえ、「知識・技能」「思考・判断・表現」「主体的に学習に取り組む態度」を重視している。</li> <li>教育内容の主な改善事項のうち、「情報の扱い方に関する指導の改善・充実」に関連して、「情報の扱い方」をまとめて確認できるように、「学びを支える言葉の力」に掲載している。</li> </ul>	<p>【知識・技能】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>情報の扱い方を「基礎編」の「学びを支える言葉の力」、「資料編」で示し、単元の中では必要な内容を確認できるように示している。</li> <li>「学びを支える言葉の力」に掲載している情報の扱い方に関する内容が、どの教材と関連するのかを巻頭や本編中に示している。</li> <li>単元の中には本文の言葉を用いた「広がる言葉」、「資料編」の「言葉を広げよう」にはテーマごとの表現を示している。「学習用語一覧」を掲載している。</li> <li>言葉を通して季節に対する感性や表現に触れ、味わうことができるよう、単元の扉に7つの詩(1年)、短歌(2年)、俳句(3年)を示している。</li> <li>物語、和歌、漢文等、複数のジャンルの古典作品を掲載し、「資料編」にも古典作品に関連する資料を掲載している。</li> </ul> <p>【思考・判断・表現】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>「学びを支える言葉の力」に、思考の仕方についてまとめて示し、1年生、2年生の資料編には「発想・整理の方法」を掲載している。</li> <li>各単元の「言葉の力」に、単元の目標とする資質・能力を身に付けることに向かうための説明を記載している。</li> <li>考えや学習内容、学習の振り返りについて、自分の言葉でまとめる学習活動を設定している。</li> <li>知識や技能を活用する言語活動として、「調べて分かったことを伝えよう」(1年)、「説得力のある提案をしよう」(2年)、「場面に応じて話そう」(3年)等、生活や他の学習につながるような教材を設定している。</li> </ul> <p>【主体的に学習に取り組む態度】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>生徒が学習の見通しをもてるよう、単元の目標や「学びの扉」、要点を示す「言葉の力」を掲載するとともに、学習を振り返る活動を設定している。</li> <li>「基礎編」の「つながる・広がる」に、身に付けた資質・能力を他の学習や生活に生かす手立てを示している。</li> <li>SDGsに関わるもの等、現代的な諸課題に関連する教材を掲載し、一人一人が自分の問題として考えることにつながるよう設定している。</li> </ul> <p>【かわさき教育プラン】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>「読書への招待」「本の世界を楽しもう」で読書教材や読書活動、テーマごとの図書等を示し、単元の中で学習内容と関連する図書を示している。</li> </ul>	<p>【主体的・対話的で深い学びに関わる構成】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>巻頭に、各単元の指導事項等を確認できる「〇年で学ぶこと」を示している。</li> <li>本編の後ろに「基礎編」「資料編」を設定している。</li> <li>単元を、「目標」「問いかけ」「言葉の力」「振り返り」の構成にしている。</li> <li>学習に関連する動画や資料等を確認できるように、二次元コードを設定している。</li> </ul> <p>【分量・装丁】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>判型はB5判にしている。</li> </ul>	<p>【読みやすさの工夫】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>独自の書体の活字を用いている。</li> <li>カラーユニバーサルデザインの観点からの工夫をしている。</li> <li>記号やイラスト等を用いて示したり説明したりしている。</li> <li>「読むこと」の教材では各行の下に点、5行ごとに数字を付している。</li> </ul>
15 三省堂	現代の国語 1 現代の国語 2 現代の国語 3	<ul style="list-style-type: none"> <li>学習指導要領に示されている目標、内容、指導計画の作成と内容の取扱いを踏まえ、「知識・技能」「思考・判断・表現」「主体的に学習に取り組む態度」を重視している。</li> <li>教育内容の主な改善事項のうち、「情報の扱い方に関する指導の改善・充実」に関連して、「情報の扱い方」をまとめて確認できるように、「思考の方法」や「資料編」に掲載している。</li> </ul>	<p>【知識・技能】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>情報の扱い方を「資料編」で示し、単元の中では必要な内容を確認できるように示している。「複数の情報を関連づけて考えをまとめる」を掲載している。</li> <li>「資料編」に掲載している情報の扱い方に関する内容が、どの教材と関連するのかを本編中に示している。</li> <li>単元の中には本文の言葉を用いた「語彙を豊かに」、「資料編」の「語彙の広がり」にはテーマごとの表現を示している。「学習用語辞典」を掲載している。</li> <li>言葉を通して感性や表現に触れ、味わうことができるよう、「歌の言葉」で歌謡曲の歌詞を掲載している。</li> <li>物語、和歌、漢文等、複数のジャンルの古典作品を掲載し、「資料編」にも古典作品に関連する資料を掲載している。</li> </ul> <p>【思考・判断・表現】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>「読み方を学ぼう」のページや、単元ごとの「思考の方法」を示し、「資料編」には『「思考の方法」一覧』を掲載している。</li> <li>「話すこと・聞くこと」「書くこと」の単元で、単元の目標とする資質・能力を身に付けることに向かうための「ポイント」を記載している。</li> <li>考えや学習内容、学習の振り返りについて、自分の言葉でまとめる学習活動を設定している。</li> <li>知識や技能を活用する言語活動として、「調べたことを整理してわかりやすくまとめる」(1年)、「資料や機器を活用して効果的に発表する」(2年)、「状況に応じて話す力を養う」(3年)等、生活や他の学習につながるような教材を設定している。</li> </ul> <p>【主体的に学習に取り組む態度】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>生徒が学習の見通しをもてるよう、単元の目標や、要点を示す「ポイント」「読み方を学ぶ」を掲載するとともに、学習を振り返る活動を設定している。</li> <li>単元の中の「学びを広げる」に、学習した内容や身に付けた資質・能力を生かして行うことができる発展的な課題を示している。</li> <li>SDGsに関わるもの等、現代的な諸課題に関連する教材を掲載し、一人一人が自分の問題として考えることにつながるよう設定している。</li> </ul> <p>【かわさき教育プラン】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>「読書の広場」「読書活動」で読書教材や読書活動、テーマごとの図書等を示し、単元の中で、学習内容と関連する図書を示している。</li> </ul>	<p>【主体的・対話的で深い学びに関わる構成】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>巻頭に、各単元の指導事項等を確認できる「領域別教材一覧」を示している。</li> <li>本編の後ろに「読書の広場」「資料編」を設定している。</li> <li>単元を、「読むこと」は「目標の確認」「内容を整理する」「読みを深める」「自分の考えを深める」「学びを振り返る」の構成、「話すこと・聞くこと」「書くこと」は「目標の確認」「学習の流れ」「ポイント」「学びを振り返る」の構成にしている。</li> <li>学習に関連する資料を確認できるように、二次元コードを設定している。</li> </ul> <p>【分量・装丁】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>判型はB5判にしている。</li> </ul>	<p>【読みやすさの工夫】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>独自の書体の活字を用いている。</li> <li>カラーユニバーサルデザインの観点からの工夫をしている。</li> <li>記号やイラスト等を用いて示したり説明したりしている。</li> <li>「読むこと」の教材では5行ごとに数字を付している。</li> </ul>
17 教出	伝え合う言葉 中学国語1 伝え合う言葉 中学国語2 伝え合う言葉 中学国語3	<ul style="list-style-type: none"> <li>学習指導要領に示されている目標、内容、指導計画の作成と内容の取扱いを踏まえ、「知識・技能」「思考・判断・表現」「主体的に学習に取り組む態度」を重視している。</li> <li>教育内容の主な改善事項のうち、「情報の扱い方に関する指導の改善・充実」に関連して、「情報の扱い方」をまとめて確認できるように、単元の前の「学びナビ」に掲載している。</li> </ul>	<p>【知識・技能】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>情報の扱い方を、単元の言語活動に必要な内容を確認できるように、単元の前に「学びナビ」として示している。</li> <li>「学びナビ」に掲載している情報の扱い方に関する内容が、どの教材と関連するのかを巻頭に示している。</li> <li>単元の中には本文の言葉を用いた「言葉と表現」「この教材で学ぶ言葉」、折込の「理解に役立つ言葉」「表現に役立つ言葉」にはテーマごとの表現を示している。「学習に必要な用語(索引)」を掲載している。</li> <li>言葉を通して季節に対する感性や表現に触れ、味わうことができるよう、「四季のたより」で短歌や俳句を掲載している。</li> <li>物語、和歌、漢文等、複数のジャンルの古典作品を掲載し、「言葉の自習室」にも古典作品に関連する資料を掲載している。</li> </ul> <p>【思考・判断・表現】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>「学びナビ」の中で思考の仕方について示し、1年生の「言葉の自習室」には、「アイデアの出し方」を掲載している。</li> <li>「学びナビ」の中の「ここが大事」に、単元の目標とする資質・能力を身に付けることに向かうための説明を記載している。</li> <li>考えや学習内容について、自分の言葉でまとめる学習活動を設定している。</li> <li>知識や技能を活用する言語活動として、「読み手を意識して報告文を整える」(1年)、「説得力のある提案をする」(2年)、「表現の工夫を評価してスピーチをする」(3年)等、生活や他の学習につながるような教材を設定している。</li> </ul> <p>【主体的に学習に取り組む態度】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>生徒が学習の見通しをもてるよう、単元の目標や、要点を示す「ここが大事」を掲載するとともに、学習を振り返る活動を設定している。</li> <li>単元の中の「学びを生かそう」に、身に付けた資質・能力を他の学習や生活に生かす手立てを示している。</li> <li>SDGsに関わるもの等、現代的な諸課題に関連する教材を掲載し、一人一人が自分の問題として考えることにつながるよう設定している。</li> </ul> <p>【かわさき教育プラン】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>「読書への招待」で読書教材や読書活動等を示し、単元後の「広がる本の世界」で、単元の学習内容と関連するテーマの図書を示している。</li> </ul>	<p>【主体的・対話的で深い学びに関わる構成】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>巻頭に、各単元の指導事項等を確認できる「言葉の地図」を示している。</li> <li>本編の後ろに「言葉の自習室」「折込」を設定している。</li> <li>単元を、「学びナビ」「ここが大事」「目標」「振り返り」の構成にしている。</li> <li>学習に関連する動画や資料等を確認できるように、二次元コードを設定している。</li> </ul> <p>【分量・装丁】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>判型はB5判にしている。</li> </ul>	<p>【読みやすさの工夫】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>独自の書体の活字を用いている。</li> <li>カラーユニバーサルデザインの観点からの工夫をしている。</li> <li>記号やイラスト等を用いて示したり説明したりしている。</li> <li>「読むこと」の教材では各行の下に点、5行ごとに数字を付している。</li> </ul>

発行者の番号略称	書名	学習指導要領との関連	内容	構成・分量・装丁	表記・表現
38 光村	国語1 国語2 国語3	<p>・学習指導要領に示されている目標、内容、指導計画の作成と内容の取扱いを踏まえ、「知識・技能」「思考・判断・表現」「主体的に学習に取り組む態度」を重視している。</p> <p>・教育内容の主な改善事項のうち、「情報の扱い方に関する指導の改善・充実」に関連して、「情報の扱い方」をまとめて確認できるよう、「情報整理のレッスン」や「思考のレッスン」に掲載している。</p>	<p>【知識・技能】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>情報の扱い方を「情報整理のレッスン」「思考のレッスン」で示し、単元の中では必要な内容を確認できるよう示している。</li> <li>「学習の窓」に掲載している情報の扱い方に関する内容が、どの教材と関連するのかを本編中に示している。</li> <li>単元の中には本文の言葉を用いた「言葉を広げる」「学習で用いる言葉」、「学習を広げる」の「語彙を豊かに」にはテーマごとの表現を示している。「[索引]学習のための用語一覧」を掲載している。</li> <li>言葉を通して季節に対する感性や表現に触れ、味わうことができるよう、「季節のしおり」で詩や短歌、俳句、小説の一節等を掲載している。</li> <li>物語、和歌、漢文等、複数のジャンルの古典作品を掲載し、「学習を広げる」にも古典作品に関連する資料を掲載している。</li> </ul> <p>【思考・判断・表現】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>「思考の地図」に思考の仕方についてまとめて示し、「思考のレッスン」を設定するとともに、「学習を広げる」に『「思考のレッスン」一覧』を掲載している。</li> <li>各単元の「学習の窓」に、単元の目標とする資質・能力を身に付けることに向かうための説明を記載している。</li> <li>考えや学習内容、学習の振り返りについて、自分の言葉でまとめる学習活動を設定している。</li> <li>知識や技能を活用する言語活動として、「情報を整理して書こう」(1年)、「魅力的な提案をしよう」(2年)、「説得力のある構成を考えよう」(3年)等、生活や他の学習につながるような教材を設定している。</li> </ul> <p>【主体的に学習に取り組む態度】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>生徒が学習の見通しをもてるよう、単元の目標や、要点を示す「学習の窓」を掲載するとともに、学習を振り返る活動を設定している。</li> <li>単元の中の「つなぐ」「生活(読むこと)に生かす」に、身に付けた資質・能力を他の学習や生活に生かす手立てを示している。</li> <li>SDGsに関わるもの等、現代的な諸課題に関連する教材を掲載し、一人一人が自分の問題として考えることにつながるよう設定している。</li> </ul> <p>【かわさき教育プラン】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>「読書生活を豊かに」「読書に親しむ」で読書教材や読書活動、テーマごとの図書等を示し、単元の中で、学習内容と関連する図書を示している。</li> </ul>	<p>【主体的・対話的で深い学びに関わる構成】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>巻頭に、各単元の指導事項等を確認できる「学習の見通しをもとう」を示している。</li> <li>本編の後ろに「学習を広げる」を設定している。</li> <li>単元を、「読むこと」は「学習活動」「目標」「学習の窓」「振り返る」の構成、「話すこと・聞くこと」「書くこと」は「目標」「学習の窓」「学習を振り返る」の構成にしている。</li> <li>学習に関連する動画や資料等を確認できるよう、二次元コードを設定している。</li> </ul> <p>【分量・装丁】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>判型はB5判にしている。</li> </ul>	<p>【読みやすさの工夫】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>独自の書体の活字を用いている。</li> <li>カラーユニバーサルデザインの観点からの工夫をしている。</li> <li>記号やイラスト等を用いて示したり説明したりしている。</li> <li>「読むこと」の教材では5行ごとに数字を付している。</li> </ul>

# 調査研究報告書 ⑥

## 書写

発行者の番号略称	書名	学習指導要領との関連	内容	構成・分量・装丁	表記・表現
2 東書	新しい書写 一・二・三年	<p>・学習指導要領に示されている目標、内容、指導計画の作成と内容の取扱いを踏まえ、「知識・技能」「思考・判断・表現」「主体的に学習に取り組む態度」を重視している。</p> <p>・教育内容の主な改善事項のうち、「我が国の言語文化に関する指導の改善・充実」に関連して、文字文化に親しむことができるよう、「文字のいづみ」を掲載している。</p>	<p>【知識・技能】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・文字を書く上での要点を「書写のかぎ」と名付け、単元において示している。</li> <li>・毛筆の学習事項を生かして書くことができるよう、硬筆で書く欄やページを設けている。</li> <li>・「文字のいづみ」において伝統的な用具・用材、文字の成り立ちと移り変わり等の文字文化を紹介している。</li> <li>・書き初めの手本として、巻末に1年生は「夢の実現」「温故知新」、2年生は「感謝する心」「信念を貫く」、3年生は「希望に輝く春」「生命を尊ぶ」を掲載している。</li> <li>・小学校書写、高等学校書道との円滑な接続に向け、「小学校の学習を振り返ろう」「古典をもとに」を掲載している。</li> </ul> <p>【思考・判断・表現】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・目的や必要に応じて書写の学習を活用し、効果的に文字を書く力を育成できるよう、「生活に広げよう」で生活での活用に関連した学習活動を設定している。</li> <li>・比較や観察から、文字を書く際のポイントを自分で考えられるよう、「見つけよう」という学習過程を設定している。</li> </ul> <p>【主体的に学習に取り組む態度】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・巻頭の「書写で学ぶこと」で、書写学習の意義や身に付ける力、3年間の学習の見通しを示している。</li> <li>・単元の最後に自己の学びについて説明する「振り返って話そう」を設定している。</li> <li>・学習や生活で活用することができるよう、巻末の「書写活用ブック」に日常の書式等を掲載している。</li> </ul> <p>【かわさき教育プラン】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・課題解決や、理解を深めるために自分の考え等を説明したり、話し合ったりする学習活動を設定している。</li> </ul>	<p>【主体的・対話的で深い学びに関わる構成】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・見通しをもって学習できるよう、巻頭に「書写で学ぶこと」「書写の学習の進め方」を示している。</li> <li>・全体を学年別の構成にしている。</li> <li>・単元を「見つけよう」「確かめよう」「生かそう」「振り返って話そう」で構成している。</li> <li>・課題の文字を書く動画、関連する国語の資料等を見ることができる二次元コードを設定している。</li> </ul> <p>【分量・装丁】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・判型はAB判で、中とじである。</li> </ul>	<p>【読みやすさの工夫】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・毛筆では、朱墨を用いた文字手本を掲載して穂先の動きを示すとともに、「基本点面の書き方」で、イラストや擬態語を用いて筆圧、筆使いを示している。</li> <li>・記号やキャラクター、イラスト、写真を用いて内容を示したり説明したりしている。</li> <li>・カラーユニバーサルデザインの観点からの工夫をしている。</li> </ul>
15 三省堂	現代の書写 一・二・三	<p>・学習指導要領に示されている目標、内容、指導計画の作成と内容の取扱いを踏まえ、「知識・技能」「思考・判断・表現」「主体的に学習に取り組む態度」を重視している。</p> <p>・教育内容の主な改善事項のうち、「我が国の言語文化に関する指導の改善・充実」に関連して、文字文化に親しむことができるよう、「文字の変遷」や「身のまわりの文字」を掲載している。</p>	<p>【知識・技能】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・単元における「書き方を学ぼう」で、文字を書く上での要点や例を示している。</li> <li>・毛筆の学習事項を生かして書くことができるよう、硬筆で書く「書いて身につけよう」のページを設けている。</li> <li>・「学びを広げる」や「資料編」において伝統的な用具・用材、文字の変遷等の文字文化を紹介している。</li> <li>・書き初めの手本として、巻末に1年生は「日進月歩」「輝く生命」、2年生は「燃ゆる思い」「温故知新」「平和の鐘」「大望を抱く」、3年生は「旅立ちの時」「山光澄我心」を掲載している。</li> <li>・小学校書写、高等学校書道との円滑な接続に向け、「基礎編」「書の古典」等を掲載している。</li> </ul> <p>【思考・判断・表現】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・目的や必要に応じて書写の学習を活用し、効果的に文字を書く力を育成できるよう、「やってみよう」で書写の生活での活用に関連した学習活動を設定している。</li> <li>・比較や観察から、文字を書く際のポイントを自分で考えられるよう、「見つけよう・考えよう」という学習過程を設定している。</li> </ul> <p>【主体的に学習に取り組む態度】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・巻頭の目次ページや「この教科書で学ぶ皆さんへ」で、書写で目指す力や3年間の学習の見通しを示している。</li> <li>・単元目標に対する「学習を振り返ろう」と、自分が学んだことを書く「自分の言葉でまとめよう」を設定している。</li> <li>・学習や生活で活用することができるよう、巻末の「資料編」に日常の書式や毛筆補充教材等を掲載している。</li> </ul> <p>【かわさき教育プラン】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・楷書と行書の使い分けを考える単元等で、課題解決や、理解を深めるために話し合う学習活動を設定している。</li> </ul>	<p>【主体的・対話的で深い学びに関わる構成】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・見通しをもって学習できるよう、巻頭に「自分の文字をよりよくするために」「学習の流れ」を示している。</li> <li>・全体を、「基礎編」は小学校の学習の確認、「本編」は中学校の学習の構成にしている。「本編」は学年別の構成にしている。</li> <li>・単元を「目標を確かめよう」「書き方を学ぼう」「見つけよう・考えよう」「毛筆で書こう」「学習を振り返ろう」「書いて身につけよう」「自分の言葉でまとめよう」で構成している。</li> <li>・書く際の姿勢や構え方、筆の運び方、用具の扱い方等の動画を見ることができる二次元コードを設定している。</li> </ul> <p>【分量・装丁】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・判型はB5判で、中とじである。</li> </ul>	<p>【読みやすさの工夫】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・毛筆では、朱墨を用いた文字手本を掲載して穂先の動きを示すとともに、「基礎編」や「点面の種類と筆使い」で、イラストを用いて筆圧や筆使いを示している。</li> <li>・記号やキャラクター、イラスト、写真を用いて内容を示したり説明したりしている。</li> <li>・カラーユニバーサルデザインの観点からの工夫をしている。</li> </ul>
17 教出	中学書写	<p>・学習指導要領に示されている目標、内容、指導計画の作成と内容の取扱いを踏まえ、「知識・技能」「思考・判断・表現」「主体的に学習に取り組む態度」を重視している。</p> <p>・教育内容の主な改善事項のうち、「我が国の言語文化に関する指導の改善・充実」に関連して、文字文化に親しむことができるよう、「コラム」を掲載している。</p>	<p>【知識・技能】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・毛筆単元では、硬筆の「試し書き」を課題文字と比べ、文字を書く上での要点に気付くという展開を設定している。</li> <li>・毛筆の学習事項を生かして書くことができるよう、硬筆で書く欄や「学習を生かして書く」のページを設けている。</li> <li>・「コラム」において伝統的な用具・用材、文字の変遷等の文字文化を紹介している。</li> <li>・書き初めの手本として、巻末に1年生は「新たな決意」「世界遺産」、2年生は「生命の尊重」「伝統の継承」、3年生は「友好の精神」「真理の探究」を掲載している。</li> <li>・小学校書写、高等学校書道との円滑な接続に向け、「筆使いー基本点面」「芸術としての書道」等を掲載している。</li> </ul> <p>【思考・判断・表現】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・目的や必要に応じて書写の学習を活用し、効果的に文字を書く力を育成できるよう、「学校生活に生かして書く」(1年)、「学習を生かして書く」(2年)、「3年間の学習の成果を生かそう」(3年)で、生活での活用に関連した学習活動を設定している。</li> <li>・比較や観察から、文字を書く際のポイントを自分で考えられるよう、「考えよう」という学習過程を設定している。</li> </ul> <p>【主体的に学習に取り組む態度】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・巻頭の「目的に合わせて書こう」「書写をとおして学んでいくこと」で、書写学習の意義や身に付ける力を示している。</li> <li>・単元目標に対して自己評価をする「振り返ろう」を設定している。</li> <li>・学習や生活で活用することができるよう、巻末に日常の書式や毛筆補充教材等を掲載している。</li> </ul> <p>【かわさき教育プラン】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・「学習の進め方」に、課題解決や、理解を深めるために話し合う際の「話し合いのポイント」を示している。</li> </ul>	<p>【主体的・対話的で深い学びに関わる構成】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・見通しをもって学習できるよう、巻頭に「学習の進め方」「書写をとおして学んでいくこと」を示している。</li> <li>・全体を学年別の構成にしている。</li> <li>・単元を「目標」「考えよう」「生かそう」「振り返ろう」で構成している。</li> <li>・課題の文字を書く動画を見ることができる二次元コードを設定している。</li> </ul> <p>【分量・装丁】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・判型はAB判で、中とじである。</li> </ul>	<p>【読みやすさの工夫】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・毛筆では、朱墨を用いた文字手本を掲載して穂先の動きを示すとともに、「基本点面の種類」で、イラストや穂先の写真を用いて筆圧、筆使いを示している。</li> <li>・記号やキャラクター、イラスト、写真を用いて内容を示したり説明したりしている。</li> <li>・カラーユニバーサルデザインの観点からの工夫をしている。</li> </ul>

発行者の番号略称	書名	学習指導要領との関連	内容	構成・分量・装丁	表記・表現
38 光村	中学書写 一・二・三年	<p>・学習指導要領に示されている目標、内容、指導計画の作成と内容の取扱いを踏まえ、「知識・技能」「思考・判断・表現」「主体的に学習に取り組む態度」を重視している。</p> <p>・教育内容の主な改善事項のうち、「我が国の言語文化に関する指導の改善・充実」に関連して、文字文化に親しむことができるよう、「コラム」を掲載している。</p>	<p><b>【知識・技能】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・単元における「学習の窓」で、文字を書く上での要点を示している。</li> <li>・「生かそう」や「書写ブック」において、毛筆の学習事項を生かして書くことができるよう、硬筆で書く欄やページを設けている。</li> <li>・「コラム」や巻頭において伝統的な用具・用材や、文字の歴史等の文字文化を紹介している。</li> <li>・書き初めの手本として、巻末に1年生は「不言実行」「文武両道」「将来の夢」、2年生は「新たな目標」「大志を抱く」、3年生は「旅立ちの春」「伝統を守る」を掲載している。</li> <li>・小学校書写、高等学校書道との円滑な接続に向け、「学習のはじめに」「なりきり、書聖・王羲之」を掲載している。</li> </ul> <p><b>【思考・判断・表現】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・目的や必要に応じて書写の学習を活用し、効果的に文字を書く力を育成できるよう、「学校生活」「日常生活」等で生活での活用に関連した学習活動を設定している。</li> <li>・比較や観察から文字を書く際のポイントを自分で考えられるよう、「考えよう」という学習過程を設定している。</li> </ul> <p><b>【主体的に学習に取り組む態度】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・巻頭に中学校3年間の学習目標を示している。</li> <li>・学習内容を確認、自己評価を行う「学習を振り返る」を設定している。</li> <li>・学習や生活で活用することができるよう、「日常に役立つ書式」に日常の書式等を掲載している。</li> </ul> <p><b>【かわさき教育プラン】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・「確かめよう」の学習過程等で、課題解決や、理解を深めるために話し合う活動を設定している。</li> </ul>	<p><b>【主体的・対話的で深い学びに関わる構成】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・見直しをもって学習できるよう、巻頭に「三年間の目標」「学習の進め方」を示している。</li> <li>・全体を、「読みやすく書くための楷書」(1年)、「読みやすく速く書くための行書」(1年、2年)、「文字を使い分ける」(2年、3年)と、学習事項による構成にしている。</li> <li>・単元を「考えよう」「確かめよう」「生かそう」「学習を振り返る」で構成している。</li> <li>・学習のポイントとなる部分や課題文字を書く動画、学習に関連する資料等を見ることができる二次元コードを設定している。</li> </ul> <p><b>【分量・装丁】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・判型はB5判で、中とじである。</li> </ul>	<p><b>【読みやすさの工夫】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・毛筆では、朱墨を用いた文字手本を掲載して穂先の動きを示すとともに、「点画の種類」「漢字の筆使い」で、筆圧を表す数字や擬態語を用いて筆圧、筆使いを示している。</li> <li>・記号やキャラクター、イラスト、写真を用いて内容を示したり説明したりしている。</li> <li>・カラーユニバーサルデザインの観点からの工夫をしている。</li> </ul>

# 調査研究報告書 ⑥

## 社会(地理的分野)

発行者の 番号略称	書名	学習指導要領と の関連	内容	構成・分量・装丁	表記・表現
2 東書	新しい社会 地理	<ul style="list-style-type: none"> <li>・学習指導要領に示されている目標、内容、指導計画の作成と内容の取扱いを踏まえ、「知識・技能」「思考・判断・表現」「主体的に学習に取り組む態度」を重視している。</li> <li>・教育内容の主な改善事項のうち、「言語活動の充実」に関連して、単元のまとめでは、思考を整理する多様なツールを掲載している。</li> </ul>	<p>【知識・技能】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・「地理にアクセス」のコラムを設け、見開きページの学習内容をさらに深めるような事象を取り上げて掲載している。</li> <li>・各章の導入では、小学校で学習した用語や導入の活動を掲載し、既習事項を活用しながら社会科の学び方を理解できるようにしている。</li> <li>・「スキル・アップ」コーナーを設け、「読み取る」、「集める」、「まとめる」の3つの視点で統計資料の読み取り方、情報収集の仕方等の手立てを示している。</li> </ul> <p>【思考・判断・表現】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・各章・節の終末に掲載している「探究課題を解決しよう」コーナーでは、各章・節の導入で提示した「探究課題」に対して「地理的な見方・考え方」を働かせて解決に取り組むようにしている。</li> <li>・各見開きページの右下に「チェック」「トライ」のコーナーを設けている。「チェック」では、本時の学習での習得事項を確認し、「トライ」では、様々な資料やキャラクターの文章から学習課題の解決に向けて、自分の考えを表現するように促している。</li> </ul> <p>【主体的に学習に取り組む態度】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・各見開きページの左上に導入資料を掲載し、その導入資料に関連した「考える」コーナーや「読み取る」コーナーを設け、導入を本時の学習内容と結びつけている。</li> <li>・第4章では、SDGsの「住み続けられるまちづくりを」の視点に立ち、身近な地域の課題を調査し、その解決策を提言する学習課題を設定している。</li> </ul> <p>【かわさき教育プラン】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・巻頭では、「持続可能な社会の実現に向けて」をテーマとして、世界や日本各地の取組例を写真等で示している。</li> <li>・第2章の導入では、各州の「地球的課題」に関連した「探求課題」を設定し、SDGsの視点で「探求課題」を解決するように説明している。</li> </ul>	<p>【主体的・対話的で深い学びに関わる構成】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・各章・節の導入に設けている「探求課題」コーナーでは、単元の問いや学習する上で着目する視点などを示し、各章・節の終末に設けられている「探求課題を解決しよう」コーナーでは、導入で示された問いに対して説明するようにしている。</li> <li>・各見開きページで、「導入資料」「学習課題」「本文」「チェック」「トライ」等の学習の流れを統一して示している。</li> <li>・インターネットを使った学習ができるよう、巻頭に二次元コードとURLを、各所に「Dマーク」を掲載している。</li> </ul> <p>【分量・装丁】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・AB判を採用している。</li> <li>・巻頭では、世界地図と世界自然遺産を写真で掲載するとともに、持続可能な社会の実現に向けて、様々な分野から考えられるように写真を並べて掲載している。</li> </ul>	<p>【読みやすさの工夫】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・各章や節で色を統一し、学習している分野を把握できるようにしている。</li> <li>・見やすく読みまちがえにくいユニバーサルデザインフォントを採用している旨を掲載している。</li> <li>・各見開きページの左ページ上段に導入資料、右ページ上段に図版、写真、コラムを配置し、下部に本文を掲載するレイアウトで統一している。</li> <li>・単元のまとまりがわかるよう、各見開きページの左下と右下に色を付けている。</li> </ul>
17 教出	中学社会 地理 地域にまなぶ	<ul style="list-style-type: none"> <li>・学習指導要領に示されている目標、内容、指導計画の作成と内容の取扱いを踏まえ、「知識・技能」「思考・判断・表現」「主体的に学習に取り組む態度」を重視している。</li> <li>・教育内容の主な改善事項のうち、「言語活動の充実」に関連して、見直しや振り返りの学習活動を重視した単元構成としている。</li> </ul>	<p>【知識・技能】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・「地理の窓」のコラムを設け、見開きページ内の学習内容について、現代社会の動きと関連させながら説明している。</li> <li>・世界の各州や日本の各地方の学習の導入では、学習テーマや学習の視点を掲載し、特色をつかみ資料を読み取るといった社会科の学び方を理解できるようにしている。</li> <li>・「地理の技」コーナーを設け、「調べる」「グラフを読み取る」等の社会科の技能について示している。</li> </ul> <p>【思考・判断・表現】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・各章・節の終末に掲載されている「学習のまとめと表現」コーナーでは、各章・節の導入で提示した「探求課題」に対して「地理的な見方・考え方」を働かせて解決に取り組むようにしている。</li> <li>・各見開きページの右下に「確認！」と「表現！」のコーナーを設けている。「確認！」では、資料を読み取ったり、書き込んだりして学習内容を確認し、「表現！」では、自分の考えを表現するように示している。</li> </ul> <p>【主体的に学習に取り組む態度】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・各見開きページの左上に導入資料を掲載しており、キャラクターが学習の手がかりや示唆などを提示している。</li> <li>・第4章では、地域の課題を調査し、その解決策を提言する学習課題を設定している。</li> </ul> <p>【かわさき教育プラン】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・第2編第2章の「世界の諸地域」では、導入ページの右下に各州で学習する地球的課題を示している。</li> <li>・巻頭では、SDGsについて「地球的課題とSDGs」として紹介し、地球的課題と17の目標との関係を考えるように促している。</li> </ul>	<p>【主体的・対話的で深い学びに関わる構成】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・各章・節の導入ページでは、単元の問いや学習する上で着目する視点などを示し、各章・節の終末に設けられている「学習のまとめと表現」コーナーでは、導入で示された問いに対して説明するようにしている。</li> <li>・各見開きページで、「導入資料」「学習課題」「本文」「確認！」「表現！」等の学習の流れを統一して示している。</li> <li>・学習内容に関連する様々なウェブサイトへアクセスできる二次元コードとURLを章の導入で掲載している。</li> </ul> <p>【分量・装丁】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・AB判を採用している。</li> <li>・巻頭では、世界のさまざまな風景として世界遺産の写真を掲載している。また、小学校の学習を振り返り、地理的な見方・考え方を生かして学習を進めることを示している。</li> </ul>	<p>【読みやすさの工夫】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・各節で色を統一し、学習している分野を把握できるようにしている。</li> <li>・見やすく読みまちがえにくいユニバーサルデザインフォントを採用している旨を掲載している。</li> <li>・各見開きページの左ページ上段に導入資料、右ページ上段に図版、写真を配置し、下部に本文、コラム、右欄外に関連用語、関連ページを掲載するレイアウトで統一している。</li> <li>・単元のまとまりがわかるよう、各見開きページの左下と右下に色マークを付けている。</li> </ul>
46 帝国	社会科 中学生の 地理 世界の姿と日本の 国土	<ul style="list-style-type: none"> <li>・学習指導要領に示されている目標、内容、指導計画の作成と内容の取扱いを踏まえ、「知識・技能」「思考・判断・表現」「主体的に学習に取り組む態度」を重視している。</li> <li>・教育内容の主な改善事項のうち、「言語活動の充実」に関連して、各地の写真やイラスト資料の掲載を重視し、多様な学習活動につなげられるようにしている。</li> </ul>	<p>【知識・技能】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・「地理プラス」や「未来に向けて」のコラムを設け、見開きページ内の学習内容について説明している。</li> <li>・「解説」コーナーを側注欄に設け、本文中に掲載されている用語について解説している。</li> <li>・「技能をみがく」コーナーを設け、統計資料の読み取り方や聞き取り調査の手法等、社会科に必要な技能を示している。</li> </ul> <p>【思考・判断・表現】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・各章・節の終末に掲載されている「章(節)の学習を振り返ろう」コーナーでは、各章・節の導入で提示した「章(節)の問い」に対して「地理的な見方・考え方」を働かせて解決に取り組むようにしている。</li> <li>・各見開きページの右下に「確認しよう」と「説明しよう」のコーナーを設けている。「確認しよう」では、資料を読み取ったり、比較させたりして学習事項を確認し、「説明しよう」では、自分の考えを整理したり、表現したりするようにしている。</li> </ul> <p>【主体的に学習に取り組む態度】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・各見開きページの左上に導入資料を掲載しており、キャラクターが学習の手がかりや示唆などを提示している。</li> <li>・第4部では、第1部～第3部で習得した知識・技能を活用して、持続可能な社会の実現に向けた構想を提言する学習課題を設定している。</li> </ul> <p>【かわさき教育プラン】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・世界の諸地域および日本の諸地域の単元の終末部分では、持続可能な社会に向けて考える活動を設けている。</li> <li>・「未来に向けて」のコラムや特設ページ「地域の在り方を考える」にSDGsマークを付け、持続可能な社会に向けて取り組んでいる事例を掲載している。</li> </ul>	<p>【主体的・対話的で深い学びに関わる構成】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・各章・節の導入の「章(節)の問い」のページでは、単元の問い等を示し、各章・節の終末の「章(節)の学習を振り返ろう」のページでは、導入で示された問いに対して説明したり、図表にまとめたりするコーナーを設けている。</li> <li>・各見開きページで、「導入資料」「学習課題」「本文」「確認しよう」「説明しよう」の学習の流れを統一して示している。</li> <li>・節の冒頭や振り返りに、学習内容に関連する動画や「章(節)の学習を振り返ろう」の解答などを閲覧できる二次元コードを掲載している。</li> </ul> <p>【分量・装丁】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・AB判を採用している。</li> <li>・巻頭では、「地域のよりよい発展を目指して」のタイトルでSDGsの説明と、各地の取組の様子を写真で紹介している。また、地理的な見方・考え方や地理的分野の学習の全体像等を示している。</li> </ul>	<p>【読みやすさの工夫】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・各章で色を統一し、学習している分野を把握できるようにしている。</li> <li>・見やすく読みまちがえにくいユニバーサルデザインフォントを採用している旨を掲載している。</li> <li>・各見開きページの左ページ上段に導入資料、右ページ上段に図版、写真、コラムを配置し、下部に本文を掲載するレイアウトで統一している。</li> <li>・全体における位置付けを確認できるように、各見開きページで、紙面右端にインデックスを設けている。</li> </ul>

発行者の 番号略称	書名	学習指導要領と の関連	内容	構成・分量・装丁	表記・表現
116 日文	中学社会 地理的分 野	<p>・学習指導要領に示されている目標、内容、指導計画の作成と内容の取扱いを踏まえ、「知識・技能」「思考・判断・表現」「主体的に学習に取り組む態度」を重視している。</p> <p>・教育内容の主な改善事項のうち、「言語活動の充実」に関連して、地理の学習の充実に向けて、地理的な見方・考え方と問いの例を掲載している。</p>	<p>【知識・技能】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・「地理＋α」のコラムを設け、見開きページの学習内容について事例をもとに説明している。</li> <li>・各章の導入では、小学校で学習した内容や章の学習についての資料を、キャラクターの会話を関連付けて掲載している。</li> <li>・「スキルUP」コーナーを設け、「読み取る」、「調べる」などの視点で、資料の読み取り方や地図の活用の仕方等の社会科の技能について掲載している。</li> </ul> <p>【思考・判断・表現】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・「アクティビティ」コーナーや「チャレンジ地理」コーナーでは、各章の導入で示した各州・地域の「追究するためのテーマ」に対して「地理的な見方・考え方」を働かせて解決に取り組むようになっている。</li> <li>・各見開きページの右側には、本時の学習事項を振り返って確かめる「確認」のコーナーを設けている。</li> </ul> <p>【主体的に学習に取り組む態度】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・各見開きページの左上に導入資料を掲載しており、キャラクターが学習の手がかりや示唆などを提示している。</li> <li>・第3編第4章では、京都市の課題を考察したり、その課題の解決策について構想したりしたことをもとにして、持続可能な地域のあり方について話し合う学習課題を設定している。</li> </ul> <p>【かわさき教育プラン】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・第3編第3章の終末では、日本のSDGsの達成度について考える課題を設定している。</li> <li>・「地理＋α」のコラムでは、持続可能な社会に向けて取り組んでいる事例を掲載している。</li> </ul>	<p>【主体的・対話的で深い学びに関わる構成】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・第2編第2章と第3編第3章の導入ページでは、各州・地域の「追究するテーマ」を示し、各章・節の終末に設けられている「学習のまとめ」コーナーでは、導入で示された問いに対して説明する活動を設定している。</li> <li>・各見開きページで、「導入資料」「学習課題」「本文」「確認」等の学習の流れを統一して示している。</li> <li>・巻頭に学習内容に関連する動画等を閲覧できる二次元コードとURL、各所に「デジタルマーク」を掲載している。</li> </ul> <p>【分量・装丁】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・AB判を採用している。</li> <li>・巻頭では、地理的な見方・考え方について、2つの地域を取り上げて具体的に説明している。イメージしやすいよう、キャラクターが、見方・考え方を働かせるような問いかけをしている。</li> </ul>	<p>【読みやすさの工夫】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・各章で色を統一し、学習している分野を把握できるようにしている。</li> <li>・見やすく読みまがえにくいユニバーサルデザインフォントを採用している旨を掲載している。</li> <li>・各見開きページの左ページ上段に導入資料、右ページ上段に図版、写真を配置し、下部に本文、コラム、右欄外に関連用語、関連ページを掲載するレイアウトで統一している。</li> <li>・全体における位置付けを確認できるよう、各見開きページで、紙面右端にインデックスを設けている。</li> </ul>

# 調査研究報告書 ⑥

## 社会(歴史的分野)

発行者の 番号略称	書名	学習指導要領との 関連	内容	構成・分量・装丁	表記・表現
2 東書	新しい社会 歴史	<p>・学習指導要領に示されている目標、内容、指導計画の作成と内容の取扱いを踏まえ、「知識・技能」「思考・判断・表現」「主体的に学習に取り組む態度」を重視している。</p> <p>・教育内容の主な改善事項のうち、「言語活動の充実」に関連して、単元のまとまりを重視し、まとめでは多様な思考ツールを掲載している。</p>	<p>【知識・技能】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>各章のまとめでは、「基礎・基本のまとめ」のページで学習した語句や年表、地図や資料を提示して具体的な知識を身につけるための手立てを示している。</li> <li>「スキルアップ」のコーナーでは、年表を読み取る、年表にまとめる、系図を読み取るなどの方法を示している。</li> <li>巻末の「用語解説」では、学習の中心となる用語等の補足説明を掲載している。</li> </ul> <p>【思考・判断・表現】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>見開きの左ページの下欄には、時代の流れを把握しやすいよう、年表スケールを掲載している。</li> <li>各章のまとめのページでは、その時代の特色を問う課題を提示し、多面的・多角的に考えまとめられるよう、シンキングツールを示している。</li> </ul> <p>【主体的に学習に取り組む態度】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>各章の導入では、該当の時代の特色を表す絵画資料等を掲載し、「みんなでチャレンジ」のコーナーで活動方法を示している。</li> <li>第7章のまとめでは、持続可能な社会への取組を取り上げている。また、「歴史のまとめ」のページでは、これまでの学習を振り返り、持続可能な社会の実現に向けて自分の考えをまとめる課題を掲載している。</li> </ul> <p>【かわさき教育プラン】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>巻頭で持続可能な社会の実現に向けて歴史に学ぶことを示し、現代の学習の中で、SDGsについて紹介し、持続可能な社会に関する学習課題を取りあげている。</li> <li>「もっと歴史」のページで環境・エネルギーや防災・安全等の現代社会の諸課題を解決するための取組を掲載している。</li> </ul>	<p>【主体的・対話的で深い学びに関わる構成】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>各章の導入で章の探究課題を提示し、探究のステップで各節の課題を示している。章末で探究のステップと探究課題の解決を促している。</li> <li>見開き左ページで学習課題を提示し、右ページ下で「チェック」「トライ」コーナーで課題について確認し、深める設問を示している。</li> <li>インターネットを使った学習ができるよう、巻頭に二次元コードとURLを、各所に「Dマーク」を掲載している。</li> </ul> <p>【分量・装丁】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>AB判を採用している。</li> <li>巻末の年表では、折込で日本と世界の歴史を併記している。</li> <li>歴史の学習に取り組みやすくなるよう、巻頭の見開きでは日本の国宝・重要文化財を、巻末の見開きでは日本地図と共に主な史跡を示している。</li> </ul>	<p>【読みやすさの工夫】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>学習課題について提示や疑問、解説を行うキャラクターを載せている。</li> <li>見やすく読みまちがいにくいユニバーサルデザインフォントを採用している旨を掲載している。</li> <li>全ての生徒の色覚特性に適應するようにデザインしている旨を掲載している。</li> <li>他分野や他教科との関連を図れるよう、分野関連マークや教科関連マークを各所に示している。</li> </ul>
17 教出	中学社会 歴史 未来をひらく	<p>・学習指導要領に示されている目標、内容、指導計画の作成と内容の取扱いを踏まえ、「知識・技能」「思考・判断・表現」「主体的に学習に取り組む態度」を重視している。</p> <p>・教育内容の主な改善事項のうち、「言語活動の充実」に関連して、見直し、振り返りの学習活動を重視した単元構成としている。</p>	<p>【知識・技能】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>用語について側注や「解説」による説明を設け、各章のまとめには、用語の確認や事象が起きた場所の確認等を行えるよう、章の範囲の年表を掲載している。</li> <li>各章のはじめには「学習を始めよう」のページを設け、時代の特色の理解に向け、絵画資料から時代を概観する設問を掲載している。</li> <li>歴史学習の基本的な技能を身につけることができるように、「歴史の技」コーナーでは、資料活用に関わる問いや解説を設けている。</li> </ul> <p>【思考・判断・表現】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>各章のまとめと表現のページでは、多面的・多角的に時代の特色をつかめるよう、年表や地図を掲載し、その時代の特色を説明するコーナーを設ける構成にしている。</li> <li>各見開きの左ページの学習課題の欄に、時代の流れを把握しやすいよう、時代スケールを掲載している。</li> </ul> <p>【主体的に学習に取り組む態度】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>各章の導入では、「学習を始めよう」のページを設け、大きな絵画資料を読み取り、興味関心を高める設問を設けている。</li> <li>「歴史学習の終わりに」で自然災害を取り上げ、歴史の学びをどのように生かしていくか問いかけ、現代の課題を考えるページを掲載している。</li> </ul> <p>【かわさき教育プラン】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>「歴史学習のおわりに」では、現代の課題を考える参考としてSDGsの目標を示している。</li> <li>「身近な地域の歴史を調べよう」のページでは、各地域の歴史を取り扱い、中世では、「地域の寺社を訪ねて」で鎌倉の円覚寺を取り上げ、近世では「地域の街道や港を訪ねて」で箱根の関所を取り上げ、現代では「移り変わる戦後の街を訪ねて」で川崎市の土地利用、人口や産業の移り変わり、臨海部を掲載している。</li> </ul>	<p>【主体的・対話的で深い学びに関わる構成】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>見開き左ページで学習課題、右ページで学習したことをまとめ確認したり表現したりする「確認！」「表現！」を設定している。</li> <li>各節の初めに節のテーマ、節のまとめでキーワードを例示し、節を振り返る欄を設けている。章の初めには章全体に関わる問いを、章末には時代の特色を振り返る問いを掲載している。</li> <li>各章の初めに「まなびリンク」を設け、二次元コードとURLを掲載している。</li> </ul> <p>【分量・装丁】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>AB判を採用している。</li> <li>巻末の年表はとじ込みを開くことで、全体を見通せるようにし、日本と世界の歴史を併記している。また、裏面には世界地図の歴史として、古代から、中世、近世にかけての世界地図の変遷を掲載している。</li> </ul>	<p>【読みやすさの工夫】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>各見開きページでキャラクターが登場し、学習課題に対する疑問を提示している。</li> <li>見やすく読みまちがいにくいユニバーサルデザインフォントを採用している旨を掲載している。</li> <li>色覚の個人差を問わず、より多くの人に見やすいカラーユニバーサルデザインに配慮している旨を記載している。</li> <li>「歴史をさぐるよう」ページの下部には、公民、地理との関連を示すマークを掲載している。</li> </ul>
46 帝国	社会科 中学生の歴史 日本の歩みと世界の動き	<p>・学習指導要領に示されている目標、内容、指導計画の作成と内容の取扱いを踏まえ、「知識・技能」「思考・判断・表現」「主体的に学習に取り組む態度」を重視している。</p> <p>・教育内容の主な改善事項のうち、「言語活動の充実」に関連して、歴史的な見方・考え方を働かせ、時代の特色をつかむための資料やイラストを重視している。</p>	<p>【知識・技能】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>時代を比較してその特色を理解できるように、「タイムトラベル」では、各時代を大観する見開きの大きなイラストを掲載している。</li> <li>各章のまとめの「章の学習を振り返ろう」では、学習事項を確かめるため、年表や地図、「タイムトラベル」を眺め直すための課題を掲載している。</li> <li>「技能をみがく」のコーナーでは、歴史学習における基礎的な技能を紹介している。</li> </ul> <p>【思考・判断・表現】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>「章の学習を振り返ろう」のページでは、時代の特色を多面的・多角的に考え、説明するために「考えを整理する」「話し合いを通して自分の考えを深める」「時代の特色を理由とともに説明する」の3段階のステップを示している。</li> <li>広い視野から考えられるよう、国際情勢の動きを示した見開きのイラスト地図を3ヶ所掲載している。</li> <li>時代の流れを把握しやすいよう、見開きページの右端縦を用いて、学習する時代の年表スケールを示している。</li> </ul> <p>【主体的に学習に取り組む態度】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>時代の特色をつかみ、主体的に学習に取り組めるよう、「タイムトラベル」では時代の特色をイラストで示し、イラストを読み解くための設問を設けている。</li> <li>巻末の「未来に向けて」では社会的な課題の歴史的経緯に着目し、解決に向けて考え、未来へのメッセージをまとめる活動を掲載している。</li> </ul> <p>【かわさき教育プラン】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>「歴史を探ろう」のページで、明治時代の文明開化の特集では、横浜の開港に関するできごとを掲載している。</li> <li>「未来に向けて」では、SDGsの17の目標に関連させながら自分の社会的な関心からテーマを決めるように促している。</li> </ul>	<p>【主体的・対話的で深い学びに関わる構成】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>各章で章の問い、各節で節の問いとページ数を記載している。節末には節の問いを振り返り、章末には章の問いの解決を行う構成にしている。</li> <li>見開き左ページには、学習課題、右ページ末には課題解決に向けた「確認しよう」「説明しよう」を記載している。</li> <li>動画などのコンテンツを利用できるよう、巻頭に二次元コードとURL、各所に二次元コードを掲載している。</li> </ul> <p>【分量・装丁】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>AB判を採用している。</li> <li>巻末には折込で年表を掲載し、日本と海外の交流をイラストや矢印で関係を表すように記載している。</li> <li>巻末の「歴史の舞台を訪ねよう」のコーナーでは、現在と旧国境の日本地図を掲載し、地名や世界遺産に関連して示している。</li> </ul>	<p>【読みやすさの工夫】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>疑問を示したり解説したりするキャラクターを各所に掲載している。</li> <li>見やすく読みまちがいにくいユニバーサルデザインフォントを採用している旨を掲載している。</li> <li>色覚特性に配慮した色づかいとなるように工夫している旨を記載している。</li> <li>ページの下部では、小学校の学習や地理、公民との関連の事項を示している。</li> </ul>

発行者の 番号略称	書名	学習指導要領との 関連	内容	構成・分量・装丁	表記・表現
81 山川	中学歴史 日本と世界	<ul style="list-style-type: none"> <li>学習指導要領に示されている目標、内容、指導計画の作成と内容の取扱いを踏まえ、「知識・技能」「思考・判断・表現」「主体的に学習に取り組む態度」を重視している。</li> <li>教育内容の主な改善事項のうち、「言語活動の充実」に関連して、時代の大きな流れをつかむための構成や、章のまとめでの学習活動を重視している。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li><b>【知識・技能】</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>「用語解説」のコーナーでは、学習の中心となる用語等を補足説明している。</li> <li>各章のはじめに帯年表を掲載し、これから学ぶ時代の日本と世界の出来事を写真や資料を使って示している。</li> <li>歴史の学習に必要な技能の習得に向け、第1章では、年表の見方、時代区分の表し方や、課題設定の仕方、資料の集め方、レポートの作成・発表の仕方を示している。</li> </ul> </li> <li><b>【思考・判断・表現】</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>時代背景を捉えられるよう、「歴史を考えよう」のコーナーでは、関連する美術作品や史料・地図、制度やルール等を取り上げている。「地域からのアプローチ」のコーナーでは、地域の歴史をさまざまな角度から捉えられるよう、地図や資料等を掲載している。</li> <li>各章の「まとめ」のページでは、見方・考え方を働かせて各時代を多面的・多角的に捉えるために、章の学習を振り返って解決するための問いを設け、表や文章でまとめるように促している。</li> <li>同時代の世界と日本のつながりを理解できるよう、2、8、13、16、18世紀の世界の様子を地図とイラストで紹介している。</li> </ul> </li> <li><b>【主体的に学習に取り組む態度】</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>各単元の導入では、生徒が主体的に取り組めるよう、写真やイラストで時代の特色を示し、日本と世界の年表を掲載している。</li> <li>第7章のまとめでは、現代の学習の振り返りとともに、今までの歴史学習から現代社会の課題や解決策を考え、現在起きている問題や解決策を考える活動を示している。</li> </ul> </li> <li><b>【かわさき教育プラン】</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>現代の単元では、現在の日本の課題として自然災害や地球温暖化、少子高齢化等を取り上げている。</li> <li>事例地として、神奈川県内では中世の政治で鎌倉、幕末から明治で横浜を取り上げている。</li> </ul> </li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li><b>【主体的・対話的で深い学びに関わる構成】</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>章扉の帯年表で、これから学ぶ日本と世界の出来事を示し、単元の学習の流れを示している。章の終わりでは、その単元の学習内容をまとめるページを設けている。</li> <li>見開き2ページの左ページでは課題を付し、右ページでは既習事項を生かしてさらに考える「ステップアップ」のコーナーを設けている。</li> <li>「くわしく見てみよう」のコーナーでは、二次元コードを掲載し、動画などを閲覧できるようにしている。</li> </ul> </li> <li><b>【分量・装丁】</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>AB判を採用している。</li> <li>章扉の帯年表は見開き2ページの構成となっている。年表に加えその時代の重要な資料や写真を掲載している。</li> <li>巻頭では、日本地図と共に日本の世界遺産を紹介している。</li> </ul> </li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li><b>【読みやすさの工夫】</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>色覚の個人差を問わず、多くの人に見やすいよう、カラーユニバーサルデザインを取り入れている旨を掲載している。</li> <li>世界遺産マーク、国宝マークなどのマークを使用している。</li> <li>見開きで示すテーマの背景色を日本史はオレンジ、世界史は青、と使い分けている。</li> <li>常体で記述している。</li> </ul> </li> </ul>
116 日文	中学社会 歴史的分野	<ul style="list-style-type: none"> <li>学習指導要領に示されている目標、内容、指導計画の作成と内容の取扱いを踏まえ、「知識・技能」「思考・判断・表現」「主体的に学習に取り組む態度」を重視している。</li> <li>教育内容の主な改善事項のうち、「言語活動の充実」に関連して、学習課題の解決に向けてさらに見方・考え方を働かせる「深めよう」のコーナーを設けている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li><b>【知識・技能】</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>「基本用語」のコーナーでは、学習の中心となる用語等を文章で説明している。</li> <li>時代を大きくとらえて理解できるよう、各編のはじめに年表と世界地図を掲載している。</li> <li>第1編の「歴史を大きく変えた人物はだれだろう」では、小学校の既習事項を生かしながら、資料の集め方、話し合い、発表の方法等を示し、社会科の学び方を理解できるようにしている。</li> </ul> </li> <li><b>【思考・判断・表現】</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>「見方・考え方」のコーナーでは、学習課題の解決の手がかりとなる歴史的な見方・考え方の例を示している。</li> <li>各時代の「まとめ」のページでは、習得した知識を関連させて、多面的・多角的に考え時代の特色を捉えるためのアクティビティを設けている。</li> <li>学習している時代をとらえるため、見開きページの右端には、時代・世紀のスケールを掲載している。</li> <li>編や章のはじめには「地図で見る世界の動き」を掲載し、世界の動きの中で日本の歴史を捉えることができるようにしている。</li> </ul> </li> <li><b>【主体的に学習に取り組む態度】</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>「チャレンジ歴史」のコーナーでは、複数の資料をもとに歴史について考えたり、対話したりする課題を設定している。</li> <li>『「歴史との対話」を未来にいかす』コーナーでは、よりよい未来の実現に向けて構想し、社会の形成に主体的に参画しようとする態度を養う課題を設定している。</li> </ul> </li> <li><b>【かわさき教育プラン】</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>事例地として、神奈川県横浜市、伊勢原市、小田原市を取り上げている。</li> <li>「でかけよう地域調べ」の「公害克服の歴史を調べる」では、北九州市の取組を取り上げ、SDGsのモデル都市として選ばれていることを掲載している。</li> </ul> </li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li><b>【主体的・対話的で深い学びに関わる構成】</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>各編のはじめに課題となるめあてを提示し、まとめのページでは、課題解決のヒントとなる資料から、各時代の特色をまとめる構成にしている。</li> <li>見開き2ページの左ページで学習課題を設定し、右ページの「確認」のコーナーの発問をいかしながら課題解決につながるように促している。</li> <li>デジタルマークを掲載し、二次元コードから動画やワークシート等を活用できるようにしている。</li> </ul> </li> <li><b>【分量・装丁】</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>AB判を採用している。</li> <li>第4編「近世の日本と世界」の導入部では、見開き大判ページで『江戸凶屏風』を掲載している。</li> <li>巻末の年表は見開き8ページの構成となっている。年表に加え日本の世界遺産を掲載している。</li> </ul> </li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li><b>【読みやすさの工夫】</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>見やすく読みまちがえにくいユニバーサルデザインフォントを採用している旨を掲載している。</li> <li>カラーユニバーサルデザインに配慮している旨を掲載している。</li> <li>「見方・考え方」、世界遺産マーク、国宝マークなどのマークを使用している。</li> <li>見開きページの下部に小学校や地理・公民的分野とのつながりを連携コーナーとして掲載している。</li> </ul> </li> </ul>
227 育鵬社	[最新]新しい日本の歴史	<ul style="list-style-type: none"> <li>学習指導要領に示されている目標、内容、指導計画の作成と内容の取扱いを踏まえ、「知識・技能」「思考・判断・表現」「主体的に学習に取り組む態度」を重視している。</li> <li>教育内容の主な改善事項のうち、「言語活動の充実」に関連して、時代の特色を考える活動の充実に向けて、各章の導入でイラストや写真資料を掲載している。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li><b>【知識・技能】</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>人物や用語を補足説明する「歴史ビュー」「人物クローズアップ」を各所に掲載している。</li> <li>各章のはじめに「歴史モノサシ」と「歴史絵巻」を掲載し、視覚的に時代を概観できるようにしている。</li> <li>序章の「歴史探検！」では、小学校の既習事項を生かしながら、歴史学習に必要な技能の習得に向け、資料の集め方、発表の方法等を示している。</li> </ul> </li> <li><b>【思考・判断・表現】</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>各章の「学習のまとめ」のページでは、時代を年表で整理し、資料の読み取りを通して、多面的・多角的に時代を捉えられるようにしている。</li> <li>「このころ世界は」のコーナーでは、略年表と当時の世界地図を掲載し、世界の動きの中で日本の歴史を捉えることができるようにしている。</li> </ul> </li> <li><b>【主体的に学習に取り組む態度】</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>各章の導入では、「〇〇の世界へようこそ！」コーナーを設けて、各時代の特色を表す資料からその時代を大観できるようにしている。</li> <li>「歴史のターニングポイント」のコーナーでは、複数の資料をもとに、歴史について自分で考えたり、対話したりする課題を設定している。</li> <li>巻末の「歴史学習のまとめ」では、日本の歴史を大観するという課題を設定し、歴史で学んだことを将来に生かすために、文章でまとめる活動を示している。</li> </ul> </li> <li><b>【かわさき教育プラン】</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>事例地として、神奈川県鎌倉市、小田原市、横浜市を取り上げている。</li> <li>現代の単元では、これからの様々な課題として、自然災害、少子高齢化、差別や偏見等を取り上げている。</li> </ul> </li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li><b>【主体的・対話的で深い学びに関わる構成】</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>各章はじめの「歴史絵巻」「〇〇の世界へようこそ」で、単元の内容を資料等で示し、章末では単元の学習内容を振り返るページを設け、時代の特色をまとめる活動を促している。</li> <li>見開き2ページの左ページで学習課題を、右ページでは鉛筆マークで見開きのまとめを促すコーナーを設定している。</li> <li>歴史の理解を深めるよう、「歴史のターニングポイント」のページを設けている。</li> </ul> </li> <li><b>【分量・装丁】</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>AB判を採用している。</li> <li>巻末6ページの折込み年表では、日本の歴史と世界の歴史を並べて掲載し、事象のつながりを矢印で示している。</li> <li>巻頭は日本人の誕生、巻末は世界文化遺産、日本地図と各地の遺跡・史跡を掲載している。</li> </ul> </li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li><b>【読みやすさの工夫】</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>図版は色覚特性を踏まえて、判別しやすい色の使用や表示の工夫を行っている。</li> <li>世界遺産マーク、国宝マークなどのマークを使用している。</li> <li>同年代の生徒と教師のキャラクターを登場させ、そのキャラクターが歴史的な見方・考え方を働かせて学習している様子を掲載している。</li> <li>「歴史絵巻」では、各章で学ぶ事項や人物をイラストで紹介している。</li> </ul> </li> </ul>

発行者の 番号略称	書名	学習指導要領との 関連	内容	構成・分量・装丁	表記・表現
229 学び舎	ともに学ぶ人間の歴史	<p>・学習指導要領に示されている目標、内容、指導計画の作成と内容の取扱いを踏まえ、「知識・技能」「思考・判断・表現」「主体的に学習に取り組む態度」を重視している。</p> <p>・教育内容の主な改善事項のうち、「言語活動の充実」に関連して、興味関心を高め、問いをもたせるための文章表現を重視している。</p>	<p>【知識・技能】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>用語の補足説明を各所に掲載している。</li> <li>「歴史への案内」では、小学校の既習事項を生かしながら、歴史の学習に必要な技能として、調べ方、まとめ方、時代区分等を示している。</li> <li>各部や章末の「学習のまとめ」では用語等を確認できるように、年表や地図等を掲載している。</li> </ul> <p>【思考・判断・表現】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>章末の「第〇章をふりかえる」や部のまとめでは、資料の読み取りを通して、多面的・多角的に時代像を捉えられるようにしている。</li> <li>各章の課題解決や理解を深めるため、「歴史を体験する」コーナーを設け、歴史的な見方・考え方を働かせる問いを設定している。</li> <li>各章のはじめに年表を掲載し、どの時代を学んでいるかを概観できるようにしている。合わせてテーマを設定した世界地図を付し、世界の動きの中で日本の歴史を捉えることができるように構成している。</li> </ul> <p>【主体的に学習に取り組む態度】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>各部の導入では、時代に対する興味関心を高めるために、その時代の特色を表すテーマを設定し、そのテーマにそった資料を掲載している。</li> <li>現代の学習を終えたところで、歴史と現代をつなげて、現代の諸課題等について考えを深める活動を促している。</li> </ul> <p>【かわさき教育プラン】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>事例地として、横須賀市、鎌倉市を取り上げている。また、幕政改革の学習の中で、池上幸豊の取組を掲載している。</li> <li>第10章では、難民や環境問題、戦争と平和といった現代の課題に向き合い、考えを表す活動を掲載している。</li> </ul>	<p>【主体的・対話的で深い学びに関わる構成】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>部の導入部の年表や世界地図で単元の学習内容を掲載して学習課題を示すとともに、章や部の終わりでは、その単元の学習内容をまとめるページを設けている。</li> <li>見開き2ページの左ページで学習課題を掲載している。</li> </ul> <p>【分量・装丁】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>A4判を採用している。</li> <li>巻末の年表は12ページで構成され、大きな流れや出来事の間連をつかめるように、「日本の社会・政治・経済の動き」、「日本の文化・宗教」、「世界の動き」の欄を設けている。</li> <li>巻頭の世界地図、巻末の日本地図それぞれに、主な史跡や歴史事象の関係地を掲載している。</li> </ul>	<p>【読みやすさの工夫】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>より多くの人が見やすいカラーユニバーサルデザインに配慮している旨を掲載している。</li> <li>章の扉ページでは、章のテーマにもとづいた写真や絵を掲載している。</li> <li>巻末の年表では、時代・地域・日本・世界の動きを色別に掲載している。</li> </ul>

# 調査研究報告書 ⑥

## 社会(公民的分野)

発行者の番号略称	書名	学習指導要領との関連	内容	構成・分量・装丁	表記・表現
2 東書	新しい社会 公民	<p>・学習指導要領に示されている目標、内容、指導計画の作成と内容の取扱いを踏まえ、「知識・技能」「思考・判断・表現」「主体的に学習に取り組む態度」を重視している。</p> <p>・教育内容の主な改善事項のうち、「言語活動の充実」に関連して、単元のまとまりを重視した構成にして、まとめでは多様な思考ツールを掲載している。</p>	<p>【知識・技能】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・章末の「基礎・基本のまとめ」では知識の定着に向け、用語の意味の確認を促したり、用語の関連を示したりしている。</li> <li>・「公民にアクセス」では、本文の学習内容を説明したり、関連した内容を取り上げたりしている。また、巻末の「用語解説」で内容の補足をしている。</li> <li>・「スキルアップ」のコーナーでは、押さえておきたいワードを取り上げ、基礎的・基本的な技能を身に付けるための内容を掲載している。</li> </ul> <p>【思考・判断・表現】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・章末の「まとめの活動」では、章の初めの「導入の活動」とリンクした題材を扱い、学習した内容を基に考えたり議論したりする例を示している。</li> <li>・見方・考え方を活用して考察することで学習を深めるコーナーとして各所に「見方・考え方」コーナーを掲載している。</li> <li>・「対立と合意」「効率と公正」について、部活動の体育館使用を例に取り上げ具体的に説明している。</li> </ul> <p>【主体的に学習に取り組む態度】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・「導入の活動」では、単元の学習への興味関心を高めるため、写真やイラストを通して現代の社会的な事象を取り上げている。</li> <li>・終章では持続可能な社会を実現するために、学習してきた社会的課題から課題を選択し、資料の収集、議論、まとめを行う流れを示して、さらに探究を続ける大切さについて示している。</li> </ul> <p>【かわさき教育プラン】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・「労働環境の変化と課題」の学習で、川崎市にあるチョーク工場「工場働く障がいのある人たち」の写真に掲載している。</li> <li>・第5章の導入では、地球規模の課題をとらえるために、SDGsを取り上げている。</li> </ul>	<p>【主体的・対話的で深い学びに関わる構成】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・章の導入で探究課題と、節ごとの「探究のステップ」を示し、章末に各節の振り返りと探究課題の解決を行うように構成している。</li> <li>・各見開きページでは、「導入資料」→「学習課題」→活動→「チェック」「トライ」と授業が展開できるよう構成している。</li> <li>・インターネットを使った学習ができるよう、巻頭に二次元コードとURLを、各所に「Dマーク」を掲載している。</li> </ul> <p>【分量・装丁】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・AB判を採用している。</li> <li>・巻頭の「持続可能な社会の実現に向けて」では、写真と共に、これからの社会を考えるキーワードを示している。</li> <li>・巻末には世界の現状として世界地図を掲載し、一人当たりの国民総所得(GNI)等を示している。</li> </ul>	<p>【読みやすさの工夫】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・キャラクターが登場し、学習の進め方やポイントを説明している。</li> <li>・見やすく読みまちがえにくいユニバーサルデザインフォントを採用している旨を掲載している。また、他の場所にも記載がある語句については、語句の下部に、そのページ数を掲載している。</li> <li>・章ごとに色を使い分け、背景色や見開きページのタイトルの色、ページ数の背景色などを章内で統一している。</li> <li>・「世界遺産マーク」や「国宝マーク」、「地理・歴史・公民関連マーク」などを表記している。</li> </ul>
17 教出	中学社会 公民 ともに 生きる	<p>・学習指導要領に示されている目標、内容、指導計画の作成と内容の取扱いを踏まえ、「知識・技能」「思考・判断・表現」「主体的に学習に取り組む態度」を重視している。</p> <p>・教育内容の主な改善事項のうち、「言語活動の充実」に関連して、見通し、振り返りの学習活動を重視した単元構成としている。</p>	<p>【知識・技能】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・「学習のまとめと表現」では知識の習得に向け、章で学習した内容を問題形式で振り返り確認する内容を掲載している。</li> <li>・側注で用語の説明を示したり、「公民の窓」で関連した内容を詳しく取り上げたりしている。巻末には「用語解説」で内容を補足している。</li> <li>・「公民の技」のコーナーでは、個人やグループでの活動を通じて公民の学習で身に付けたい技能や表現力を養う「公民の技」コーナーを各所に掲載している。</li> </ul> <p>【思考・判断・表現】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・章末の「学習のまとめと表現」では、章のテーマに対して既習事項を生かして「説明する、考える、まとめる」とstepをつけて解決する活動を示している。</li> <li>・章の導入で学習の見通しを掲載し、見方・考え方を示している。また各所に「見方×考え方」マークを示している。</li> <li>・「対立と合意」「効率と公正」について、合唱コンクールの練習やごみ集積所設置等を例として具体的に説明している。</li> </ul> <p>【主体的に学習に取り組む態度】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・各章の「学習のはじめに」では、興味関心を高めるために、学習内容に関連した写真や学習の見通し等を掲載している。</li> <li>・終章ではSDGsの視点を踏まえ、社会的な課題からテーマを選び、解決に向けた提案例を示し、さらにこれからの考える活動を設けている。</li> </ul> <p>【かわさき教育プラン】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・川崎市の公務員試験の国籍条項、在日韓国・朝鮮の伝統芸能、外国人市民代表者会議、市民オンブズマンについて掲載している。</li> <li>・巻頭にSDGsを見開きで紹介し、各見開き2ページでは学習内容に関わるSDGsの視点を右ページ下部に示している。</li> </ul>	<p>【主体的・対話的で深い学びに関わる構成】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・章のはじめには、「学習の見通し」を設定し、章全体のテーマを示し、節ごとにもテーマを設けている。巻末には節のテーマを踏まえた振り返りの問いと、章全体のテーマの解決を行う活動を示している。</li> <li>・各見開きページでは、「導入資料」→「学習課題」→活動→「確認！」「表現！」と授業が展開できるよう構成している。</li> <li>・巻頭と章の初めに二次元コードとURLを掲載している。</li> </ul> <p>【分量・装丁】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・AB判を採用している。</li> <li>・巻頭では現代社会の様々な姿やSDGs、公民で学ぶ主な内容と学習の見通しを掲載している。</li> <li>・巻末では持続可能な社会の実現に向けた具体的な取組の様子を写真で紹介し、取り組んでいる人々のメッセージを掲載している。</li> </ul>	<p>【読みやすさの工夫】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・キャラクターが登場し、学習の進め方やポイントを説明している。</li> <li>・見やすく読みまちがえにくいユニバーサルデザインフォントを採用している旨を掲載している。他の場所にも記載がある語句については、語句の下部に、そのページ数を掲載している。</li> <li>・章ごとに色を使い分け、背景色や見開きページのタイトルの色、ページ数の背景色などを章内で統一している。</li> <li>・見開きの左下に小学校の学習、地理、歴史の学習を振り返るマークや他教科の教科名を掲載して、関連を表している。</li> </ul>
46 帝国	社会科 中 学生の公民 よりよい社会 を目指して	<p>・学習指導要領に示されている目標、内容、指導計画の作成と内容の取扱いを踏まえ、「知識・技能」「思考・判断・表現」「主体的に学習に取り組む態度」を重視している。</p> <p>・教育内容の主な改善事項のうち、「言語活動の充実」に関連して、章の導入では見開きで実社会の様子をイラストで示し、問題意識を高める工夫をしている。</p>	<p>【知識・技能】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・「章の学習を振り返ろう」のコーナーでは、知識の習得に向け、学習した内容を問題形式で振り返る内容を掲載している。</li> <li>・本文の「解説」では、学習を進める上で押さえておきたいワードを取り上げ、解説を掲載している。</li> <li>・「技能をみがく」のコーナーでは、ロールプレイング、KJ法等を示し公民の学習に必要な技能を掲載している。</li> </ul> <p>【思考・判断・表現】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・章末の「章の学習を振り返ろう」では、章の問いに対して、社会的な見方・考え方を働かせて考える活動を設定している。</li> <li>・「アクティブ公民」のコーナーでは、「対立と合意」「効率と公正」等の見方・考え方を働かせて、課題を解決する例を示している。</li> <li>・「対立と合意」「効率と公正」について、防災備蓄倉庫の設置やごみ集積所設置等を例に取り上げ具体的に説明している。</li> </ul> <p>【主体的に学習に取り組む態度】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・各部の「学習の前に」では、興味関心を高めるために、学習内容に関連したイラストを示し、身近な場面と結びつけて部の内容を紹介している。</li> <li>・最終章では、持続可能な社会の実現に向けて考えられるよう、課題設定、資料収集、考察、レポート作成の流れを示し、課題の考察の例やレポートの修正例等を掲載している。</li> </ul> <p>【かわさき教育プラン】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・「働くことの意義と労働者の権利」の学習で、川崎市のチョーク工場働く障がいのある社員の写真と「障がい者雇用を促進する経営者の声」を掲載している。</li> <li>・国際社会のよりよい発展の学習においてSDGsを取り上げている。</li> </ul>	<p>【主体的・対話的で深い学びに関わる構成】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・「章の問い」とともに節ごとに「節の問い」を示し、節が終わるごとに節の問いの振り返り、章末ごとに「章の学習を振り返ろう」を見開きで設定している。</li> <li>・各見開きページでは、「資料活用」→「学習課題」→活動→「確認しよう」「ふりかえろう」と授業が展開できるよう構成している。</li> <li>・巻頭に二次元コードとURLを掲載している。各所に二次元コードを示している。</li> </ul> <p>【分量・装丁】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・AB判を採用している。</li> <li>・巻頭ではよりよい社会を目指して活動する人々の様子を写真で掲載している。また「公民的分野の学習の全体像を見通そう」で、地理的分野・歴史的分野で学んだことと公民分野を学習することを見渡し、「持続可能な社会」に向けてできることへの図を掲載している。</li> <li>・巻末は阪神・淡路大震災の経験を生かす取組を写真で掲載している。</li> </ul>	<p>【読みやすさの工夫】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・本文中にイラストを活用して文章による説明を補足して、学習の進め方やポイントを示している。</li> <li>・見やすく読みまちがえにくいユニバーサルデザインフォントを採用している旨を掲載している。</li> <li>・他の場所にも記載がある語句については、語句の下部に、そのページ数を掲載している。</li> <li>・見開きの左下に小学校の学習や地理、歴史の学習で取り上げていることを示すマークを掲載している。</li> <li>・特設ページやコラムには、記載内容とSDGsの関連を示すため、関連が深いところにSDGsマークを掲載している。</li> </ul>

発行者の 番号略称	書名	学習指導要領と の関連	内容	構成・分量・装丁	表記・表現
116 日文	中学社会 公民的分野	<p>・学習指導要領に示されている目標、内容、指導計画の作成と内容の取扱いを踏まえ、「知識・技能」「思考・判断・表現」「主体的に学習に取り組む態度」を重視している。</p> <p>・教育内容の主な改善事項のうち、「言語活動の充実」に関連して、見方・考え方を働かせるため、章の導入の工夫や、社会の課題を考えるコーナーを設けている。</p>	<p>【知識・技能】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・学習内容の理解を深める手立てとして、具体的な事例を挙げた「公民＋α」というコーナーを設けている。</li> <li>・編末の「学習の整理と活用」では、図や表を用いて、学習した用語の確認を行うようにしている。</li> <li>・様々な情報を効果的に調べまとめる手立てを身に付けるために、「情報スキルアップ」のページや「シンキングツール」マークを掲載している。</li> </ul> <p>【思考・判断・表現】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・編や章のおわりの「学習の整理と活用」では、課題について考える手助けとして「シンキングツール」を紹介している。</li> <li>・各見開きページに学習課題の解決に向けて手がかりになる「見方・考え方」の例を記載している。</li> <li>・「対立と合意」「効率と公正」について、合唱コンクールの練習等を例に取り上げ具体的に説明している。</li> </ul> <p>【主体的に学習に取り組む態度】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・編の導入として、興味関心を高めるために、学習内容を示した漫画を掲載している。</li> <li>・「明日に向かって」というページを設け、現代の事例や社会参画を促す活動の手立てを示している。</li> <li>・第5編の「私たちの課題」では、持続可能な社会の形成に向けて考える活動の例として、環境問題を取り上げ、テーマ設定、資料収集、考察と構想、まとめと評価という流れを掲載している。</li> </ul> <p>【かわさき教育プラン】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・「持続可能な社会と私たち」では、エネルギーの地産地消に関する事例地として、神奈川県小田原市を取り上げている。</li> <li>・巻頭にSDGsの取組を掲載している。関連する社会的事象の事例地として、大阪府堺市、滋賀県守山市、神奈川県鎌倉市、横浜市、藤沢市等を取り上げている。</li> </ul>	<p>【主体的・対話的で深い学びに関わる構成】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・編の初めには「学習のはじめに」「第〇編の学習について」で編全体の学習を見通すようにしている。</li> <li>・各見開きページでは、「資料導入」→「学習課題」→「活動」→「確認」と授業が展開できるように構成している。</li> <li>・「デジタルマーク」の表記があるページでは、巻頭の二次元コードからデジタル資料やワークシート等を見ることが出来る。</li> </ul> <p>【分量・装丁】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・AB判を採用している。</li> <li>・「明日に向かって」の「まちのバリアフリー探そう-大阪府堺市-」のページでは、厚さの異なる紙を使用して点字を掲載している。</li> <li>・巻頭ではSDGsの説明と、日本や世界各地の取組を写真で掲載している。</li> <li>・巻末には、日本の人口を100人にたとえ、年齢別人口や労働種別の人口等を示している。</li> </ul>	<p>【読みやすさの工夫】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・キャラクターが登場し、課題に対するヒントやポイント、補足の情報等を説明している。</li> <li>・見やすく読みまちがえにくいユニバーサルデザインフォントを採用している旨を掲載している。</li> <li>・他の場所にも記載がある語句については、語句の下部に、そのページ数を掲載している。</li> <li>・カラーユニバーサルデザインに配慮している旨を記載している。</li> <li>・ページ下部には、小学校の学習や、地理、歴史の学習との関連を示すマークを示している。</li> </ul>
225 自由社	新しい公民 教科書	<p>・学習指導要領に示されている目標、内容、指導計画の作成と内容の取扱いを踏まえ、「知識・技能」「思考・判断・表現」「主体的に学習に取り組む態度」を重視している。</p> <p>・教育内容の主な改善事項のうち、「言語活動の充実」に関連して、社会的な課題について考えたり話し合ったりする活動を行うコーナーを設けている。</p>	<p>【知識・技能】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・「ここがポイント」のコーナーでは、各時間の中でおさえるべき重要な内容を示している。</li> <li>・章の終わりにある「学習のまとめと発展」ページの「学習のまとめ」では、重要語句を確認することができるようにしている。</li> <li>・「やってみよう」のコーナーでは、見開きページの内容に応じて、話し合い活動、調べる活動、まとめの活動等を促す課題を提示している。</li> </ul> <p>【思考・判断・表現】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・「学習のまとめと発展」のページの「学習の発展」では、自らの考えを400字程度で記述する課題を提示している。</li> <li>・「アクティブに深めよう」のページでは、社会的な課題を取り上げ、様々な立場を踏まえて、事象に対して考察するための学習活動を提示している。</li> <li>・「対立と合意」「効率と公正」について、体育館の使用を例に取り上げ具体的に説明している。</li> </ul> <p>【主体的に学習に取り組む態度】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・生徒の興味・関心を高めるために「ミニ知識」というコラムや写真等の資料を提示している。</li> <li>・最終章の「課題の探究」のページでは、ディベートの方法や「持続可能な社会をつくるために私たちは何ができるか」について考え、卒業論文を作成する手立て等を提示している。</li> </ul> <p>【かわさき教育プラン】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・「環境保全と私たちの責任」では、循環型社会の形成に向けた取組の事例地として、神奈川県横浜市を取り上げている。</li> <li>・最終章では、「持続可能な開発目標(SDGs)」の17項目を掲載し、持続可能な世界に向けて考えることをうながしている。</li> </ul>	<p>【主体的・対話的で深い学びに関わる構成】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・章のはじめにテーマを設定し、各見開きページでは、「写真・イラスト」→「学習課題」→活動→「ここがポイント」と授業が展開できるように構成している。</li> <li>・「アクティブに深めよう」のページでは、発展的な学習課題を提示し、解決に向けて生徒が考えを記入したり、話し合ったことを表にまとめたりすることができるように構成している。</li> </ul> <p>【分量・装丁】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・AB判を採用している。</li> <li>・巻頭では3ページにわたって日本の技術について記載している。</li> <li>・巻末では日本の伝統工芸品について見開き2ページで紹介している。</li> </ul>	<p>【読みやすさの工夫】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・キャラクターが登場し、課題に対するヒントやポイント、補足の情報等を説明している。また、現代の社会的事象についてのイメージ写真を掲載している。</li> <li>・本文を明朝体で重要語句の太字をゴシック体で分けて掲載している。また、読みづらい漢字にはふりがなをふっている。</li> <li>・章の範囲がわかるよう、章ごとにページ数の横のマークの色やページ上部の色、見開き2ページのテーマの背景色等を統一している。</li> </ul>
227 育鵬社	[最新]新しい みんなの 公民	<p>・学習指導要領に示されている目標、内容、指導計画の作成と内容の取扱いを踏まえ、「知識・技能」「思考・判断・表現」「主体的に学習に取り組む態度」を重視している。</p> <p>・教育内容の主な改善事項のうち、「言語活動の充実」に関連して、章の導入で「〇〇の入り口」、章末に「〇〇のこれから」の見開きページを掲載して、多様な学習活動を促している。</p>	<p>【知識・技能】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・各章末に重要語句確認や基本的知識の定着、既習事項に関しての自分の考えをまとめるための「学習のまとめ」というページを設けている。</li> <li>・学習内容に関連した情報を示すマークを各所に示し、用語の解説等を掲載している。</li> <li>・「スキルアップ!」では、発表や議論の仕方、KJ法、ロールプレイングなど公民の基礎的な技能を身につける内容を掲載している。「TRY!」のコーナーでは、調べ学習の例を提示している。</li> </ul> <p>【思考・判断・表現】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・章末の「〇〇のこれから」のページでは、各章の「〇〇の入り口」での課題に対して、生徒が考察したり構想したりできるような手立てを示している。</li> <li>・「学習を深めよう」では、今日的な課題について話し合ったり、これからのことを考えたりする活動を掲載している。</li> <li>・「対立と合意」「効率と公正」について、昼休みのグラウンド使用等を例に取り上げ具体的に説明している。</li> </ul> <p>【主体的に学習に取り組む態度】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・各章の導入に「〇〇の入り口」というページを設け、興味関心を高めるために、章全体の学習内容を写真等で示し、課題を提示している。</li> <li>・「社会科のまとめ」では、よりよい社会の実現に向けて、これまでの学習を踏まえ、テーマを決め、調べ、発表する活動を掲載している。</li> </ul> <p>【かわさき教育プラン】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・「学習を深めよう」の多文化共生社会の事例として、神奈川県横浜市の中学校での取組が取り上げられている。</li> <li>・地域のSDGsの事例として、神奈川県横浜市の「水素社会」の実現に向けての取組や北海道下川町の森林との共生についての取組を掲載している。</li> </ul>	<p>【主体的・対話的で深い学びに関わる構成】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・章扉に、小学校で学習した関連内容を揭示し、「〇〇の入り口」で章の学習の見通しや課題を示している。章末の「〇〇のこれから」では章の学習を踏まえてさらに考えることを促し、「学習のまとめ」では章の学習を振り返るように促している。</li> <li>・見開きページごとに「導入資料」→「学習課題」→活動→「鉛筆マークで内容確認・深める課題」と授業が展開できるよう構成している。</li> </ul> <p>【分量・装丁】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・AB判を採用している。</li> <li>・巻頭ではSDGsと、日本や世界各地の取組を写真で掲載している。公民を学ぶ意義や意味について3ページにわたって記載している。</li> <li>・巻末では、持続可能な社会を目指して、日本各地で取り組まれている様子を写真で紹介している。</li> </ul>	<p>【読みやすさの工夫】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・キャラクターが登場し、課題に対するヒントやポイント、補足の情報等を説明している。</li> <li>・図版は色覚特性を踏まえて、判別しやすい色の使用や表示の工夫により、生徒が見やすいように配慮している。</li> <li>・他の場所にも記載がある語句については、語句の下部に、そのページ数を掲載している。</li> <li>・地理・歴史で学習した内容との関連がわかるよう、各所にマークを設置している。</li> </ul>

# 調査研究報告書 ⑥

## 社会(地図)

発行者の 番号略称	書名	学習指導要領と の関連	内容	構成・分量・装丁	表記・表現
2 東書	新しい社会 地図	<p>・学習指導要領に示されている目標、内容、指導計画の作成と内容の取扱いを踏まえ、「知識・技能」「思考・判断・表現」「主体的に学習に取り組む態度」を重視している。</p> <p>・教育内容の主な改善事項のうち、「言語活動の充実」に関連して、様々な現代的な諸課題について主題図や写真資料等を掲載している。</p>	<p>【知識・技能】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・小学校での学習を踏まえて、地図記号や凡例、さくいんの使い方、一般図の読み取り方、テーマ地図やグラフ・写真などの資料の読み取り方等、地図帳の活用方法についてのページを設け説明している。</li> <li>・地域の諸事象や地域的特色を捉えやすくするために、地域ごとに特徴的な「注目したい記号」を設けている。</li> </ul> <p>【思考・判断・表現】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・課題解決のため、「基本資料」として、世界の各州や日本の各地方の概観に役立つ、地形や気候、土地利用などのテーマ地図等のページを設けている。</li> <li>・諸地域の学習で探求課題に沿った学習をする際に活用できるように、各地域の主題や項目に合わせた資料をテーマ資料として掲載している。</li> </ul> <p>【主体的に学習に取り組む態度】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・3年間の社会科学習を通して、社会的事象を多面的・多角的に考察できるよう、地理的分野だけではなく、歴史的分野、公民的分野の学習でも活用できるページや資料を設け、「歴史・公民マーク」を付している。</li> <li>・中学生や教師のキャラクターの吹き出しを設け、資料の読み取りのポイントや考察の視点等を示している。</li> </ul> <p>【かわさき教育プラン】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・SDGsに関連して、環境・資源・エネルギー問題、人口・貧困問題、紛争・難民問題といった現代社会の諸課題について取り上げた特設ページを設けている。</li> <li>・関東地方の「テーマ資料」で、東京都周辺の地域として川崎市を掲載している。</li> </ul>	<p>【主体的・対話的で深い学びに関わる構成】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・インターネットを使った学習ができるよう、巻頭に二次元コードとURLを、各所に「Dマーク」を掲載している。</li> <li>・学習の広がりを持たせるため、関連する資料の参照ページを「ジャンプ」で示している。</li> <li>・日本の一般図に、「歴史の舞台」を示し、歴史的分野と関連する資料を掲載している。</li> </ul> <p>【分量・装丁】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・AB判を採用している。</li> <li>・統計資料では、比較できるよう、世界の統計情報と日本の統計情報を各項目で交互に配置して掲載している。</li> </ul>	<p>【読みやすさの工夫】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・見やすく読みまちがえにくいユニバーサルデザインフォントを使用している旨を掲載している。</li> <li>・全ての生徒の色覚特性に適応するようにデザインしている旨を掲載している。</li> <li>・海底の青から高地の茶色や白まで、最多19段階で色を変え、高低を表している。</li> <li>・50万分の1の地図では、土地利用の様子を9色に分けて示している。</li> </ul>
46 帝国	中学校社会 科地図	<p>・学習指導要領に示されている目標、内容、指導計画の作成と内容の取扱いを踏まえ、「知識・技能」「思考・判断・表現」「主体的に学習に取り組む態度」を重視している。</p> <p>・教育内容の主な改善事項のうち、「言語活動の充実」に関連して、地図を読み取る視点としての「地図活用」のコーナーや、資料ページの「学習課題」を設けている。</p>	<p>【知識・技能】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・小学校での学習を踏まえて、地図帳の構成、方位、地図記号や凡例、縮尺、さくいんの使い方、一般図や資料図、グラフ、写真等の読み取り方等、地図帳の活用方法についてのページを設け説明している。</li> <li>・世界各州の特色を大観し、概略が理解できるよう、世界各州の鳥瞰図を掲載している。また、学習活動を通して地図活用の技能が身に付くよう、各所に「地図活用」のコーナーを設けている。</li> </ul> <p>【思考・判断・表現】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・世界や日本の課題解決のため、自然環境、人口密度、言語、産業、日本との結びつきに関する資料を、比較しやすいように、国や州ごとに同縮尺で掲載している。</li> <li>・資料のページでは、日本の中核となる事象を深めたり、いくつかの図を関連させて読み取ったりする学習課題や問いを設定されている。</li> </ul> <p>【主体的に学習に取り組む態度】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・日本の自然災害や防災について見開き2ページで示している。各所に防災マークを設置し、地域の防災の事例を掲載している。</li> <li>・世界の各州の一般図には陸高と水深、日本の各地方の一般図には土地利用と陸高、水深の凡例を示している。</li> </ul> <p>【かわさき教育プラン】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・SDGsの観点に基づいた資料として、世界各地の環境問題や、持続可能な社会に向けた取組を写真等で紹介している。</li> <li>・関東地方の資料で、「東京都周辺の地形」において川崎市や二ヶ領用水を掲載している。</li> </ul>	<p>【主体的・対話的で深い学びに関わる構成】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・各所に二次元コードを設置し、地図や動画、衛星写真等、資料活用能力を育成したり、考えを深めたりする手立てにアクセスできるようにしている。</li> <li>・実際の地形図を取り上げ、作業を通して地形図の見方が身に付けられるコーナーを巻頭に設けている。</li> <li>・歴史や公民等で活用できるよう、歴史で活用できる鳥瞰図や視点を変えた地図等を掲載している。</li> </ul> <p>【分量・装丁】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・A4判を採用している。</li> <li>・統計資料では、比較できるよう、地方別・項目別に色分けをしたり、上位国・上位県の数値を赤字で示したりしている。</li> </ul>	<p>【読みやすさの工夫】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・見やすく読みまちがえにくいユニバーサルデザインフォントを使用している旨を掲載している。</li> <li>・特別支援教育やユニバーサルデザインの観点から色覚特性に配慮した色づかいとなるよう工夫している旨を掲載している。</li> <li>・海底の青から高地の茶色まで、最多14段階で色を変え、高低を表している。</li> <li>・50万分の1の地図では、土地利用の様子を7色に分けて示している。</li> </ul>

# 調査研究報告書 ⑥

## 数学

発行者の番号略称	書名	学習指導要領との関連	内容	構成・分量・装丁	表記・表現
2 東書	新しい数学 1 新しい数学 2 新しい数学 3	・学習指導要領に示されている目標、内容、指導計画の作成と内容の取扱いを踏まえ、「知識・技能」「思考・判断・表現」「主体的に学習に取り組む態度」を重視している。 ・教育内容の主な改善事項のうち、「伝統や文化に関する教育の充実」に関連して、現代的な社会問題・諸課題である「防災・安全」「環境」「人権・多様性の尊重」「伝統・文化の尊重」「オリンピック・パラリンピック」に関わる題材を掲載している。	【知識・技能】 ・目次に単元の内容と関連する既習事項を提示し、学年間での繋がりを掲載している。また巻末の「学びのつながり」では既習事項のまとめのページを設けている。 ・基礎・基本的な概念や性質の理解、技能の定着を図ることができるよう節末の「基本の問題」を設定し、その問題に関わる内容を示すページを掲載している。 ・生徒のつまずきやすいところでは、「まちがい例」を示し知識・技能の習得を図ることができるよう掲載している。 【思考・判断・表現】 ・単元で学習した内容を用いて、自分の考えを説明したり、他の考えと比較したりして問題解決をする場面を「深い学び」で設けている。 ・巻頭「ノートのつくり方」や巻末「数学の自由研究(レポートにまとめよう)」では、他の考えや振り返りの書き方などを掲載している。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・巻頭の「大切にしたい数学の学び方」や各章の途中の「深い学び」では、言語活動を中心に学習を進めることができるように、学習の流れを掲載している。 ・巻末の「数学の自由研究」では、生徒自らが新たな問いや興味・関心を持ち、学びが他教科にも広がるように、関連する教科名を掲載している。 【かわさき教育プラン】 ・基礎・基本の定着を図る問題を掲載すると共に、章末や巻末にある「活用の問題」や「補充問題」で発展的な内容を掲載することで、習熟の程度に応じた学びを設定している。 ・章末の「学びをひろげよう」では、数学と実社会の繋がりを感ずることができるように、数学と関わる仕事をしている人のインタビューを掲載している。	【主体的・対話的で深い学びに関わる構成】 ・章の導入を、必ず奇数ページ(右ページ)に位置付け、日常生活の一コマイラストの問いかけで1節に繋がるようにしている。 ・問いが「考えてみよう」「調べてみよう」で始まり、生徒が自ら問題解決できるよう「問題をつかむ→見通しをたてる→問題を解決する→ふり返る→深める」の過程に沿って、構成している。 ・二次元コードでは、理解を深めるためのアニメーションや動画、点を動かすなどのシュミレーション、データの整理に役立つコンテンツ、他教科とリンクしている内容を掲載している。また、巻頭にコンテンツの一覧を掲載し、該当ページに「Dマーク」を掲載している。 ・巻末資料は、(1年)いろいろな立体、(2年)確率、(3年)因数分解、三平方の定理、カメラの模型(円周角)で利用する切り抜き可能な教材を設けている。 【分量・装丁】 ・B5判	【読みやすさの工夫】 ・カラーユニバーサルデザイン、ユニバーサルフォントを含む「ユニバーサルデザイン」で示している。 ・生徒の問いや疑問、見方・考え方の深まりを虫眼鏡のマークやキャラクターの吹き出しで表している。 ・章ごとに色を変え、奇数ページにインデックスを設けている。 ・課題や問題などが把握しやすくなるように色使いを変えたり、囲みなどを使ったりしそれぞれを区別している。 ・新出用語にはルビを付けている。
4 大日本	数学の世界 1 数学の世界 2 数学の世界 3	・学習指導要領に示されている目標、内容、指導計画の作成と内容の取扱いを踏まえ、「知識・技能」「思考・判断・表現」「主体的に学習に取り組む態度」を重視している。 ・教育内容の主な改善事項のうち、「伝統や文化に関する教育の充実」に関連して、現代的な諸課題への対応として「防災」や「オリンピック・パラリンピック」の問題、「主権者」としての社会参画を促す題材、「異文化理解」に関わる資料、そして「日本の伝統文化」に関わる問題を掲載している。	【知識・技能】 ・目次に単元の関連する既習事項を提示し、学年間での繋がりを掲載している。また巻末付録では1年間のまとめを冊子として活用できるように設けている。(3年は中学校のまとめを掲載し、切り離しは不可) ・基礎・基本的な知識の理解と技能の定着を図るため、節末の「たしかめよう」では側注に確認事項を設け、その問題に関わる内容を示すページを掲載している。 ・基礎・基本の定着を図れるよう、章末に「章をふり返ろう」を設けている。 【思考・判断・表現】 ・Q(問題)のなかに、「伝えよう」や「判断しよう」などがあり、まわりの人に考えを伝える場面や、学習内容から判断する問題を設けている。 ・巻頭「ノートの作り方(例)」や章のなか「研究をしよう」「レポートを書こう」では、学びを振り返ったり広げたり、自分の考えをまとめたりする例を示している。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・巻頭の「数学の世界によろこそ」では、問題発見・問題解決の流れを示し、汎用的な見方・考え方を掲載している。 ・章末に「活用・探求」を設け、幅広い知識と教養を身に付けながら、生徒自らが新たな興味・関心を持つようにしている。巻末のMATHFULでは身の回りの生活にある数学が掲載されている。 【かわさき教育プラン】 ・技能の強化を図れるよう節末の「たしかめよう」、章末の「〇章をふりかえろう」、巻末の「補充問題」を設定している。また、「プラス・ワン」では、補充問題を掲載し、習熟の程度の状況に応じた学習内容を掲載している。 ・「社会にリンク」のなかで、宇宙物理学研究者や写真家など様々な職種へのインタビューを掲載し、仕事の中の数学について紹介している。	【主体的・対話的で深い学びに関わる構成】 ・章の導入では、左右2ページで章の内容を既習や日常生活に紐づけるように示している。 ・はじめに「めあて」を示し、「考えよう」から始まり「問題を見いだそう」「解決のしかたを探ろう」「解決しよう」「深めよう」の流れで問題解決型の学習の構成を示している。 ・二次元コードでは、シュミレーションや動画などを掲載している。該当ページでは「webマーク」で示している。巻頭の二次元コードで、3年間の該当ページを閲覧できる。数値を変えるなど条件を変えて操作ができる。 ・巻末資料は(1年)正多面体、1年のまとめ、(2年)2年のまとめ、(3年)因数分解、三平方の定理で利用する切り抜き可能な教材を設けている。 【分量・装丁】 ・B5判	【読みやすさの工夫】 ・文字はユニバーサルデザインフォントを使用し、色覚特性に配慮していることを掲載している。単語の途中の改行を避けて示している。 ・キャラクターの吹き出しで、生徒の数学的活動や理解、また多様な考え方に資するよう表している。 ・章ごとに色(領域ごとの色)を変え、奇数ページにインデックスを設けている。 ・用語・記号が初出時には太字で示し、めあてや重要事項のまとめは、太字で示している。
11 学図	中学校数学 1 中学校数学 2 中学校数学 3	・学習指導要領に示されている目標、内容、指導計画の作成と内容の取扱いを踏まえ、「知識・技能」「思考・判断・表現」「主体的に学習に取り組む態度」を重視している。 ・教育内容の主な改善事項のうち、「伝統や文化に関する教育の充実」に関連して、持続可能な開発目標(SDGs)に関わる国際的な課題や環境保全の問題、日本の伝統と文化に関わる問題を掲載している。	【知識・技能】 ・目次に単元の関連する既習事項を提示し、学年間での繋がりを掲載している。また2、3年巻末付録では「図形の性質のまとめ」を設けている。 ・基礎・基本的な知識、技能の定着を図るため節末の「確かめよう」では、その問題に関わる内容を示すページを掲載している。 ・知識・技能の定着を図れるよう、項ごとに「どんなことがわかったかな」で、重要事項を掲載している。 ・自らの学びを振り返ることができるように、章末に学習して分かったことのチェック欄を設けている。 【思考・判断・表現】 ・Q(問い)では、問題解決の見通しをもち協働的な学習に取り組めるように、「～を説明してみよう」「～をもとに話し合ってみよう」という問いかけをしている。 ・巻頭「ノートの使い方」や巻末「表現する力を身につけよう(レポートの作成、発表のしかた)」では、自分の考えのまとめ方やレポート作成から発表までの流れを掲載している。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・巻頭の「この教科書を使った数学の学び方」では、対話的に学びを進められるように、学習の進め方を示している。また、汎用的に使われる見方・考え方を8つにまとめ示している。 ・数学的活動のページでは、日常生活や社会から数学的活動を通して解決する協働的な学習を掲載している。 【かわさき教育プラン】 ・本文・章末・巻末に家庭学習としても活用できるページを設けている。また、章末には単元の内容を深めるための応用問題として「章のまとめ問題」と位置づけ、基本、応用、活用と習熟の程度に応じた問題を設けている。また3年巻末には「高校への架け橋」がある。 ・巻頭の「数学の力」や「役立つ数学」、各章の「まとめの数学(活用)」では、数学と実社会のつながりを感じることができるように、数学と関わる仕事をしている人へのインタビューや学習内容が役立つところ、関連する仕事を掲載している。	【主体的・対話的で深い学びに関わる構成】 ・章の導入は、左右2ページで章の内容を日常生活に紐づけるように設定し、ページ右下に1節に繋がるような問いを設けている。 ・章の扉で問題を発見し、「解決の見通し」「目標設定」「解決」「新たな問題の発見」の流れで問題解決型の学習の構成を示している。また、「〇〇の利用」ではさらに協働的な学習、統合的・発展的な学習に繋がる構成になっている。 ・二次元コードでは、図形の移動やグラフのシュミレーションなどを掲載している。該当ページでは二次元コードをそのまま掲載し、巻頭の二次元コードで3年間の該当ページを閲覧できる。 ・巻末資料は(1年)正負の数、角錐の体積、プログラム体験、(2年)図形の性質のまとめ、合同、四角形、確率、プログラム体験、(3年)図形の性質のまとめ、因数分解、三平方の定理、プログラム体験で利用する切り抜き可能な教材を設けている。また、各学年にホワイトボード代わりとなる対話的活動で利用できるページを設けている。 【分量・装丁】 ・B5判	【読みやすさの工夫】 ・ユニバーサルデザイン、カラーユニバーサルデザインの視点で示している。 ・問題解決へ導く言葉やキーワードを挿絵やキャラクターの吹き出しで表している。 ・章ごとに色を変え、奇数ページにインデックスを設けている。 ・「確かめよう」や「どんなことがわかったかな」などの学習で重要事項となる部分は、色付き枠やフォントの拡大で示している。

発行者の 番号略称	書名	学習指導要領との 関連	内容	構成・分量・装丁	表記・表現
17 教出	中学数学 1 中学数学 2 中学数学 3	<ul style="list-style-type: none"> <li>学習指導要領に示されている目標、内容、指導計画の作成と内容の取扱いを踏まえ、「知識・技能」「思考・判断・表現」「主体的に学習に取り組む態度」を重視している。</li> <li>教育内容の主な改善事項のうち、「伝統や文化に関する教育の充実」に関連して、持続可能な開発目標(SDGs)に関わる課題の環境保全の問題、貧困対策への問題や「防災・安全」「社会福祉」「先端科学技術」に関する問題や資料、そして「日本の伝統・文化」に関わる問題や資料を掲載している。</li> </ul>	<p>【知識・技能】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>目次に単元の内容と関連する既習事項を提示し、学年間での繋がりを掲載している。また巻末の「学びのマップ」では小学校を含めた既習事項との系統を含め、前学年までの学習事項のまとめのページを設けている。</li> <li>節末の「基本の問題」では基礎的・基本的な知識や技能の定着を図り、その問題に関わる内容を示すページを掲載している。</li> <li>生徒のつまずきやすい事項について、誤答例を示したり、側注に「もどって確認」を設け、その関連するページを示している。</li> </ul> <p>【思考・判断・表現】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>多様な考え方ができる課題や、自分の考え方を説明したり解決の仕方を話し合ったりする課題を設けている。</li> <li>1章の終わりに「工夫してノートを書こう」を掲載し、ノートの取り方の4つのポイントと+αのノートづくりを示している。また、「レポートを書こう」では自分の調べたことを周りに伝える手段として、普段の生活から数学の問題として考え、その解決までの流れを示している。</li> </ul> <p>【主体的に学習に取り組む態度】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>巻頭の「学習にあたって」では問題発見・解決のプロセスやその解説を示し、対話的活動の工夫などを掲載している。また汎用的に使われる「数学的な考え方」を掲載し、深く考えるプロセスを示している。</li> <li>巻末「数学の広場」では、日常生活と数学との関連や数学の歴史などを扱い、数学に対する興味、関心を深める内容を掲載している。また「学んだことを活用しよう」では、発展的・統合的な学びを示している。</li> </ul> <p>【かわさき教育プラン】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>巻末の「補充問題」では基礎的・基本的な内容を、「実力アップ問題」では発展的な内容を設定し、個に応じた学習課題を設けている。</li> <li>「数学の広場」では、先端テクノロジーや輸送運搬計画など数学が日常生活や実社会に利用されている仕事に携わり数学を役立てている方へのインタビューを掲載している。</li> </ul>	<p>【主体的・対話的で深い学びに関わる構成】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>章の導入は、奇数ページ(右側ページ)に位置付け、日常生活や社会に利用されている事例を取り上げ、続くLet's Tryでは対話形式で問いを生む工夫を示し、1節につながる構成である。</li> <li>授業の流れを生徒の素朴な疑問「？」から始め、それを問い続けながら解決する構成で示している。「問題をつかもう」「自分の考えをもとう」「友だちの考えを知ろう」「みんなで話し合おう」「学習をふり返ろう」「深めよう」の流れで筋道立てて説明し伝え合う活動を設定し、問題解決型の学習を示している。</li> <li>二次元コードで、図形を動かしたり補充問題の演習ができたり、数値を変えての操作ができたりする。該当ページでは「まなびリンク」のマークで示している。巻頭の二次元コードから3年間の該当ページを閲覧できる。</li> <li>巻末資料は(1年)方眼用紙、正多面体、(2年)方眼用紙、確率、(3年)因数分解、三平方の定理、図形の性質のまとめ、三平方の定理の証明で利用する切り抜き可能な教材を設けている。</li> </ul> <p>【分量・装丁】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>B5判</li> </ul>	<p>【読みやすさの工夫】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>カラーユニバーサルデザイン、ユニバーサルフォントを含む「ユニバーサルデザイン」で示している。また文節のまとまりで改行している。</li> <li>生徒の問いや疑問、見方・考え方の深まりをキャラクターの吹き出しやマーク(？や!)で表している。</li> <li>ページの右側スペースには、「数学メモ」や「数学的な考え方」、「もどって確認」などを示している。</li> <li>図形の性質や定理のまとめなど重要事項は枠で囲みベージュ色で強調し、新出用語は書体を変えて示している。</li> <li>Qを枠で囲んでいる。</li> </ul>
61 啓林館	未来へひろがる数学 1 未来へひろがる数学 2 未来へひろがる数学 3	<ul style="list-style-type: none"> <li>学習指導要領に示されている目標、内容、指導計画の作成と内容の取扱いを踏まえ、「知識・技能」「思考・判断・表現」「主体的に学習に取り組む態度」を重視している。</li> <li>教育内容の主な改善事項のうち、「伝統や文化に関する教育の充実」に関連して、「防災・減災教育」に関わる題材や「環境」、「福祉」、「国際理解」、「防災」に関わる問題や他国の文化に関する題材を掲載している。</li> </ul>	<p>【知識・技能】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>振り返りながら学習できるように、課題の横にその課題を解決するために必要な性質を小枠で示し、既習事項を「ふりかえり」で掲載している。</li> <li>章末問題「学びをたしかめよう」では、側注に学習したことの確認事項を設け、その問題に関わる内容を示すページを掲載している。</li> <li>生徒の間違いやすい問題では「誤答例」を示し、確認できるよう設定している。</li> </ul> <p>【思考・判断・表現】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>数学的思考の、表現及び整理する方法をステップ形式で掲載している。また、自分の考えを表現する場を、「説明しよう」「話しあおう」「まとめよう」と設定している。</li> <li>学習の振り返りや評価・改善が自らできるように、巻頭の「ノートをくふうして、学習に役立てよう」では、ノートのとり方を複数掲載している。また、自分から学ぼう編では「レポート例」として、問題発見・解決の流れを掲載している</li> </ul> <p>【主体的に学習に取り組む態度】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>みんなで学ぼう編、巻頭の「構成と使い方」では、自分から問題を生み出したり、いろいろな場面で役立つ数学的な見方・考え方について示している。</li> <li>自分から学ぼう編「学びをいかそう」では、数学を身の周りで利用したり、深めたり広げたりできるように示している。</li> </ul> <p>【かわさき教育プラン】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>章末問題では、基礎「学びをたしかめよう」、応用「学びを身につけよう」の2つに分け、習熟の程度に応じた問題を設けている。なお「章末の問題」では、「二次元コード」を読み取ると全ての問題の考え方と解説を見ることができる。</li> <li>「学びにいかそう」の「社会見学にいこう」など、生活や職業と関連する題材を設定している。</li> </ul>	<p>【主体的・対話的で深い学びに関わる構成】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>章の導入は左右2ページで、学校生活、日常生活に繋がる題材を掲載し右下にその章で学ぶことを示している。</li> <li>節ごとに問いから始まる「学習のとびら」を設け、「説明しよう」「話しあおう」「まとめよう」の流れで対話的な学びを示している。</li> <li>二次元コードでは、立体の動画や関連する分野の記事などを掲載している。また章末問題のヒントや解答は二次元コードの利用でも示している。該当ページでは二次元コードが掲載され、巻頭の二次元コードで3年間の該当ページを閲覧できる。</li> </ul> <p>【分量・装丁】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>B5判</li> <li>1冊だが、「みんなで学ぼう編」と「自分から学ぼう編」に分けている。</li> </ul>	<p>【読みやすさの工夫】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>カラーユニバーサルデザインやユニバーサルフォントを含むユニバーサルデザインで示している。また、意味や文節のまとまりで改行をしている。</li> <li>キャラクターの吹き出しで、見方や考えのキーワードを示したり、注意を喚起したりする場面を設けている。</li> <li>章ごと、奇数ページにインデックスを設けている。</li> <li>自分の考えを説明したり、他者の意見を聞いたりする場面には、破線で「説明しよう」、「話しあおう」を掲載している。</li> </ul>
104 数研	日々の学びに数学的な見方・考え方をはたらかせる これからの 数学1 見方・考え方ははたらかせる 問題解決のチカラが高まる これからの 数学1 日々の学びに数学的な見方・考え方をはたらかせる これからの 数学2 見方・考え方ははたらかせる 問題解決のチカラが高まる これからの 数学2 日々の学びに数学的な見方・考え方をはたらかせる これからの 数学3 見方・考え方ははたらかせる 問題解決のチカラが高まる これからの 数学3	<ul style="list-style-type: none"> <li>学習指導要領に示されている目標、内容、指導計画の作成と内容の取扱いを踏まえ、「知識・技能」「思考・判断・表現」「主体的に学習に取り組む態度」を重視している。</li> <li>教育内容の主な改善事項のうち、「伝統や文化に関する教育の充実」に関連して、「人権」「防災・減災・安全教育」、「環境問題」、「主権者教育」に関わる問題や「日本の伝統文化」や「世界遺産」に関わる資料を掲載している。</li> </ul>	<p>【知識・技能】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>章頭「ふりかえり」のページでは既習事項との繋がりを示し、学習に必要な知識の確認を掲載している。また巻末のまとめのページでは前の学年までの学びとの繋がりを合わせて確認できるよう章別、系統別で重要事項を示している。</li> <li>基礎・基本の定着を図るため、節末の「確認問題」では、その問題に関わる内容を示すページを掲載している。</li> <li>生徒の間違いやすいところには「！注意」のマークで確認できるように設定している。</li> </ul> <p>【思考・判断・表現】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>「Q」や「TRY」など生徒に考えさせる問いかけを各所に配置し、数学的活動を多く取り入れている。</li> <li>巻頭「ノートのづくり方」では、ノートづくりのポイントを紹介している。また巻頭「レポートを書こう」では、学年の成長段階に合わせて説明の違いを示しながら掲載している。</li> </ul> <p>【主体的に学習に取り組む態度】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>巻頭の「学習の進め方」では、「説明を聞くときは」「グループで話し合うときは」「発表するときは」の3つを示し、数学的活動でよく使う考えを掲載している。</li> <li>別冊探究ノートでは、課題を解決する活動の例を対話形式で示し、既習事項の内容をさらに深めたり発展させたりし、生徒が興味、関心を高める工夫をしている</li> </ul> <p>【かわさき教育プラン】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>巻末に「問題A」「問題B」があり、習熟の程度に応じて学習できるように設定されている。また、二次元コードの中に多くの補充問題を設けている。</li> <li>福祉、資源、地球環境、災害に備える知識など、実社会と数学を関連付ける題材を設定している。</li> </ul>	<p>【主体的・対話的で深い学びに関わる構成】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>章の導入では、左のページに既習事項の振り返り、右のページに日常生活と関わる事項を掲載している。</li> <li>考えるきっかけを示すためキャラクターの対話中に、間違った考えを示し、それに基づいた新たな疑問も示している。</li> <li>言語活動を充実させるように事実、方法、理由などを説明する問い、自己の考えを他者に伝える機会を設定している。</li> <li>二次元コードで、関連した補充問題、動画、アニメーションなどを閲覧できる。該当ページには「補充」「資料」「イメージ」「考察」などのマークで示している。巻頭の二次コードで3年間の該当ページを閲覧できる。</li> <li>巻末資料は(1年)平面図形、立体の切断、(3年)因数分解、三平方の定理で利用する切り抜き可能な教材を設けている。また、各学年学びの自己診断表を掲載している。</li> </ul> <p>【分量・装丁】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>B5判</li> <li>各学年教科書、別冊探求ノートの2冊に分けている。</li> </ul>	<p>【読みやすさの工夫】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>カラーユニバーサルデザインやユニバーサルフォントを含むユニバーサルデザインで示している。また文節は文節で改行している。</li> <li>1年生では「～しましょう」と問いの文末表現を変えている。</li> <li>生徒の考えるヒントや間違えやすい点、既習との繋がりをキャラクターの吹き出しで表している。</li> <li>章ごと奇数ページにインデックスを設けている。</li> <li>グラフや図をかく問題、長さや角度を測る問題など、教科書中にかき込みやすくなるよう、本の外側に設けている。</li> </ul>

発行者の 番号略称	書名	学習指導要領との 関連	内容	構成・分量・装丁	表記・表現
116 日文	中学数学 1 中学数学 2 中学数学 3	<ul style="list-style-type: none"> <li>学習指導要領に示されている目標、内容、指導計画の作成と内容の取扱いを踏まえ、「知識・技能」「思考・判断・表現」「主体的に学習に取り組む態度」を重視している。</li> <li>教育内容の主な改善事項のうち、「伝統や文化に関する教育の充実」に関連して、「安全・防災」、「環境」、「情報リテラシー」、「国際理解」に関わる問題や資料、そして「日本の伝統や文化」に関わる資料や題材を掲載している。</li> </ul>	<p>【知識・技能】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>目次に単元の内容と関連する既習事項を提示し、学年間での繋がりを掲載している。また各学年巻末には「図形のまとめ」のページを設けている。</li> <li>基礎・基本的な事項の定着を図り、節末の「基本の問題」では、その問題に関わる内容を示すページを掲載している。</li> <li>生徒のつまづきやすい問題には「まちがえやすい問題」と明記し、「！注意」として確認できるように示している。</li> </ul> <p>【思考・判断・表現】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>学習する内容をより理解するため、章内の各問いに「考えよう」「話し合おう」「深めよう」「説明できるかな」という表示がついている。</li> <li>巻頭「ノートの工夫」や巻末「数学レポートをかこう」では、学習を振り返る観点やその記述の方法を示している。疑問点を周りと共有し、数学的活動を通して解決する方法を掲載している。</li> </ul> <p>【主体的に学習に取り組む態度】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>巻頭の「数学の学習を始めよう」では、身近なことから数学の問題を発見し、それを解決するような数学的活動の流れを掲載している。また、「数学的な見方・考え方を身につけよう！」や各ページにある「大切な見方・考え方」では、汎用的な見方・考え方を示している。</li> <li>巻末の「数学研究室」では、生徒自らが新たな問いや興味・関心をもち学びが広がるように、「東京オリンピックのエンブレム」や「台風の強さ」、「プログラミング言語Scratchを用いる課題」など、他分野と関わりのある題材や発展的な題材を掲載している。</li> </ul> <p>【かわさき教育プラン】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>巻末に、「補充問題」、「総合問題」、「ステップアップ」と習熟に応じて学習できる問題を多く掲載している。また「問」では、基礎・基本が身に付いている生徒の学力を伸ばすために、「チャレンジ問題」を同じページに掲載している。</li> <li>「数学を仕事に生かす」では数学を仕事に生かしている方へのインタビューや暮らしの中に見られる数学を掲載している。</li> </ul>	<p>【主体的・対話的で深い学びに関わる構成】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>章の導入では、左右2ページで、章の内容を日常生活に紐づけるような事項を対話形式で示している。</li> <li>学び合おうの場面では問題解決型の学習として、生徒の主体的な問いから「見通しをもとう」「考えよう」「話し合おう」「振り返ろう」「深めよう」「もっと深めよう」の流れで構成している。</li> <li>二次元コードでは理解を深めるためのアニメーションや動画、フラッシュ計算を掲載している。該当ページでは「WEB」のマークで示している。3年間の該当ページを閲覧できる。</li> <li>巻末資料は(1年)空間図形、正多面体、(2年)図形のまとめ、(3年)因数分解で利用する切り抜き可能な教材を設けている。また、対話的活動で利用可能な対話シートを各学年で用意している。</li> </ul> <p>【分量・装丁】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>B5判</li> </ul>	<p>【読みやすさの工夫】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>カラーユニバーサルデザインやユニバーサルフォントを使用している。文節改行を行って表記している。</li> <li>キャラクターが、対話的活動を促したり、既習との繋がりを確認を表したりしている。</li> <li>ページの右端スペースには、「大切な見方・考え方」を示している。</li> <li>章ごとに色を変え、奇数ページにインデックスを設けている。</li> <li>教科書に、式途中の空欄や対話シートなどの数学的思考の整理ができる場所を設けている。</li> </ul>

# 調査研究報告書 ⑥

## 理科

発行者の番号 略称	書名	学習指導要領との関連	内容	構成・分量・装丁	表記・表現
2 東書	新しい科学1 新しい科学2 新しい科学3	・学習指導要領に示されている目標、内容、指導計画の作成と内容の取扱いを踏まえ、「知識・技能」「思考・判断・表現」「主体的に学習に取り組む態度」を重視している。 ・教育内容の主な改善事項のうち、「体験活動の充実」に関連して、巻末資料の「理科の学習を深めよう」で水族館や動物園、技術館や博物館等の施設を紹介している。	【知識・技能】 ・シミュレーションによる説明や資料となるWebページを参考にできるよう、巻頭の「インターネットを使ってみよう」に二次元コードの記載がある。 ・章末に「章末」、単元末に「学習内容の整理」「確かめと応用」の問題演習を設定している。 【思考・判断・表現】 ・巻頭に探究の学習過程として、「問題発見」「課題」「仮説」「構想」「観察実験」「分析解釈」「検討改善」「結論」「ふりかえり」「活用」と示している。 ・探究活動の補助をするために、「科学のミカタ」で理科の見方・考え方を示している。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・学習の前後で振り返り、自己の変容を自覚できるよう、章の始めと終わりに「Before&After」を設定している。 ・各節の導入に「レッツ スタート！」で学習内容に関する気づきを引き出している。 ・日常生活や社会での科学の有用性を実感できるよう、「つながる科学」を設けている。 【かわさき教育プラン】 ・終章の「世界につながる科学」では、SDGsについて扱い、持続可能な社会を考えるための情報を掲載している。	【主体的・対話的で深い学びに関わる構成】 ・各単元の初めに、「これまでに学んだこと」として既習内容の確認について示している。 ・キャラクターの吹き出しで、生徒の思考の補助となる会話を例示している。 ・単元末に「科学の本だな」を設定している。 【分量・装丁】 ・1年：観察10、実験13、活動2 ・2年：観察6、実験26、活動2 ・3年：観察5、実験13、活動8 ・判型はA4スリム判。 ・巻末に「世界の火山分布」「世界の震源分布」(1年)「温帯低気圧ペーパークラフト」(2年)「星座早見盤」(3年)の付録がある。	【読みやすさの工夫】 ・裏表紙に「全ての生徒の色覚特性に適應するようにデザインしています。」「ユニバーサルデザインフォントを採用しています。」と記載している。 ・観察、実験のページでは、安全指導や配慮すべき事項に対して共通の注意マークとともに色囲みや赤字で表記している。 ・理科用語は黒で太字、ルビをふっている。 ・既習の用語や他教科で学ぶ内容等には、本文中に波下線を引き、注釈をしている。 ・単元の初めや「科学の歴史」等では漫画を用いている。 ・探究の過程を各ページの下部に示している。
4 大日本	理科の世界1 理科の世界2 理科の世界3	・学習指導要領に示されている目標、内容、指導計画の作成と内容の取扱いを踏まえ、「知識・技能」「思考・判断・表現」「主体的に学習に取り組む態度」を重視している。 ・教育内容の主な改善事項のうち、「体験活動の充実」に関連して、「行ってみよう科学館・博物館」「生物を見に行こう」で科学館や博物館、動物園や水族館等の施設の紹介をしている。	【知識・技能】 ・目次の「理科の世界WEB」に、実験器具の使用方法を動画で確認したり、科学館や博物館のページを参考にしたりすることができるよう二次元コードを掲載している。 ・章末に「章末問題」を、単元の最後に「まとめ」「単元末問題」「読解力問題」を設定している。 【思考・判断・表現】 ・巻頭に「理科の学習の進め方」の中で、探究の過程とともに、考えを深める場面として「問題を見つけよう」「計画を立てよう」「結果から考えよう」「振り返ろう」「話し合おう」を示している。 ・理科の見方・考え方に気付かせるように、「やってみよう」を設定している。 ・各単元末に「探究活動」を設定し観察・実験による探究の過程を示し「読解力問題」では、思考力、判断力、表現力等が育成されるような問題設定をしている。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・日常生活や科学の有用性を実感できるよう、「科学のあしあと」「くらしの中の理科」「Science Press」を設けている。 【かわさき教育プラン】 ・終章の「これからの私たちのくらし」では、持続可能な社会にする方法について考えられるよう設定している。また、「Science Press」ではSDGsについて扱っている。	【主体的・対話的で深い学びに関わる構成】 ・各単元の開始において学習内容を章ごとに示し、「これまでに学習したこと」「これから学習すること」を見開きを使用して説明している。また、小学校の既習内容は本文展開に関連させて「思い出そう」として既習の振り返りを設定している。 ・探究活動の「やってみよう」や「話し合おう」では、キャラクターの吹き出しで、見方や考え方の例示や探究のヒントを例示している。 【分量・装丁】 ・1年：観察9、実験10、活動4 ・2年：観察5、実験24、活動2 ・3年：観察4、実験16、活動2 ・判型はB5判	【読みやすさの工夫】 ・裏表紙に「ユニバーサルデザインフォントを使用しています。」と記載している。 ・観察、実験ページでは、安全指導や配慮すべき注意事項は「注意マーク」とともに色囲みで表記している。 ・理科用語は黒で太字、ルビをふっている。 ・探究の過程のうち、特に考えを深める場面には、「結果から考えよう」のマークで示している。
11 学図	中学校 科学1 中学校 科学2 中学校 科学3	・学習指導要領に示されている目標、内容、指導計画の作成と内容の取扱いを踏まえ、「知識・技能」「思考・判断・表現」「主体的に学習に取り組む態度」を重視している。 ・教育内容の主な改善事項のうち、「体験活動の充実」に関連して、「サイエンスカフェ」ではジオパークを紹介している。	【知識・技能】 ・巻頭や本文中に二次元コードがあり、実験器具の使い方の動画や資料となるWebページ等を提示している。 ・章のまとめや基礎問題を、二次元コードにより確認できるよう掲載している。 ・「この時間の課題」と「この時間のまとめ」を提示している。 【思考・判断・表現】 ・巻頭の「理科のトリセツ」の中で、探究の過程を「気づき」「課題設定」「仮説」「検証計画」「観察・実験」「結果」「考察」「振り返り」「伝える」「次の気づき」と示しており、それに基づいた観察、実験等を掲載している。 ・単元末に、学習内容に関連した会話形式等の文脈から思考したり、図や文章で表現したりする「学びを日常に生かしたら」を設けている。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・学習の前後で自分の成長した様子がわかるよう、単元のはじめに「学びのあしあと」を設定している。 ・日常生活とのかかわりや科学の有用性を実感できるよう、「サイエンスカフェ」を設けている。 【かわさき教育プラン】 ・1学年及び2学年巻頭の「なぜ理科を学ぶの？」では、SDGsを扱っている。また3学年の最終単元では、持続可能な社会づくりの必要性として、SDGsについて掲載している。	【主体的・対話的で深い学びに関わる構成】 ・単元の始めに、既習事項を確認し新たな学習に入るよう「ふり返ろう・つなげよう」を設定している。 ・章の始めに「目標」、章末に「何ができるようになったか」を「Can-Do List」として示している。 ・キャラクターの吹き出しで、理科の見方や考え方の例や、探究のヒントとなる会話を例示している。 【分量・装丁】 ・1年：観察7、実験9、活動4 ・2年：観察7、実験18、活動4 ・3年：観察3、実験13、活動7 ・判型はAB判。 ・巻末に、ホワイトボードとして使用できる「学びの交換 アイデアボード」がある。	【読みやすさの工夫】 ・裏表紙に「ユニバーサルデザインの視点を取り入れ、色使いやレイアウト等に配慮して編集しました。」と記載している。 ・観察、実験のページでは、安全指導や配慮すべき事項に対して「ストップマーク」とともに色囲みや赤字で表記している。 ・理科用語は黒で太字、ルビをふっている。 ・探究の過程を、矢印を付けた場面のマークで左側に示し、それに対応する写真や図を右側や中央に配置している。

発行者の番号 略称	書名	学習指導要領との関連	内容	構成・分量・装丁	表記・表現
17 教出	自然の探究 中 学理科1 自然の探究 中 学理科2 自然の探究 中 学理科3	<ul style="list-style-type: none"> <li>学習指導要領に示されている目標、内容、指導計画の作成と内容の取扱いを踏まえ、「知識・技能」「思考・判断・表現」「主体的に学習に取り組む態度」を重視している。</li> <li>教育内容の主な改善事項のうち、「体験活動の充実」に関連して、巻末資料の「郊外の施設を活用しよう」では、動物園や科学館、プラネタリウム等の施設を紹介している。</li> </ul>	<p>【知識・技能】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>巻頭には二次元コードがあり、「まなびリンク」のマークのあるページの学習内容に関連する情報や資料となるWebページにつながる工夫をしている。</li> <li>章末に「要点をチェック」、単元末に「要点と重要用語の整理」「基本問題」を設定している。また、巻末に「学年末総合問題」を設定している。</li> </ul> <p>【思考・判断・表現】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>巻頭の「探究の進め方」では、探究の過程として「疑問」「課題」「仮説」「計画」「観察実験」「考察」「結論」と示している。また、観察、実験等のページを開いた状態で参照できるよう、折り込みになっている。</li> <li>自然体験や日常生活に関連付けて探究するよう、観察、実験の結論の後に「活用しよう」や「発展」を設定している。</li> </ul> <p>【主体的に学習に取り組む態度】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>自己の変容を自覚できるよう、章の初めと終わりに「学習前の私」と「学習後の私」を設定している。</li> <li>日常生活や科学の有用性を実感できるよう、「科学者列伝」「ハローサイエンス」を設けている。</li> </ul> <p>【かわさき教育プラン】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>終章では、持続可能な社会をつくるために、「ハローサイエンス」でSDGsを取り上げている。日常生活や社会と関連付けながら持続可能な社会を考えるための情報を掲載している。</li> </ul>	<p>【主体的・対話的で深い学びに関わる構成】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>既習事項を確認したうえで、新たな学習に入るよう、各章の始めに「学んでいくこと」と「これまでの学習」を示している。</li> <li>キャラクターの吹き出しで、実験前の疑問や実験後の考察、などの探究のヒントを例示している。</li> </ul> <p>【分量・装丁】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>1年：観察6、実験13、活動4</li> <li>2年：観察5、実験19、活動1</li> <li>3年：観察2、実験13、活動6</li> <li>判型はAB判。</li> <li>巻末に、「生物カード(植物編)と(動物編)」「(1年)「原子のモデルカード」(2年)「星座早見盤」(3年)の付録がある。</li> </ul>	<p>【読みやすさの工夫】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>裏表紙に「カラーユニバーサルデザインに配慮しています。」「ユニバーサルデザインフォントを使用しています。」と記載している。</li> <li>観察、実験のページでは、安全指導や配慮すべき事項に対して、マークとともに色囲みや赤字で表記している。</li> <li>理科用語は橙色で太字、ルビをふっている。</li> <li>探究の過程を、矢印を付けた場面のマークで左側に示し、対応する写真や図を右側や下に配置している。</li> </ul>
61 啓林館	未来へひろがるサイエンス1 未来へひろがるサイエンス2 未来へひろがるサイエンス3	<ul style="list-style-type: none"> <li>学習指導要領に示されている目標、内容、指導計画の作成と内容の取扱いを踏まえ、「知識・技能」「思考・判断・表現」「主体的に学習に取り組む態度」を重視している。</li> <li>教育内容の主な改善事項のうち、「体験活動の充実」に関連して、巻末のサイエンス資料では、ジオパークや博物館や科学学習センター等を紹介している。</li> </ul>	<p>【知識・技能】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>巻頭の「科学にアクセス」や該当ページには二次元コードがあり、実験器具の使い方、シミュレーション等による現象の説明、他学年のつながりある学習内容の確認等のWebページを設定している。</li> <li>各章末に「基本のチェック」、各単元末に「学習のまとめ」「力だめし」を設定している。また、巻末に「学年末総合問題」を設定している。</li> </ul> <p>【思考・判断・表現】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>巻頭の「探究とは」や、巻末の「探究の流れと探究の振り返り」では、探究の過程として「疑問」「課題」「仮説」「計画」「観察実験」「結果」「考察」「表現」と示している。</li> <li>巻末には各単元の内容を科学的に探究する「探Qシート」を設けている。</li> </ul> <p>【主体的に学習に取り組む態度】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>日常生活とのかかわりや科学の有用性を実感できるよう、「お仕事ラボ」「お料理ラボ」「部活ラボ」等のコーナーを設けている。</li> <li>単元の初めの「科学にアクセス」では、二次元コードによりその単元の学習を見通すデジタル教材を設定している。</li> <li>単元の初めに「学ぶ前にトライ」「学んだあとにリトライ」を設定している。</li> </ul> <p>【かわさき教育プラン】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>「環境」の5章「持続可能な社会をめざして」では、SDGsについて取り上げ、持続可能な社会を目指すよう、エネルギーや自然環境の保全、最新の科学技術等を掲載している。</li> </ul>	<p>【主体的・対話的で深い学びに関わる構成】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>既習事項を確認して新たな学習に入るよう、各章の始めには「つながる学び」が、本文中には「思い出してみよう」を設定している。</li> <li>キャラクターの吹き出しで、「考えてみよう」「活用してみよう」「表現してみよう」のコーナーや、探究活動に取り組むうえでのヒントや思考を例示している。</li> </ul> <p>【分量・装丁】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>1年：観察7、実験14、活動2</li> <li>2年：観察3、実験20、活動5</li> <li>3年：観察2、実験17、活動6</li> <li>判型はAB判。</li> <li>巻末に、単元ごとの探Qシートの付録がある。</li> </ul>	<p>【読みやすさの工夫】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>裏表紙に「配色・デザインを用いました。」「ユニバーサルデザインフォントを採用しています。」と記載している。</li> <li>観察、実験のページでは、安全指導や配慮すべき事項に対して、マークとともに赤字で表記している。</li> <li>理科用語は黒で太字、ルビをふっている。</li> <li>探究の過程の場面を左側に示し、点線をつないでおり、それに対応する写真や図をステップごとに右側に配置している。</li> </ul>

# 調査研究報告書 ⑥

## 音楽(一般)

発行者の番号略称	書名	学習指導要領との関連	内容	構成・分量・装丁	表記・表現
17 教出	中学音楽 1 音楽のおくりもの 中学音楽 2・3上 音楽のおくりもの 中学音楽 2・3下 音楽のおくりもの	・学習指導要領に示されている目標、内容、指導計画の作成と内容の取扱いを踏まえ、「知識・技能」「思考・判断・表現」「主体的に学習に取り組む態度」を重視している。 ・教育内容の主な改善事項のうち、「伝統や文化に関する教育の充実」に関連して、我が国の伝統音楽や郷土の民謡や芸能、歌唱共通教材、諸外国の音楽等を掲載し、我が国や郷土の音楽文化、他国の音楽文化を尊重する態度を養う工夫をしている。	【知識・技能】 ・「どんな特徴があるかな？」では、音楽を形づくっている要素を解説し、それらの働きに注目しながら鑑賞する教材を掲載している。 ・「Let's Sing!」では、創意工夫を生かした音楽表現をするために必要な歌唱の技能を習得するための手立てを掲載している。 ・「指揮をしてみよう」のコーナーでは、実際の音楽に合わせた指揮の振り方の解説を掲載している。 ・我が国の伝統芸能や民謡の教材では、実際に歌う活動や楽器のリズムなどを言葉で唱える唱歌の活動を掲載している。 【思考・判断・表現】 ・「学びのユニット」で、音楽を形づくっている要素を「学びの手がかりとなるヒント」として示している。 ・「ACTIVE!すすんで学び合おう」では、キャラクターを活用して、思考を促すヒントや考えるきっかけを示している。 ・「音のスケッチ」は、創作の活動の手順を示し、作品の例を参考に試行錯誤して創作活動に取り組む教材を掲載している。 ・「何が同じで、何が違う？」では、曲を比較して学習を進め、音楽の特徴を書き込む欄やそれを基に話し合う手立てを掲載している。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・各教材に具体的な活動例、学習したことを生かして比較する活動、学びを深める活動を掲載している。 ・第1学年では、変声期に起きる音域の変化や無理のない発声に関する解説を掲載している。 ・「発展」のコーナーでは、「音の伝わり方」「音の三要素」など、他教科と関連した学習や生活の中の音や音楽について、発展した学習の内容を掲載している。 【かわさき教育プラン】 ・我が国の郷土の様々な民謡や伝統芸能などの我が国の音楽文化、諸外国に伝わる音楽を掲載している。 ・「話し合おう」や「音のスケッチ」では、友達と対話をしたり、協働的に学習を進めたりする手立てを掲載している。	【主体的・対話的で深い学びに関わる構成】 ・「学びのユニット」として、領域・分野ごとに題材を示し、学びのねらいや学習内容、音楽を形づくっている要素を示している。 ・音楽から感じ取ったことを自分の考えとしてまとめ、友達と交流する手立てを示している。 ・各分野の主要教材と主要教材を補完する選択可能な教材で構成している。 ・学習に役立つ情報やワークシートをウェブサイトで見たり聴いたりすることができるよう、「まなびリンク」のマークを掲載し、各学年の巻頭に二次元コードとURLを掲載している。 【分量・装丁】 ・判型はAB変型で、巻末に折り込みページがある。	【読みやすさの工夫】 ・「学びのユニット」では、領域・分野ごとに色分けし、各教材のページの帯も同じ色で示している。 ・教材ごとに、教材名や活動、活動の目標、学習内容が関連するページをマークを用いて示している。 ・「より多くの人に見やすいカラーユニバーサルデザインに配慮しています」と示し、学習目標には、ユニバーサルデザインフォントを使用している。作曲者、楽器名などにはルビを振っている。 ・歌唱共通教材は、縦書きの歌詞を別記し、語句に解説を加え、情景の写真を掲載している。
27 教芸	中学生の音楽 1 中学生の音楽 2・3上 中学生の音楽 2・3下	・学習指導要領に示されている目標、内容、指導計画の作成と内容の取扱いを踏まえ、「知識・技能」「思考・判断・表現」「主体的に学習に取り組む態度」を重視している。 ・教育内容の主な改善事項のうち、「伝統や文化に関する教育の充実」に関連して、我が国の伝統的な音楽文化や郷土の音楽、我が国で長く歌い継がれている歌、諸外国の伝統的な音楽を掲載し、音楽を通して多様性を学び、他者や他国を尊重する姿勢を育む工夫をしている。	【知識・技能】 ・「音楽を形づくっている要素」のコーナーでは、[共通事項]に示されている音楽を形づくっている要素を、教材と関連付けて示している。 ・「My Voice!」では、創意工夫を生かした音楽表現をするために必要な歌唱の技能を習得するための手立てを掲載している。 ・「指揮をしてみよう」では、教材曲を聴きながら指揮をして、実感を伴って音楽の特徴を感じ取る手立てを掲載している。 ・我が国の伝統芸能や民謡などは、実際に歌う活動や、楽器のリズムなどを言葉で唱える唱歌の活動を掲載している。 【思考・判断・表現】 ・教材ごとに音楽的な見方・考え方を働かせる際の視点となる、音楽を形づくっている要素を掲載している。 ・「深めよう！音楽」では、キャラクターを活用して、グループ活動の話し合いの例や思考を促すヒントを示している。 ・「My Melody」「Let's Create!」では、創作の課題と手順を示し、作品例を参考に試行錯誤して活動に取り組む教材を掲載している。 ・「深めよう！音楽」では、学習の流れを示し、音楽的な特徴を書き込むシートやそれをもとに話し合う手立てを掲載している。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・各教材に「学習目標」「具体的な学習活動」を示している。 ・第1学年では、変声期について、そのしくみと音域の変化、心がけることについて掲載している。 ・「仕事と音楽」「SDGs」「アウトリーチ」「音や音楽の役割」「能 敦盛」など、他教科と関連した学習や生活や社会の中にある音や音楽への関心を促す内容を掲載している。 【かわさき教育プラン】 ・我が国の郷土の様々な民謡や伝統芸能などの我が国の音楽文化、諸外国に伝わる音楽を掲載している。 ・「曲のよさをプレゼンしよう」「Let's Create!」では、友達と対話をしたり、協働的に学習を進めたりする手立てを掲載している。	【主体的・対話的で深い学びに関わる構成】 ・1年間の学習について、各教材を通して身に付ける資質・能力とそれに対応する学習内容や教材、音楽を形づくっている要素を一覧にして示している。 ・音楽から感じ取ったことを自分の考えとしてまとめ、友達と意見を出し合いながら交流する手立てを示している。 ・巻末に「歌い継ごう日本の歌」「心通う合唱」を設け、日本の歌や全校合唱を想定した発展的な合唱教材を掲載している。 ・二次元コードがある部分は、ウェブサイトの音源や資料などの情報でさらに学習を深められるようにしている。 【分量・装丁】 ・判型はA4変形判で、全体を通して同じ綴じ方である。	【読みやすさの工夫】 ・領域・分野ごとにページの帯を色分けしている。 ・教材ごとに、教材名や活動、ねらい、学習の視点となる音楽を形づくっている要素を示している。 ・「ユニバーサルデザインへの取り組み～全ての生徒にとって使いやすく」と示し、タイトルや文章、楽譜中の歌詞にユニバーサルデザインフォントを使用している。 ・歌唱共通教材は、縦書きの歌詞を別記し、語句に解説を加え、情景の写真や絵を掲載している。

# 調査研究報告書 ⑥

## 音楽(器楽合奏)

発行者の番号略称	書名	学習指導要領との関連	内容	構成・分量・装丁	表記・表現
17 教出	中学器楽 音楽のおくりもの	<p>・学習指導要領に示されている目標、内容、指導計画の作成と内容の取扱いを踏まえ、「知識・技能」「思考・判断・表現」「主体的に学習に取り組む態度」を重視している。</p> <p>・教育内容の主な改善事項のうち、「伝統や文化に関する教育の充実」に関連して、和楽器の奏法や関連する楽曲の鑑賞の活動、和楽器と洋楽器を比較する教材を掲載し、我が国の伝統と文化、他国を尊重する態度を養う工夫をしている。</p>	<p>【知識・技能】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・演奏に必要な知識・技能の習得に向けて、楽器の構え方や演奏の姿勢、奏法に関する写真や絵、解説を掲載している。</li> <li>・「Let's Try!」では、演奏のポイントを掲載している。</li> <li>・「唱歌について」では、唱歌の例や解説を掲載し、和楽器の学習の中で、楽器のリズムなどを言葉で唱える唱歌の活動を掲載している。</li> </ul> <p>【思考・判断・表現】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・「何が同じで、何が違う？」や「聴いてみよう」のコーナーでは、器楽と鑑賞の領域を関連づけながら学習を進めていく手立てを示している。</li> <li>・キャラクターを活用して、楽器を創意工夫して演奏する際のアドバイスや解説などを示している。</li> <li>・「音のスケッチ」では、楽器の学習で習得した知識を活用して、創作の活動に取り組む手立てを掲載している。</li> </ul> <p>【主体的に学習に取り組む態度】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・「学びのねらい」では、学習のねらいや活動を示し、各教材曲には「学びのポイント」を示している。「まとめの曲」で学んだ内容を確認し、学びが段階的に発展していくように掲載している。</li> <li>・リコーダーの教材は、小学校で使用したソプラノリコーダーでも対応できる曲を掲載している。</li> <li>・「発展」のコーナーでは、学習したことを生かして、さらに発展的に取り組む教材を掲載している。</li> </ul> <p>【かわさき教育プラン】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・「音のスケッチ」では、グループで創作する活動を掲載するなど、アンサンブルや創作の活動の中で、協働的に学習を進める教材を掲載している。</li> </ul>	<p>【主体的・対話的で深い学びに関わる構成】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・前半に各楽器の歴史や基本的奏法の学習を掲載し、後半にリコーダーの合奏やアンサンブル教材を掲載している。</li> <li>・「話し合おう」では、自分の意見を友達に紹介する手立てを掲載している。</li> <li>・学習に役立つ情報をウェブサイトで見たり聴いたりすることができるよう、該当ページに「まなびリンク」のマークを掲載し、巻頭に二次元コードとURLを掲載している。</li> </ul> <p>【分量・装丁】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・判型はAB変型で、折り込みページと口絵は質感の異なる厚い紙である。</li> <li>・リコーダー、ギター及び箏、三味線、太鼓、篠笛、尺八の7種類の楽器を掲載している。</li> </ul>	<p>【読みやすさの工夫】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・学習する楽器について、楽器や演奏している様子を写真やイラストを掲載している。</li> <li>・「より多くの人に見やすいカラーユニバーサルデザインに配慮しています」と示し、学習目標には、ユニバーサルデザインフォントを使用している。</li> <li>・「リコーダー運指表」と「ギター&amp;キーボードコード表」を折り込みページの見開きで掲載している。</li> </ul>
27 教芸	中学生の器楽	<p>・学習指導要領に示されている目標、内容、指導計画の作成と内容の取扱いを踏まえ、「知識・技能」「思考・判断・表現」「主体的に学習に取り組む態度」を重視している。</p> <p>・教育内容の主な改善事項のうち、「伝統や文化に関する教育の充実」に関連して、我が国の伝統的な音楽や楽器、諸外国の音楽で使用する楽器を掲載し、我が国や諸外国に伝わるさまざまな音楽に触れ、伝統と文化を尊重する態度を養う工夫をしている。</p>	<p>【知識・技能】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・演奏に必要な知識・技能の習得に向けて、姿勢と構え方、奏法を写真や絵、解説を用いて段階的に手順を掲載している。</li> <li>・曲想と音楽の構造などとの関わりについての気付きや理解を促す内容のコラム、「Q&amp;A」のコーナーを掲載している。</li> <li>・和楽器のページでは、楽器ごとの唱歌の例や解説を掲載し、和楽器の学習の中で、楽器のリズムなどを言葉で唱える唱歌の活動を掲載している。</li> </ul> <p>【思考・判断・表現】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・「アンサンブルセミナー」「My Melody」では、教材ごとに「学習目標」「活動文」及び音楽的な見方・考え方を働かせる際の視点となる「音楽を形づくっている要素」を掲載している。</li> <li>・「My Melody」では、箏の学習を生かした創作活動を掲載し、創作の課題や手順、思考した内容を書き込めるコーナーを設け、実際に音で確かめながら学習を進めていく手立てを示している。</li> <li>・「深めよう！音楽」では、キャラクターの吹き出しを活用して、思考・判断・表現を行うためのヒントを示している。</li> </ul> <p>【主体的に学習に取り組む態度】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・冒頭に、各教材を通して身に付ける資質・能力とそれに対応する学習内容や教材、[共通事項]に示されている音楽を形づくっている要素を一覧で掲載している。各教材に「学習目標」「具体的な学習活動」を示している。</li> <li>・リコーダーの教材は、小学校で使用したソプラノリコーダーでも対応できる曲を掲載している。また、小学校の学習内容を生かした打楽器の教材を掲載している。</li> <li>・「楽器でMelody」では、学習したことを生かして取り組む発展的な教材を掲載している。</li> </ul> <p>【かわさき教育プラン】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・様々な編曲やジャンル、異なる楽器を用いたアンサンブル曲を掲載し、アンサンブルのグループ活動の中で、協働的に学習を進める教材を掲載している。</li> </ul>	<p>【主体的・対話的で深い学びに関わる構成】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・前半にアンサンブル曲を配置し、中間部分に各楽器の音色の鑑賞と歴史、基本的奏法の学習、後半部分に学習を生かして取り組むアンサンブル教材を掲載している。</li> <li>・アンサンブルや創作の活動を通して、友達と対話的・協働的な学習を進める内容を掲載している。</li> <li>・動画や音源など、学習に役立つ情報をウェブサイトで見たり聴いたりできるよう、該当ページに二次元コードを掲載している。</li> </ul> <p>【分量・装丁】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・判型はA4変形判で、全体を通して同じ綴じ方である。</li> <li>・リコーダー、ギター、打楽器及び箏、三味線、太鼓、篠笛、尺八の8種類の楽器を掲載している。</li> </ul>	<p>【読みやすさの工夫】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・学習する楽器について、楽器や演奏している様子を写真や図版を用いて説明している。</li> <li>・「ユニバーサルデザインへの取り組み～全ての生徒にとって使いやすく」と示し、タイトルや文章、楽譜中の歌詞にユニバーサルデザインフォントを使用している。</li> <li>・「リコーダーの運指表」と「ギター/キーボードコード表」を見開きで掲載している。</li> </ul>

# 調査研究報告書 ⑥

## 美術

発行者の番号略称	書名	学習指導要領との関連	内容	構成・分量・装丁	表記・表現
9 開隆堂	美術1 発見と創造 美術2・3 探求と継承	・学習指導要領に示されている目標、内容、指導計画の作成と内容の取扱いを踏まえ、「知識・技能」「思考・判断・表現」「主体的に学習に取り組む態度」を重視している。 ・教育内容の主な改善事項のうち、「言語活動の充実」に関して、生徒が主体的に検討し合ったり議論しあったりしながら、自分の考えを広げたり深めたりすることができるような活動を促している。	【知識・技能】 ・題材でポイントとなることを、「学習のポイント」に掲載している。 ・題材に応じた技法や用具の取り扱い方について、「学びの資料」のページを各巻末に掲載している。  【思考・判断・表現】 ・発想や構想の手立てとなるように、作品の説明や作者の言葉、アイデアスケッチ、手順を掲載している。 ・全体の鑑賞と部分に着目して鑑賞するために、全体が分かる図版と部分を拡大した原寸の図版を掲載している。 ・学習内容に関する資料を見ることができる二次元コードを、全ての表現題材の題材名の横に掲載している。  【主体的に学習に取り組む態度】 ・各巻毎に領域の最初のページには、学習を通して学ぶ内容や見通しをもつページを掲載している。 ・「暮らしに生きる美術」のページを設け、様々な分野で活躍する人の話を掲載している。  【かわさき教育プラン】 ・美術で培った力や考え方を生かすことを学習するために、「美術の力を生かして社会とかかわる」というページを掲載している。 ・地域の風土や伝統を反映した造形の特徴を学習する題材として、「祭りの造形」を掲載している。 ・道徳や他教科と関連するページの下部に、関連する内容を掲載している。 ・相手の意外な一面を知るよさを学ぶ「共に学ぶ美術」というページを、巻末の「学びの資料」に掲載している。	【主体的・対話的で深い学びに関わる構成】 ・各題材名の横に、「学習の目標」を三つの資質・能力で示している。  【分量・装丁】 ・原則として、2ページで題材を構成し、題材によっては4ページで構成している。 ・A4ワイド判にしており、1年生では1冊に17題材、2・3年生では1冊に39題材掲載されている。 ・鑑賞の題材では、観音開きで見られるページを設けている。	【読みやすさの工夫】 ・「学習の目標」を、色別のマークで表記している。 ・題材名を太い書体で表記している。 ・ツメ見出しの文字と色彩で、学習内容を表記している。 ・ユニバーサルデザインフォントを使用し、中学校以上で習う漢字に全てルビをふって表記している。 ・カラーユニバーサルデザインに配慮している。
38 光村	美術1 美術2・3	・学習指導要領に示されている目標、内容、指導計画の作成と内容の取扱いを踏まえ、「知識・技能」「思考・判断・表現」「主体的に学習に取り組む態度」を重視している。 ・教育内容の主な改善事項のうち、「言語活動の充実」に関して、各題材の最初に鑑賞図版を掲載し、生徒が主体的に作品を鑑賞し、かつ対話が生まれるような活動を促している。	【知識・技能】 ・題材に応じた形や色彩や材料についてのページを、各巻末に掲載している。 ・題材に応じた技法や用具の取り扱い方について、「学習を支える資料」のページを各巻末に掲載している。  【思考・判断・表現】 ・発想や構想の手立てを全ての題材に掲載し、生徒の制作過程を示した「みんなの工夫」を掲載している題材もある。 ・実感を伴う鑑賞の手立てとなるように、原寸の図版を掲載している。 ・学習内容に関する資料を見ることができる二次元コードを、ページの下部に掲載している。 ・表現と鑑賞を一体的に学べるように、問いと手立てを掲載している。  【主体的に学習に取り組む態度】 ・美術1では各領域の最初のページに、学習を通して学ぶ内容や見通しをもつためのページを掲載している。 ・身近にある美について学習するために、生徒が美しいと思った瞬間や風景について、生徒の撮影した写真と共に手書きの言葉が掲載されている。  【かわさき教育プラン】 ・世界各地で色や形が異なる仮面が作られていることを学習する題材として、「世界の仮面と出会う」を掲載している。 ・他教科とのつながりに関連する題材のページに、コラムを掲載している。 ・道徳と関連するページの下部には、関連する内容項目を掲載している。	【主体的・対話的で深い学びに関わる構成】 ・各題材名の下に、表現と鑑賞の領域ごとに「目標」を示している。  【分量・装丁】 ・原則として、2ページで題材を構成し、題材によっては4ページで構成している。 ・A4判にしており、1年生では1冊に17題材、2・3年生では1冊に22題材掲載されている。 ・鑑賞の題材では、観音開きで見られるページを設けている。 ・版画、絵巻物、漫画のページには、画用紙の様な風合いの用紙を使用し、生徒が直接書きこめるようにトレーシングペーパーを使用しているページがある。	【読みやすさの工夫】 ・題材名を太い書体で示し、説明文は明朝体で表記している。 ・小さく掲載する文字は、ユニバーサルデザインフォントで表記している。 ・ツメ見出しの文字と色彩で、学習内容を表記している。 ・中学校以上で習う漢字を中心に、ルビをふって表記している。 ・カラーユニバーサルデザインに配慮している。
116 日文	美術1 美術との出会い 美術2・3上 学びの実感と広がり 美術2・3下 学びの探求と未来	・学習指導要領に示されている目標、内容、指導計画の作成と内容の取扱いを踏まえ、「知識・技能」「思考・判断・表現」「主体的に学習に取り組む態度」を重視している。 ・教育内容の主な改善事項のうち、「言語活動の充実」に関して、生徒が考えを伝え合ったり、友達と相談したりしながら活動を行う様子を紹介し、対話を通して思考力を働かせることを促している。	【知識・技能】 ・〔共通事項〕を意識するために、「造形的な視点」をすべての題材に掲載している。 ・題材に応じた技法や用具の取り扱い方について、「学びを支える資料」のページを各巻末に掲載している。  【思考・判断・表現】 ・発想や構想の手立てとなるように、作品の説明や作者の言葉、アイデアスケッチ、手順を掲載している。 ・学習内容に関する資料を見ることができる二次元コードを掲載している。 ・本物に近い色合いで鑑賞するための図版を、原寸の大きさに掲載している。  【主体的に学習に取り組む態度】 ・美術1では、各領域の最初のページに、学習を通して学ぶ内容や意欲を喚起するページを掲載している。 ・「あなたの美を見つけて」のページを設け、生活の中にある美しいものについて生徒が撮影した写真を掲載している。  【かわさき教育プラン】 ・「社会に生きる美術の力」のページを設け、様々な分野で活躍する人の話を掲載している。 ・地域に息づく文化を学習する題材として、「祭りを彩る造形」を掲載している。 ・他教科と関連する題材には写真を掲載し、道徳と関連するページの下部には、マークと共に関連する内容項目を掲載している。 ・互いのよさに出会う共同制作題材として、「仲間との交流の中から」を掲載している。	【主体的・対話的で深い学びに関わる構成】 ・各題材名の横に、「学びの目標」を三つの資質・能力に基づいて、マークと文章で示している。  【分量・装丁】 ・原則として、2ページで題材を構成し、題材によっては4ページで構成している。 ・A4ワイド判にしており、1年生では1冊に19題材、2・3年生では上巻に18題材、下巻に17題材掲載されている。 ・鑑賞の題材では、観音開きで見られるページを設けている。 ・立たせて鑑賞できるように屏風のページには厚い用紙を使用し、立ちやすいように造本上の配慮をしている。	【読みやすさの工夫】 ・「学びの目標」を、色別のマークで表記している。 ・ツメ見出しの文字と色彩で、学習内容を表記している。 ・題材名と主文は、ユニバーサルデザインフォントで表記している。 ・中学校以上で習う漢字を中心に、ルビをふって表記している。 ・カラーユニバーサルデザインに配慮している。 ・表現と鑑賞が独立している題材と、相互に関わり合っている題材を示すマークを題材名の左部に表記している。

# 調査研究報告書 ⑥

## 保健体育

発行者の番号略称	書名	学習指導要領との関連	内容	構成・分量・装丁	表記・表現
2 東書	新しい保健体育	<p>・学習指導要領に示されている目標、内容、指導計画の作成と内容の取扱いを踏まえ、「知識・技能」「思考・判断・表現」「主体的に取り組む態度」を重視している。</p> <p>・教育内容の主な改善事項のうち、「言語活動の充実」に関連して、「見つける・課題の解決・広げる」という学習の流れの中で、日常生活や資料を基に話し合ったり、意見を出し合ったりする活動を促している。</p>	<p>【知識・技能】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・まとめ部分の「広げる」で、学習したことを自分の生活に当てはめたり、更に調べたりする学習活動を示している。</li> <li>・知識の習得状況を確認し、学習が定着するよう、各章末に「学習のまとめ」というページを設け、「確認の問題」「活用の問題」などを掲載している。</li> </ul> <p>【思考・判断・表現】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・課題解決に向けて「考えてみましょう」「話し合ってみましょう」「説明しましょう」といった発問を掲載している。</li> <li>・習得した知識を活用して思考を深め、実践力の育成につながるよう、「活用する」で日常生活に結び付ける活動を示している。</li> </ul> <p>【主体的に学習に取り組む態度】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・二次元コードと「コンテンツ内容一覧」を巻頭に掲載している。コンテンツは、動画の他に、関連する他教科の教科書紙面を見ることができるものや、危険予測シミュレーション等がある。関連するページに「Dマーク」を示している。</li> <li>・理科、家庭科、社会科、道徳など、他教科との関連を示すマークを掲載し、それらの教科書紙面を見ることができる「Dマーク」も掲載している。</li> </ul> <p>【かわさき教育プラン】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・発展学習「共に生きる」において、避難所での活動や高齢者訪問など、地域と中学生との関わりを示し、自分たちに何ができるかを考える学習を取り扱っている。</li> <li>・章末資料において、発展的な内容として、「性の多様性」を掲載している。</li> </ul>	<p>【主体的・対話的で深い学びに関わる構成】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・「見つける」「課題の解決」「広げる」という学習活動の流れを設定している。</li> <li>・興味・関心を高め、主体的に学習に取り組むことができるよう、口絵を「オリンピック・パラリンピック」「人と人をつなぐスポーツ」「食育」「共生」で構成している。</li> <li>・対話的な学習ができるよう、情報収集やディスカッション、ロールプレイングの方法や留意点を巻頭に掲載している。</li> </ul> <p>【分量・装丁】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・1単位時間の学習を、基本的に見開き2ページで作成している。内容によっては3ページから5ページで示している。</li> <li>・AB判で作成している。</li> </ul>	<p>【読みやすさの工夫】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・本文は明朝体、重要語句は太字ゴシック体で表記している。</li> <li>・本文中に関わりのある資料番号を掲載し、関連を示している。</li> <li>・色覚特性に適應するようにデザインしていること、ユニバーサルデザインフォントを使用していることを、裏表紙に掲載している。</li> </ul>
4 大日本	中学校保健体育	<p>・学習指導要領に示されている目標、内容、指導計画の作成と内容の取扱いを踏まえ、「知識・技能」「思考・判断・表現」「主体的に取り組む態度」を重視している。</p> <p>・教育内容の主な改善事項のうち、「言語活動の充実」に関連して、対話を通して思考を広げ、深めていけるよう「話し合ってみよう」を設定するなど、対話的な活動を促している。</p>	<p>【知識・技能】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・学習内容がより深まるよう、まとめ部分の「活用して深めよう」で実生活につながる学習課題を示している。</li> <li>・知識が定着するよう、各章末で要点の再確認ができる資料を掲載したり、「重要な言葉」を説明するページを設けたりしている。まとめの問題をウェブサイトに載せている。</li> </ul> <p>【思考・判断・表現】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・資料を見て考えたり伝えたりすることができるよう、「話し合ってみよう」で、自分の考えを伝えたり仲間の考えを聞いたりする学習活動を設定している。</li> <li>・学びを広げ、深めながら、日常生活に生かせるよう、各章末ごとに「学びを活かそう」というページを設けている。</li> </ul> <p>【主体的に学習に取り組む態度】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・二次元コードを巻頭に掲載している。コンテンツは、動画、学習内容に関連する機関のホームページ等にアクセスできるもの、まとめの問題や解答を印刷して使用できるものである。関連するページに「WEBマーク」を示している。</li> <li>・理科、家庭科、社会科との関連を表すマークを掲載している。</li> </ul> <p>【かわさき教育プラン】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・「学びを活かそう」で、中学生が避難所でできることを掲載し、自分でできそうなことを考え、グループで話し合う学習を設けている。</li> <li>・性別に関わりなく個性や能力を大切にすることに関する内容を、トピックス「個性や能力を大切にする」に掲載している。</li> </ul>	<p>【主体的・対話的で深い学びに関わる構成】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・「つかもう」「やってみよう」「活用して深めよう」という、学習活動の流れを設定している。</li> <li>・興味・関心を高め、主体的に学習に取り組むことができるよう、口絵を「生きがいのある豊かな生活」「国際的なスポーツ大会」「多様な関わり方」「オリパラの歴史」「世界で活躍する人を支える健康」「食育」「スマートフォンとの付き合い方」で構成している。</li> <li>・対話的な学習ができるよう、ブレインストーミングやロールプレイングなどの説明を巻頭の「保健体育の学び方」で示している。</li> </ul> <p>【分量・装丁】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・1単位時間の学習を基本的に見開き2ページで作成している。内容によっては4ページで示している。</li> <li>・B5変型判で作成している。</li> </ul>	<p>【読みやすさの工夫】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・重要語句を太字で表記し、文章が文節の途中で切れない改行をしている。</li> <li>・主題の横に関わりのある資料番号を掲載して関連を示し、資料を見開き右側ページにまとめている。</li> <li>・ユニバーサルデザインフォントを使用していることを、裏表紙に示している。</li> </ul>
50 大修館	最新 中学校保健体育	<p>・学習指導要領に示されている目標、内容、指導計画の作成と内容の取扱いを踏まえ、「知識・技能」「思考・判断・表現」「主体的に取り組む態度」を重視している。</p> <p>・教育内容の主な改善事項のうち、「言語活動の充実」に関連して、「課題をつかむ」や「学習のまとめ」で意見を出し合う課題を設定し、対話的な活動を通して学習を深めるよう促している。</p>	<p>【知識・技能】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・まとめ部分の「学習のまとめ」で、学習したことを基に、キーワードを入れて文章を完成させる問題を掲載したり、日常生活でどう生かしていくかを考える学習活動を示したりしている。</li> <li>・知識の習得状況を確認、整理し、学習が定着するよう、各章末に「章のまとめ」というページを設け、「知識・技能の確認問題」「学びに向かって」などの問題を掲載している。</li> </ul> <p>【思考・判断・表現】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・学習したことをさらに深めるために、「学習のまとめ」で思考したり話し合ったりする学習活動を掲載している。</li> <li>・学習を深めるために、補足資料として「クローズアップ」というページを設けるとともに、気付きや思考を促す「課題をつかむ」というコーナーを設けている。</li> </ul> <p>【主体的に学習に取り組む態度】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・二次元コードを巻頭に掲載している。コンテンツは、関連する機関や団体のホームページ等にアクセスする形式であり、政府インターネットテレビなどの動画もある。関連するページに「web保体情報館」というマークを示している。</li> <li>・理科、家庭科、社会科との関連を表すマークを掲載している。</li> </ul> <p>【かわさき教育プラン】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・口絵「共に生きる」で、中学生が被災者に寄り添う活動を掲載している。</li> <li>・性意識の固定観念が社会にみられることの問題点について、脚注に掲載している。</li> </ul>	<p>【主体的・対話的で深い学びに関わる構成】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・「課題をつかむ」「学習のまとめ」という、学習活動の流れを設定している。</li> <li>・興味・関心を高め、主体的に学習に取り組むことができるよう、口絵を「オリンピック・パラリンピック」「スポーツの広がり」「共生」「SDGs」で構成している。</li> <li>・対話的な学習ができるよう、ディスカッション、ロールプレイングの方法や、発表・提案の仕方の例を巻頭に掲載している。</li> </ul> <p>【分量・装丁】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・1単位時間の学習を、見開き2ページで作成している。</li> <li>・AB判で作成している。</li> </ul>	<p>【読みやすさの工夫】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・重要語句を太字で表記している。</li> <li>・本文中に関わりのある資料番号を掲載し、関連を示している。</li> <li>・カラーユニバーサルデザインに配慮していること、ユニバーサルデザインフォントを使用していることを、裏表紙に示している。</li> </ul>

<p>224 学 研</p>	<p>中学保健体育</p>	<p>・学習指導要領に示されている目標、内容、指導計画の作成と内容の取扱いを踏まえ、「知識・技能」「思考・判断・表現」「主体的に取り組む態度」を重視している。 ・教育内容の主な改善事項のうち、「言語活動の充実」に関連して、「話し合う」「表現する」などの活動を設け、対話的な活動を通して学習を深めるよう促している。</p>	<p>【知識・技能】 ・まとめ部分の「まとめる・深める」で、学習を通して理解したことを日常生活と結び付けて考えたり、話し合ったりする活動を示している。 ・知識の定着を図るため、各章末に「章のまとめ」というページを設け、「振り返ろう」で自己評価ができる発問を掲載するとともに、「確かめよう」「生かそう」などの問題を掲載している。 【思考・判断・表現】 ・学習内容をさらに深めるために「まとめる・深める」で、思考したり話し合ったりする学習活動を掲載している。 ・習得した知識を活用し、思考を深めるために、補足資料として「探究しようよ！」というページを設けている。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・二次元コードを巻頭に掲載している。コンテンツは、関連する機関や団体のホームページ等にアクセスするものであり、危険予測トレーニングにアクセスするものや、動画もある。関連するページに「リンクマーク」を示している。 ・他教科等との関連について、巻末に見開きでキーワードごとに分類した一覧を掲載している。 【かわさき教育プラン】 ・章末に「探究 みんなの健康を守るための活動」で、豪雨被害を受けた地域でボランティア活動をする中学生などを掲載し、中学生が関わることができる活動や、将来どんな活動をしたいかを考える学習を示している。 ・章のはじめに「ひと 最前線を知る」で性的マイノリティに関する調査研究をしている団体の代表者を掲載している。また、脚注で、LGBTの説明や多様な性のあり方について説明している。</p>	<p>【主体的・対話的で深い学びに関わる構成】 ・「課題をつかむ」「考える・調べる」「まとめる・深める」という、学習活動の流れを設定している。 ・興味・関心を高め、主体的に学習に取り組むことができるよう、口絵を「スポーツの魅力」「活躍する人物」「生命尊重」「科学技術」「食育」「スポーツ・健康に関する施設」で構成している。 ・対話的な学習ができるよう、ディスカッション、ブレインストーミングの方法を巻頭に掲載している。  【分量・装丁】 ・1単位時間の学習を基本的に見開き2ページで作成している。内容によっては4ページで示している。 ・AB判で作成している。</p>	<p>【読みやすさの工夫】 ・重要語句を太字で表記している。 ・本文中に関わりのある資料番号を掲載し、関連を示している。 ・カラーユニバーサルデザインに配慮していることを、裏表紙に示している。</p>
--------------------	---------------	--	--	---	--

# 調査研究報告書 ⑥

## 技術・家庭(技術分野)

発行者の番号略称	書名	学習指導要領との関連	内容	構成・分量・装丁	表記・表現
2 東書	新しい技術・家庭 技術分野 未来を創る Technology	<ul style="list-style-type: none"> <li>学習指導要領に示されている目標、内容、指導計画の作成と内容の取扱いを踏まえ、「知識・技能」「思考・判断・表現」「主体的に学習に取り組む態度」を重視したものにしている。</li> <li>教育内容の主な改善事項のうち、「伝統や文化に関する教育の充実」に関連して、木造建築や木材の伝統的な接合技術について掲載している。</li> </ul>	<p>【知識・技能】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>基礎・基本から応用的な知識を身に付けるために、本文の内容に合わせた資料を写真や図で掲載している。</li> <li>技能の内容は「TECH Lab」にまとめ、作業の方法を写真や図を用いて見開きで掲載している。</li> <li>デジタルコンテンツのある学習内容には「Dマーク」を示し、二次元コードから動画などを活用した学習ができる。</li> </ul> <p>【思考・判断・表現】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>技術の見方・考え方をガイダンスや章の始めに確認し、問題解決に生かすことができるようにしている。</li> <li>問題解決のための「問題の発見、課題の設定」「設計・計画」「製作・制作・育成」「評価・改善・修正」の流れをガイダンスで示し、2章・3章でその流れに沿って学習できるようにしている。</li> <li>各編の最終章に、持続可能な社会の構築に向けて、技術を評価し適切に管理・運用したり、新たな発想に基づいて改良・応用したりするためのワークシートを示している。</li> </ul> <p>【主体的に学習に取り組む態度】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>技術分野のガイダンスとして現代の技術と未来の技術を示し、学習に関心をもてるようにしている。</li> <li>各編の導入で、技術が最適化されてきた例を示し、学習内容への関心が高まるようにしている。</li> </ul> <p>【かわさき教育プラン】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>「技術の匠」として、様々な職種の方を紹介し、その方々の生徒への思いを掲載している。</li> <li>「SDGsとTechnology」で、持続可能な未来について考える内容を掲載している。</li> </ul>	<p>【主体的・対話的で深い学びに関わる構成】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>学習指導要領の内容A～Dに対応して、1編から4編で構成されており、巻頭に「技術分野のガイダンス」、巻末に「統合的な問題解決」などを示している。</li> <li>各編とも「原理・法則と仕組み」「技術による問題解決」「社会の発展の技術」の3章(4編のみ4章)からなっている。</li> </ul> <p>【分量・装丁】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>表表紙、裏表紙ともイラストと写真で構成している。全体的に白色と緑色を中心に構成している。</li> <li>AB判である。</li> </ul>	<p>【読みやすさの工夫】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>各編は色分けされており、小口に1～3章(D編のみ4章)を示しているため、教科書を閉じた状態でも、編と章が分かるようになっている。</li> <li>ユニバーサルデザインフォントを使用し、重要な語句や図の中の文字にはゴシック体を使用している。ふりがなには特別支援教育で推奨されている丸ゴシック体を使用している。</li> <li>作業の手順や加工の仕方の説明では、解説と写真、図を用いて記している。</li> <li>伝統文化に関連する内容には、「伝統文化マーク」を付けている。</li> </ul>
6 教図	New技術・家庭 技術分野 明日を創造する New技術・家庭 技術分野 明日を創造する 技術ハンドブック	<ul style="list-style-type: none"> <li>学習指導要領に示されている目標、内容、指導計画の作成と内容の取扱いを踏まえ、「知識・技能」「思考・判断・表現」「主体的に学習に取り組む態度」を重視したものにしている。</li> <li>教育内容の主な改善事項のうち、「伝統や文化に関する教育の充実」に関連して、日本の伝統野菜や、箱根寄せ木細工の職人など、日本の伝統文化と技術の関係を掲載している。</li> </ul>	<p>【知識・技能】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>幅広い知識を身に付けるために、関連する資料を図や写真を用いて本文の周りに掲載している。</li> <li>実習で取り組む基本的な技能を別冊の「技術ハンドブック」にまとめ、工具の使用方法等について掲載している。</li> <li>本文中の作業を動画などで見られるように二次元コードを掲載している。</li> </ul> <p>【思考・判断・表現】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>技術の見方・考え方は、学習の中で身に付くようにしている。</li> <li>問題解決の中から設計の手順として、「問題を発見する」「目的や条件をもとに構想を考える」「構想を具体化する」「設計をまとめる」を示し、設計・計画が立てられるようにしている。</li> <li>各編の最終章では技術のプラス面・マイナス面について考え、評価・改善するためのワークシート例を掲載している。</li> </ul> <p>【主体的に学習に取り組む態度】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>技術分野のガイダンスとして「技術で変わる！私たちの生活」を示し、授業で学ぶ技術が生活や社会の中で様々な問題を解決するために役立つことに気付くようにしている。</li> <li>各編の最初に学習内容に関連した技術が生かされている例や、過去に使われていた技術の例を掲載している。</li> </ul> <p>【かわさき教育プラン】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>「将来のあなたへ 先輩からのメッセージ」で、将来の進路について考えるためのコラムを掲載している。</li> <li>「未来の社会を創造しよう！」で、より住みやすい町づくりについて考える内容を掲載している。</li> </ul>	<p>【主体的・対話的で深い学びに関わる構成】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>5編構成A～E編となっており、A～Dは学習指導要領の内容A～Dに対応している。E編は「夢をかなえる技術」として、今まで学んできた技術を組み合わせることで問題を解決する学習を掲載している。</li> <li>各編とも「つくって・育てて学ぼう」「じっくり学ぼう」「学びを深め生かそう」の3章(D編のみ4章)で構成されている。</li> </ul> <p>【分量・装丁】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>表表紙はイラストと生徒の写真、裏表紙はイラストのみで構成している。全体的に黄色を中心に構成している。</li> <li>A4変型判で、縦幅がやや大きい。</li> </ul>	<p>【読みやすさの工夫】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>各編A～Eは色分けされており、小口に編中の章を示している。教科書を閉じた状態でも編と章が分かるように色付けと高さを変えている。</li> <li>ユニバーサルデザインフォントを使用し、題名は丸ゴシック体、解説は明朝体、重要な語句には色付きの丸ゴシック体を使用している。ふりがなには特別支援教育で推奨されている丸ゴシック体を使用している。</li> <li>作業の手順を解説と写真を用いて示し、使用する道具と使用方法、必要な授業回数に記載がある。</li> <li>伝統文化に関連する内容には、「伝統文化マーク」を付けている。</li> </ul>
9 開隆堂	技術・家庭 技術分野 テクノロジーに希望をのせて	<ul style="list-style-type: none"> <li>学習指導要領に示されている目標、内容、指導計画の作成と内容の取扱いを踏まえ、「知識・技能」「思考・判断・表現」「主体的に学習に取り組む態度」を重視したものにしている。</li> <li>教育内容の主な改善事項のうち、「伝統や文化に関する教育の充実」に関連して、日本の伝統野菜や伝統工芸品など、日本の伝統文化と技術の関係を掲載している。</li> </ul>	<p>【知識・技能】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>基礎的・基本的な知識が習得できるように、内容を精選して図や写真を記載している。</li> <li>技能を身に付けるために、製作に使用する工具の使用法や、作業のポイントを写真やイラストで掲載している。</li> <li>デジタルコンテンツの資料がある内容には二次元コードを掲載し、動画等で確認できるようにしている。</li> </ul> <p>【思考・判断・表現】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>ガイダンスの中に技術の見方・考え方を示し、意識して学習に取り組めるようにしている。</li> <li>問題解決の流れとして、「問題の発見と課題の設定」「設計と試作」「製作」「成果の評価と改善」を示し、流れに対応した内容が記載されている。</li> <li>各編の最終章で、学習してきた技術の評価し、適切な活用について考えることができるようにしている。</li> </ul> <p>【主体的に学習に取り組む態度】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>技術分野のガイダンスの中で技術の役割について示し、社会や生活に生かされている技術に関心をもてるようにしている。</li> <li>各編の最初に、学習内容に関連する技術についての歴史を示し、学習内容への関心が高まるようにしている。</li> </ul> <p>【かわさき教育プラン】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>「技術の未来は私たちの手で」の中で、これからの技術開発について考える内容を掲載している。</li> <li>「技術分野の学習をふり返り、私たちの未来へつなげよう」で、持続可能な社会の構築について考える内容を掲載している。</li> </ul>	<p>【主体的・対話的で深い学びに関わる構成】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>4編構成でA～D編となっており、A～Dは学習指導要領の内容A～Dに対応している。巻頭に「技術ガイダンス」、巻末に「技術分野を振り返り、私たちの未来につなげよう」を掲載している。</li> <li>各編とも「生活や社会と技術」「技術による問題解決」「これからの技術」の3章からなっている。</li> </ul> <p>【分量・装丁】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>表表紙はイラストのみ、裏表紙はイラストと生徒の写真で構成している。全体的に青色を中心に構成している。</li> <li>AB判である。</li> </ul>	<p>【読みやすさの工夫】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>各編A～Dは色分けされてある。</li> <li>ユニバーサルデザインフォントを使用し、文字はフォントを使い分けて表記している。ふりがなについては、漢字と同じフォントを使用している。</li> <li>作業の手順については、文字と写真を中心に表記しており、一部に図を使用している。</li> <li>マークは設定していないが、伝統文化についての記載がある。</li> </ul>

# 調査研究報告書 ⑥

## 技術・家庭(家庭分野)

発行者の番号略称	書名	学習指導要領との関連	内容	構成・分量・装丁	表記・表現
2 東書	新しい技術・家庭 家庭分野 自立と共生を 目指して	・学習指導要領に示されている目標、内容、指導計画の作成と内容の取扱いを踏まえ、「知識・技能」「思考・判断・表現」「主体的に学習に取り組む態度」を重視している。 ・教育内容の主な改善事項のうち、「伝統や文化に関する教育の充実」に関連して「和食」、「日本の食文化と和食の調理」、「日本の衣文化」、「住まいと気候風土の関わり」を「伝統文化」マークをつけて掲載している。	【知識・技能】 ・蒸す調理の方法を安全のポイントも含めて、イラストで示している。また、実習例を4例掲載している。 ・基礎的な技能を「いつも確かめよう」にまとめて掲載している。また、二次元コードからまとめて動画で確認ができる。 ・日本の伝統文化の良さや大切さを理解できるように、関連する資料に「伝統文化」マークを掲載している。 【思考・判断・表現】 ・各編の導入に生活の営みに係る見方・考え方を示し、キャラクターの吹き出しで具体的な関連を示している。 ・問題解決する道筋を①課題発見②計画③実践④評価⑤改善⑥次の課題①へ、という流れでガイダンスに生活の営みに係る見方・考え方とともに示している。 ・学習したことを家庭生活へ生かせるように節末の「まとめよう」「生活に生かそう」で学習課題を掲載している。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・学習の見通しがもてるように各編の導入に「この編で学ぶこと」を掲載し、各節のはじめに「やってみよう」「話し合ってみよう」「調べてみよう」「調べてみよう」という活動を促す言葉を示している。 ・小学校の学習を振り返ることができるように、ガイダンスの内容で小中学校の学習内容を比較した表、各節の関連する内容に「小学校」マークを掲載している。 【かわさき教育プラン】 ・学習内容に関連した職業の人の話を「プロに聞く！」のコラムで掲載している。 ・幼児との関わり方を工夫するために、触れ合い体験の実習例を3例それぞれ見開きページに写真で掲載している。また、地域の人々と協働していくために「地域でできることを考えよう」として、問題の調査、課題設定、解決方法の検討、まとめ、という流れで活動例を掲載している。	【主体的・対話的で深い学びに関わる構成】 ・全5編と選択「生活の課題と実践」の構成である。 ・各編とも「編の導入」「基本のページ」「学習のまとめ」で構成している。また、「基本のページ」は、「始めの活動」「まとめの活動」「自己評価」を掲載している。 ・各章に「目標」、「キーワード」、「考えてみよう」などの活動例、「生活に生かそう」「まとめよう」を掲載している。 ・「家庭分野のガイダンス」で、家庭分野の目標、家族・家庭の基本的な機能等を図と言葉で掲載している。 ・デジタルコンテンツの資料がある学習内容に「Dマーク」を示し、目次ページおよび各編の導入ページの二次元コードから関連する他教科の内容や実習・実験等の動画をまとめて確認ができる。 【分量・装丁】 ・判型はAB判である。 ・主たる実習例は見開き2ページで、手順が左から右へと流れるように示している。	【読みやすさの工夫】 ・各編ごとに色分けをし統一して示している。 ・活動のタイトル「話し合ってみよう」「調べてみよう」等を本文と文字色やフォントを変えて表記し、それぞれの活動を共通したマークで示している。 ・書体はユニバーサルデザインフォントを使用し、重要な語句や家庭科の基礎的・基本的な用語は太字のゴシック体で表記している。 ・「資料」「図」に学習の資料として扱えるような写真、表、グラフ、実習・製作例等を示している。 ・小学校や他教科での学習内容、安全、衛生、伝統文化などに関わる内容には関連が分かるようにマークを記載している。
6 教図	New技術・家庭 家庭分野 くらしを創造 する	・学習指導要領に示されている目標、内容、指導計画の作成と内容の取扱いを踏まえ、「知識・技能」「思考・判断・表現」「主体的に学習に取り組む態度」を重視している。 ・教育内容の主な改善事項のうち、「伝統や文化に関する教育の充実」に関連して、「年中行事と私たちの暮らし」、「伝承遊び」、「和食」などを取り上げて「伝統文化」マークをつけて掲載している。	【知識・技能】 ・蒸す調理として、蒸し器やフライパンを使用して調理する実習例を4例掲載している。 ・衣生活、食生活の基礎的な技能をそれぞれの内容の「やってみよう」のページにまとめて掲載している。 ・伝統文化を理解するために、巻頭に「年中行事と私たちの暮らし」、関連する内容に「伝統文化」マークを掲載している。 ・日常生活で使用する独特の言い回しや名称は、注釈で説明を示している。 【思考・判断・表現】 ・生活の営みに係る見方・考え方を働かせることができるように「学びを生かそう」で「課題設定のヒント」を掲載している。 ・課題解決学習の流れを①問題を発見する②課題を設定する③計画・実践する④評価する⑤改善する⑥次の課題へ①へとして巻頭に示している。 ・家庭への実践につなげるように、各章末に「学びを生かそう」で学習課題を掲載している。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・編のはじめに「自立度チェック」、各章のはじめに「話し合ってみよう」「考えてみよう」「調べてみよう」など活動を促す言葉を掲載している。 ・ガイダンスの内容に小学校の学習を想起させる言葉を示している。 【かわさき教育プラン】 ・章末に地域や社会で活躍している人たちからのメッセージを「センパイに聞こう」で掲載している。 ・幼児とのふれ合う活動例を3例まとめて掲載している。また、地域の人々との協働のために「調べてみよう」として地域で行われている活動を調査する活動例を掲載している。	【主体的・対話的で深い学びに関わる構成】 ・全3編と選択「生活の課題と実践」の構成である。 ・各編とも「導入」「やってみよう」「学びを生かそう」「章末のまとめ」で構成している。また、「やってみよう」は、「見つめる」「学ぶ」「ふり返る」の3ステップで示している。 ・各章に「めあて」、「キーワード」、「確認」、「私のまなび」を掲載している。 ・「家庭分野のガイダンス」で中学校での学習内容の説明、今までの生活とこれからの生活を考える内容を記載している。 ・デジタルコンテンツの資料がある学習内容のページの右上に二次元コードを掲載している。二次元コードから各編に関連した内容の一覧が確認できる。 【分量・装丁】 ・判型は、A4変形である。 ・主たる実習例は見開き2ページで、手順が上から下へと流れるように示している。	【読みやすさの工夫】 ・各編ごとに色分けをして示している。 ・活動のタイトル「話し合ってみよう」「考えてみよう」等を本文と文字色とフォントを変えて表記している。 ・文字はユニバーサルデザインフォントを使用している。重要な語句は青字のゴシック体で表記している。 ・「資料」「図」に学習の資料として扱えるような写真、表、グラフ、実習・製作例等を示している。 ・他教科や小学校、他の学習内容との関連、伝統、安全、衛生に関連した内容には、関連が分かるようにマークを掲載している。
9 開隆堂	技術・家庭 家庭分野 生活の土台 自立と共生	・学習指導要領に示されている目標、内容、指導計画の作成と内容の取扱いを踏まえ、「知識・技能」「思考・判断・表現」「主体的に学習に取り組む態度」を重視している。 ・教育内容の主な改善事項のうち、「伝統や文化に関する教育の充実」に関連して、関連する学習に「伝統」マークや特設ページを設けて衣食住に関する伝統文化をまとめて掲載している。	【知識・技能】 ・蒸し器の使い方を写真で示している。また、実習例を2例掲載している。 ・衣生活、食生活の基礎的な技能をそれぞれの内容にまとめて記載している。また、調理実習は二次元コードから工程ごとに動画で確認ができる。 ・伝統的な生活文化を理解するために、関連する学習項目に「伝統」マーク掲載するほか特設ページを設けて関連する資料をまとめて掲載している。 ・日常生活で使用する独特の言い回しや名称は、注釈で説明を示している。 【思考・判断・表現】 ・生活の営みに係る見方・考え方を「生活の見方・考え方」として、ガイダンスにイラストと言葉で示している。 ・課題解決の流れを①生活を見つめる②課題を設定する③計画を立てる④実践する⑤まとめ・発表する⑥生活にいかすとし「生活の課題と実践」に示している。 ・学習したことが地域や家庭で実践へつながるように、各章末の「生活にいかそう」で学習課題を掲載している。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・各内容のはじめに学習のねらいを示し、学習のはじめに自分の日常生活の問題に気付くような活動を促す言葉を掲載している。 ・小学校での学習を振り返ることができるように、関連する学習内容に「小学校での学び」を掲載している。 【かわさき教育プラン】 ・学習内容に関連した人たちからのメッセージを「先輩からのエール」で掲載している。 ・幼児とのふれ合い体験の方法を写真と言葉でまとめて4例掲載している。また、地域とのかかわりを考えるために「地域の防災マップづくり」等の活動例を掲載している。	【主体的・対話的で深い学びに関わる構成】 ・大きく3つの内容と「生活の課題と実践」の構成である。 ・各内容とも「主体的」「対話的」「深い学び」として、学習活動を示して構成している。 ・小題材ごとに学習の目標、小学校での学び、大題材末に「ふり返り」「生活に生かそう」を掲載している。 ・「家庭分野のガイダンス」に学習内容、「生活の見方・考え方」、「主体的・対話的で深い学びをしよう」として学び方を図と言葉で掲載している。 ・デジタルコンテンツの資料がある学習内容のページの右下に二次元コードを掲載している。また、掲載内容の一覧を目次ページの二次元コードから確認ができる。 【分量・装丁】 ・判型は、AB判である。 ・主たる実習例は見開き2ページで、手順が左から右へと流れるように示している。	【読みやすさの工夫】 ・内容ごとに色分けをし統一して示している。 ・各内容の学習活動を示す「話し合ってみよう」、「やってみよう」、「発表しよう」の文字色も学習項目と同じ色で統一して掲載している。 ・書体はユニバーサルデザインフォントを使用している。重要な語句は、太字のゴシック体で表記している。 ・「図」「参考」に学習の資料等を写真や図、言葉で示している。 ・関連した内容が分かるように、他教科と関連する内容は「関連」、伝統文化に関わる内容に「伝統」マークを掲載している。

# 調査研究報告書 ⑥

## 英語

発行者の番号 略称	書名	学習指導要領との関連	内容	構成・分量・装丁	表記・表現
2 東書	NEW HORIZON English Course 1 NEW HORIZON English Course 2 NEW HORIZON English Course 3	・学習指導要領に示されている目標、内容、指導計画の作成と内容の取扱いを踏まえ、「知識・技能」「思考・判断・表現」「主体的に学習に取り組む態度」を重視している。 ・教育内容の主な改善事項のうち、「言語活動の充実」に関連して、「Unit Activity」「Stage Activity」「Let's シリーズ」「Read and Think」「Let's Read」等では、コミュニケーションの場面や状況・目的に応じて、子どもが情報や考えを理解したり伝え合ったりする言語活動を設定している。	【知識・技能】 ・「Scene」「Read and Think」等の本文中で語彙や文法事項等を示し、定着を図るための練習活動を「Practice」「Mini Activity」に設けている。 ・文法を使い方、形、場面等でまとめた「Grammar for Communication」を設けている。 【思考・判断・表現】 ・既習事項を活用して、ペア等で言語活動を行う「Unit Activity」を各単元に、各技能領域に特化した言語活動である「Let's シリーズ」を各単元の間、複数の技能を統合的に活用する言語活動の「Stage Activity」を各学年3回設けている。 ・読んだり聞いたりして概要や要点等を捉える「Read and Think」「Let's シリーズ」等を設けている。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・各単元の扉に目標を示し、何ができるようになったか振り返ることができるように「CHECK」を「Unit Activity」後に、「CAN-DOリスト」を巻末に提示している。 ・音声等を利用して学習が進められるように二次元コードを設けている。 【かわさき教育プラン】 ・「Homestay in the United States」では、ホームステイ先での生活やトラブルについて扱うなど国際・異文化理解に関連する題材を扱っている。	【主体的・対話的で深い学びに関わる構成】 ・導入として扉の写真を使ってのやり取りなどで導入を行い、「Preview」で対話から文法の使用場面を理解し、Scene①②で短めの文を読んで概要を把握し、「Read and Think①②」で英文を読んで概要と詳細を捉えた後、表現活動につなげ、最後にまとめの言語活動である「Unit Activity」につなげる構成を基本としている。 ・1年は、2・3年と異なる単元構成で、小学校の復習「Unit 0」を1年の最初に設けている。また1年のUnit 1～5は小学校で扱った内容を中心に扱い、小学校での既習項目には「小学校マーク」を示している。 【分量・装丁】 ・判型は、A4判にしている。	【読みやすさの工夫】 ・活動のイメージがつかめるように絵や写真を掲載している。 ・1年では、手書き文字に近い書体を使用している。 ・カラーユニバーサルデザインを取り入れている。 ・各活動には、どの技能を重点的に学ぶかを示すアイコンを掲載している。 ・流れの見通しをしやすくするために、紙面上の要素のデザインや配置を統一している。
9 開隆堂	SUNSHINE ENGLISH COURSE 1 SUNSHINE ENGLISH COURSE 2 SUNSHINE ENGLISH COURSE 3	・学習指導要領に示されている目標、内容、指導計画の作成と内容の取扱いを踏まえ、「知識・技能」「思考・判断・表現」「主体的に学習に取り組む態度」を重視している。 ・教育内容の主な改善事項のうち、「言語活動の充実」に関連して、「Interact」「Retell」「Our Project」「Power-Up」「Think」「Reading」等では、コミュニケーションの場面や状況・目的に応じて、子どもが情報や考えを理解したり伝え合ったりする言語活動を設定している。	【知識・技能】 ・「Scenes」で語彙や文法事項等をマンガ形式の会話の中で示し、定着を図るための練習活動も設けている。 ・文法を使い方、形、ポイント等でまとめた「英語のしくみ」を設けている。 【思考・判断・表現】 ・会話活動「Try」、既習事項を活用する言語活動「Interact」、本文の内容を自分の言葉で表現する「Retell」を各単元に、場面に特化した言語活動「Power-Up」を随所に、技能統合的な言語活動の「Our Project」を8回設けている。 ・英文を読み、その情報をもとに発問に答える「Think」、読んだ英文の概要等を捉え、表現活動につなげる「Reading」を設けている。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・各単元の扉に目標を示し、巻末には、何ができるようになったか振り返ることができるように『英語で「できるようになったこと」リスト』を提示している。 ・音声等を利用して学習が進められるように二次元コードを設けている。 【かわさき教育プラン】 ・「Taste of Culture」では、いろいろな国の屋台料理について扱うなど国際・異文化理解に関連する題材を扱っている。	【主体的・対話的で深い学びに関わる構成】 ・とびらでは、写真やリスニングで題材への導入を行い、「Scenes」では言語材料を導入・練習し、「Think」でまとまりのある英文を読んで題材について考え、「Retell」で、その英文の内容を自分のことばで伝え、最後に表現活動である「Interact」につなげる構成を基本としている。 ・小学校で学んだことを復習する「Get Ready」「Program 0」を1年の最初に、小学校で学習した表現等を使った会話活動「Try」を各単元に、「小学校で学んだ単語」の一覧を巻末に設けている。 【分量・装丁】 ・判型は、AB判にしている。	【読みやすさの工夫】 ・活動のイメージがつかめるように絵や写真を掲載している。 ・1年前半では、手書き文字に近い書体、1年後半では一般的な活字体に近いフォントを使用している。 ・カラーユニバーサルデザインを取り入れている。 ・各活動には、どの技能を重点的に学ぶかを示すアイコンを掲載している。 ・いつでも参照できるように、巻末資料の「Tryのまとめ」のトピック一覧を折込式にしている。
15 三省堂	NEW CROWN English Series 1 NEW CROWN English Series 2 NEW CROWN English Series 3	・学習指導要領に示されている目標、内容、指導計画の作成と内容の取扱いを踏まえ、「知識・技能」「思考・判断・表現」「主体的に学習に取り組む態度」を重視している。 ・教育内容の主な改善事項のうち、「言語活動の充実」に関連して、「USE Speak/Write」「Take Action! Listen/Talk」「Project」「USE Read」「Reading for Fun」等では、子どもがコミュニケーションの場面や状況・目的に応じて、情報や考えを理解したり伝え合ったりする言語活動を設定している。	【知識・技能】 ・「Get」等の本文中で語彙や文法事項等を示し、定着を図るための練習活動を随所に設けている。 ・イメージ図等も加えながら、文法事項をまとめた「文法のまとめ」を設けている。 【思考・判断・表現】 ・既習事項を活用して言語活動を行う「USE Speak/Write」「Take Action! Listen/Talk」等を各単元に、複数の技能を統合的に活用する言語活動の「Project」を年間3回設けている。 ・英文を読んで概要や要点等を捉える「USE Read」「Reading for Fun」「Reading for Information」を設けている。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・各単元のとびらで単元で扱う文法事項や言語活動等を示し、巻末には、何ができるようになったか振り返ることができるように「What Can I Do?」を提示している。 ・音声等を利用して学習が進められるように二次元コードを設けている。 【かわさき教育プラン】 ・「Languages in India」では、多言語国家インドについて扱うなど国際・異文化理解に関連する題材を扱っている。	【主体的・対話的で深い学びに関わる構成】 ・とびらでは、写真や絵を活用して導入を行うとともに、「Get」では英文を読んで活動に取り組むことで語彙や文法事項の定着を図り、「Use Read」で英文を読み概要や要点等を捉え、「Use Write/Speak」「Take Action! Listen/Talk」で言語活動に取り組む構成を基本としている。 ・小学校で学んだことを復習する「Hello, Everyone!」「Starter 1～3」を1年の最初に設けるとともに、1年のLesson 1～3は、小学校同様に身近な場面を扱い、文法事項等を整理している。 【分量・装丁】 ・判型は、AB判にしている。	【読みやすさの工夫】 ・活動のイメージがつかめるように絵や写真を掲載している。 ・1年の「Starter」では、モデルとなる英文には、オリジナルの手書き文字書体を使用しており、それ以降はユニバーサルデザイン書体やゴシック系書体を使用している。 ・カラーユニバーサルデザインを取り入れている。 ・各活動には、どの技能を重点的に学ぶかを示すアイコンを掲載している。 ・見開き構成とし、学習する内容を分かりやすくするため、見開き構成で教材をパターン化して配置している。

発行者の番号 略称	書名	学習指導要領との関連	内容	構成・分量・装丁	表記・表現
17 教出	ONE WORLD English Course 1 ONE WORLD English Course 2 ONE WORLD English Course 3	・学習指導要領に示されている目標、内容、指導計画の作成と内容の取扱いを踏まえ、「知識・技能」「思考・判断・表現」「主体的に学習に取り組む態度」を重視している。 ・教育内容の主な改善事項のうち、「言語活動の充実」に関連して、「Think & Try!」「Task」「Project」「Activities Plus」「Review」「Reading Lesson」等では、コミュニケーションの場面や状況・目的に応じて、子どもが情報や考えを理解したり伝え合ったりする言語活動を設定している。	【知識・技能】 ・各単元の「Part 1～3」の本文で語彙や文法事項等を示し、定着を図るための練習活動を各Partに設けている。 ・文法を使い方や形、場面等でまとめた「Grammar」を設けている。 【思考・判断・表現】 ・表現活動「Think & Try!」を各Partに、既習事項を活用した言語活動「Task」を各単元に、会話のやり取りをする帯活動教材「Activities Plus」を巻末に、技能別の言語活動「Tips」と実践的なコミュニケーション活動「Useful Expressions」を各所に、統合的な言語活動の「Project」を3年間で8回設けている。 ・英文を読んで概要や要点等を捉える「Review」「Reading」等を設けている。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・各Partに目標を示すとともに、何ができるようになったか振り返ることができるように、各単元末に振り返り欄、巻末に「Can-Do 自己チェックリスト」を設けている。 ・音声を利用して学習を進められるように二次元コードを設けている。 【かわさき教育プラン】 ・「Aya Visits Canada」では、カナダでのホームステイの体験について扱うなど国際・異文化理解に関連する題材を扱っている。	【主体的・対話的で深い学びに関わる構成】 ・扉の写真で導入を行い、Part 1～3の本文で英文を読み、文法事項の導入、練習をして定着を図り、「Review」で内容理解を深め、「Task」で技能統合的な言語活動に取り組む構成を基本としている。 ・帯活動として会話活動ができるように「Activities Plus」を設けている。 ・小学校で学んだことを復習する「Springboard 1～4」を1年の最初に設けるとともに、1年のLesson 1～3は身近な生活の場面を扱うなど小学校と同じ設定にしている。 【分量・装丁】 ・判型は、AB判にしている。	【読みやすさの工夫】 ・活動のイメージがつかめるように絵や写真を掲載している。 ・1年の導入期には読みやすさ、書きやすさに配慮した字形の書体、可読性の高い書体を使用し、1年の終盤から、ローマン体の書体を使用している。 ・カラーユニバーサルデザインを取り入れている。 ・各活動には、どの技能を重点的に学ぶかを示すアイコンを掲載している。 ・読みやすく分かりやすくするために、全体的に統一感のあるレイアウトにしている。
38 光村	Here We Go! ENGLISH COURSE 1 Here We Go! ENGLISH COURSE 2 Here We Go! ENGLISH COURSE 3	・学習指導要領に示されている目標、内容、指導計画の作成と内容の取扱いを踏まえ、「知識・技能」「思考・判断・表現」「主体的に学習に取り組む態度」を重視している。 ・教育内容の主な改善事項のうち、「言語活動の充実」に関連して、「Goal」「You Can Do It!」「Story Retelling」「Let's Talk!」「Let's Read」等では、コミュニケーションの場面や状況・目的に応じて、子どもが情報や考えを理解したり伝え合ったりする言語活動を設定している。	【知識・技能】 ・各単元の「Part 1～3」の本文で語彙や文法事項等を示し、定着を図るための練習活動を各Partに設けている。 ・文法を意味、形、場面等でまとめた「Active Grammar」を設けている。 【思考・判断・表現】 ・既習事項を活用して表現活動を行う「Goal」を各単元に、統合的な言語活動である「You Can Do It!」を各学年に3回、本文の内容を自分の言葉で伝える言語活動の「Story Retelling」と、やり取りする力の向上を図る帯活動教材「Let's Talk!」を設けている。 ・読んだり聞いたりして概要や要点等を捉える「Let's Read」等を設けている。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・各単元の扉に目標を示すとともに、何ができるようになったか振り返ることができるように、言語活動後に振り返り欄、巻末に「CAN-DO List」を提示している。 ・音声等を利用して学習を進められるように二次元コードを設けている。 【かわさき教育プラン】 ・「Tour in New York City」では、ニューヨーク旅行での体験について扱うなど国際・異文化理解に関連する題材を扱っている。	【主体的・対話的で深い学びに関わる構成】 ・扉で絵や写真を使って題材への導入を行い、Part 1～3では本文を読み取り、語彙や文法事項の確認、練習を行い、「Goal」で言語活動を行う構成を基本としている。 ・本文の内容を自分のことばで伝える「Story Retelling」、会話活動の「Let's Talk!」を帯学習教材として設けている。 ・小学校での学習を復習する「Let's Be Friends!」を1年の最初に設けるとともに、1年のUnit 1～3はマンガ形式のレイアウトにし、巻末の「Word List」「基本本文のまとめ」は小学校の既習事項にマークを示している。 【分量・装丁】 ・判型は、AB判にしている。	【読みやすさの工夫】 ・活動のイメージがつかめるように絵や写真を掲載している。 ・小中接続期には、手書き体、1年後半はブロック体を使用している。 ・カラーユニバーサルデザインを取り入れている。 ・各活動には、どの技能を重点的に学ぶかを示すアイコンを掲載している。 ・迷わずに学習ができるように、レイアウトについて同様の情報を所定の位置に整理して配置している。
61 啓林館	BLUE SKY English Course 1 BLUE SKY English Course 2 BLUE SKY English Course 3	・学習指導要領に示されている目標、内容、指導計画の作成と内容の取扱いを踏まえ、「知識・技能」「思考・判断・表現」「主体的に学習に取り組む態度」を重視している。 ・教育内容の主な改善事項のうち、「言語活動の充実」に関連して、「Use」「Express Yourself」「Project」「Read and Think」等では、コミュニケーションの場面や状況・目的に応じて、子どもが情報や考えを理解したり伝え合ったりする言語活動を設定している。	【知識・技能】 ・各単元の「Part 1～3」の本文で語彙や文法事項等を示し、定着を図るための練習活動「Practice」等を各Partに設けている。 ・文法を使い方や形、場面等でまとめた「Targetのまとめ」を設けている。 【思考・判断・表現】 ・既習事項を活用して、会話などを行う「Use」を各Partに、既習事項を活用して行う表現活動である「Express Yourself」を各単元に、統合的な言語活動である「Project」を3年間で8回設けている。 ・英文を読んで概要や要点等を捉える「Read and Think」を各単元に設けている。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・各単元の扉に目標を示すとともに、何ができるようになったか振り返ることができるように、巻末に「CAN-DO リスト」を提示している。 ・音声等を利用して学習を進められるように二次元コードを設けている。 【かわさき教育プラン】 ・「Food Cultures」では、世界の食文化について扱うなど国際・異文化理解に関連する題材を扱っている。	【主体的・対話的で深い学びに関わる構成】 ・Unit扉の写真で導入を行い単元で扱うテーマ等を確認し、Part 1～3の「Get Ready」で本文を扱い、「Practice」で文法事項を練習し、それを実際に活用してみる「Use」につなげ、その後の「Read & Think」で英文を読み、「Express Yourself」で発表の言語活動を行い、「More Information」で内容に関する情報を読み理解を深める構成を基本としている。 ・1年は、2・3年と異なる単元構成にするともに、小学校での学習を復習する「Let's Start!」を1年の最初に設けている。 【分量・装丁】 ・判型はAB判にしている。	【読みやすさの工夫】 ・活動のイメージがつかめるように絵や写真を掲載している。 ・1年では、ユニバーサルデザインフォントを使用している。 ・メディア・ユニバーサル・デザイン協会に認証マークを申請している、と記載している。 ・各活動には、どの技能を重点的に学ぶかを示すアイコンを掲載している。 ・学習の流れを把握しやすくするために、学習項目の位置を固定している。

# 調査研究報告書 ⑥

## 道徳

発行者の番号略称	書名	学習指導要領との関連	内容	構成・分量・装丁	表記・表現
2 東書	新訂 新しい道徳1 新訂 新しい道徳2 新訂 新しい道徳3	・学習指導要領に示されている目標、内容、指導計画の作成と内容の取扱いを踏まえ、「知識及び技能」「思考力、判断力、表現力等」「学びに向かう力、人間性等」を重視している。 ・教育内容の主な改善事項のうち、「道徳教育の充実」に関連して、人間としての生き方についての考えを深めることを目指して、生きて働く道徳性を育めるような学習ができるように工夫している。	【知識及び技能】 ・いじめの問題や生命の尊さについてユニット学習(教材やコラム等を組み合わせて一定期間に集中してあるテーマ学ぶという学習)を設定している。 ・情報モラルやキャリア教育、SDGsなど現代的な課題について学習できる教材を掲載している。  【思考力、判断力、表現力等】 ・授業開きに使えるページや話し合いの手引きのページを掲載している。 ・教材の最後に「考えよう」「自分を見つめよう」を設け、問いを掲載している。 ・各学年に2つずつ、道徳的行動に関する体験的な学習ができる教材、問題解決的な学習ができる教材を掲載している。 ・学習の意識づけにつながるような漫画と投げかけの言葉を各学年5つずつ掲載している。  【学びに向かう力、人間性等】 ・他教科とのつながりがわかるように、教材のタイトルの下に関連する教科を示している。 ・付録の心情円を使用できる教材には記号を付けて示したり、メモができる記入欄「つぶやき」を設けたりしている。 ・巻末に学期ごとに心に残った学習を振り返ることができるワークシートを設けている。  【かわさき教育プラン】 ・いじめの問題、生命の尊さに関連する教材を3つずつ掲載している。 ・多様性を尊重し、様々な人物を取り上げた教材を掲載している。	【主体的・対話的で深い学びに関わる構成】 ・巻頭に道徳の学び方を示すページを掲載している。 ・巻末に47都道府県の郷土資料を各学年に分けて掲載している。 ・新聞や漫画、小学校の定番教材などを扱ったものを掲載している。  【分量・装丁】 ・35教材を掲載し、付録教材5つを掲載している。 ・切り取り式の心情円、ホワイトボードを付録として付けている。 ・画像や動画などを活用できるように教材にマークを表示し、裏表紙に二次元コードを掲載している。 ・AB判を採用している。	【読みやすさの工夫】 ・内容項目A～Dの視点が分かるように、教材タイトル上部にはマークで、タイトル全体を色分けで表示している。 ・各教材の冒頭に学習テーマを提示している。 ・ユニバーサルデザインフォントを使用している。 ・カラーユニバーサルデザインに配慮している。
17 教出	中学道徳1とびだそう未来へ 中学道徳2とびだそう未来へ 中学道徳3とびだそう未来へ	・学習指導要領に示されている目標、内容、指導計画の作成と内容の取扱いを踏まえ、「知識及び技能」「思考力、判断力、表現力等」「学びに向かう力、人間性等」を重視している。 ・教育内容の主な改善事項のうち、「道徳教育の充実」に関連して、自分自身を深く理解し、人間としてよりよい生き方を模索し続けていく態度を養うため、自分に引きつけて考えたり、多面的・多角的に考えたりすることができるような教材の工夫をしている。	【知識及び技能】 ・「いじめや差別のない社会」「生命の尊さ」についてユニット学習を設定している。 ・「生命の尊さ」「情報モラル」「社会参画」など現代的な課題について学習できる教材を掲載している。  【思考力、判断力、表現力等】 ・ユニット学習の最後に自分ごととして考えられる内容のコラムを掲載している。 ・各学年に1～2ヶ所、道徳的行動に関する体験的な学習など、学習の流れを示す「やってみよう」を設けている。 ・導入で意識づけができる問いを教材タイトルの下に示している。 ・各教材の最後に学習流れを示す「学びの道しるべ」を設け、問いを3つ掲載している。  【学びに向かう力、人間性等】 ・他教科と関連づけ、SDGsの達成に向けた教育の充実が図れる教材を掲載している。 ・学年に応じて内容項目の重点化を図り、学校行事の時期などを考慮して教材を配置している。 ・巻末に、学期末・学年末に振り返る記録用紙を設けている。また、教材ごとに記録する一覧表を設けている。  【かわさき教育プラン】 ・2学年のコラムで神奈川県で開かれたへボン塾の話に掲載している。 ・「都道府県にゆかりのある人物と、その言葉」に神奈川県出身の小説家の吉川英治や物理学者の小柴昌俊を掲載している。 ・生命の尊さに関する教材3つずつ、いじめの問題や差別のない社会に関する教材を2つずつ掲載している。	【主体的・対話的で深い学びに関わる構成】 ・巻頭に道徳科の学び方を示すページ掲載している。 ・巻末に生徒を励ますメッセージとして「これから生きる皆さんへ」を設けている。 ・漫画や絵本、歌詞などで構成された教材を掲載している。  【分量・装丁】 ・30教材を掲載し、補充教材として5教材を掲載している。 ・画像や動画などを活用できるように教材に「まなびリンク」マークを表示し、目次に二次元コードを掲載している。 ・活動を示す「やってみよう」に考えを記入する欄を設けている。 ・B5判を採用している。	【読みやすさの工夫】 ・内容項目A～Dの視点ごとにマークを使用し、教材タイトルの上部に表示している。 ・ユニバーサルデザインフォントを使用している。 ・カラーユニバーサルデザインの配慮をしている。 ・中学校で学習する漢字は、初出箇所には振り仮名をつけ、固有名詞には全て振り仮名を付けている。 ・1年の前半は他の教材より大きい文字を使用している。 ・基本的に右ページから始まるように構成している。
38 光村	中学道徳1 きみがいちばんひかるとき 中学道徳2 きみがいちばんひかるとき 中学道徳3 きみがいちばんひかるとき	・学習指導要領に示されている目標、内容、指導計画の作成と内容の取扱いを踏まえ、「知識及び技能」「思考力、判断力、表現力等」「学びに向かう力、人間性等」を重視している。 ・教育内容の主な改善事項のうち、「道徳教育の充実」に関連して、一人一人が自信をもって生きていくために、自分のよさや可能性を認めたり、あらゆる他者を価値ある存在として尊重したりすることなどができるような学習が進められるように工夫している。	【知識及び技能】 ・年間を3つのシーズンに分け、その中で生徒の成長と学校生活を意識し、関連性の高い内容項目でユニット学習を設定している。 ・「現代的な課題と向き合う」というテーマのもと、国際理解や環境、共生について学習できる教材を掲載している。  【思考力、判断力、表現力等】 ・教材を通して何を考えるのかを示すために、問いを2つ「考えよう」に掲載している。 ・自分ごととして考えるために、「深めたいむ」を4ヶ所設けている。特に「いじめ問題」と「情報モラル」については、各学年に「深めたいむ」を設けている。 ・各学年に1教材、道徳的行動に関する体験的な学習の取組例を「見方を変えて」の中で示している。  【学びに向かう力、人間性等】 ・他教科や日常生活、他教材との関連を示す「つなげよう」を設定している。 ・発問以外に多面的・多角的な見方や考え方ができるよう、「見方を変えて」を設定している。 ・巻末に1時間ごとの記録とシーズンごとの記録ができる振り返りシートを設けている。  【かわさき教育プラン】 ・他者とよりよく関わるスキルやこつを学ぶコラム「人と人との関係作り」を設けている。 ・神奈川県内の教材として、3年に厚木市立中学校、付録として、郷土玩具、箱根駅伝を取り上げている。 ・「いじめの問題」「人権教育」に関して、様々な内容項目から考えられる教材を掲載している。	【主体的・対話的で深い学びに関わる構成】 ・最初の教材に内容項目を限定しない「道徳の授業を始めよう」、最終の教材に「道徳の学びを振り返ろう」を位置付けている。 ・コラムと付録に「人と人との関係作り」を掲載している。 ・写真や漫画を教材にしたもの、小学校の定番教材などを扱ったものを掲載している。  【分量・装丁】 ・31教材(内容項目を限定しない2教材を含む)と補充教材4教材を掲載している。 ・朗読や参考動画、関連資料が活用できる二次元コードを教材タイトルの下に掲載している。 ・巻末には、ポートフォリオ形式の「学びの記録」を設けている。 ・B5判を採用している。	【読みやすさの工夫】 ・内容項目A～Dの視点が分かるように、教材タイトル上部にはマークで、タイトル全体を色分けで表示している。 ・ユニバーサルデザインフォントを使用している。 ・カラーユニバーサルデザインの配慮をしている。 ・中学校で学習する漢字には振り仮名を付け、固有名詞には教材初出箇所には振り仮名を付けている。 ・学習の手引きは本文と区別して横書きで示している。

発行者の 番号略称	書名	学習指導要領との関連	内容	構成・分量・装丁	表記・表現
116 日文	中学道徳 あ すを生きる 1 中学道徳 あ すを生きる 1 道徳ノート 中学道徳 あ すを生きる 2 中学道徳 あ すを生きる 2 道徳ノート 中学道徳 あ すを生きる 3 中学道徳 あ すを生きる 3 道徳ノート	・学習指導要領に示されている目標、内容、指導計画の作成と内容の取扱いを踏まえ、「知識及び技能」「思考力、判断力、表現力等」「学びに向かう力、人間性等」を重視している。 ・教育内容の主な改善事項のうち、「道徳教育の充実」に関連して、一人一人がよりよく生きる喜びと誇りをもって、他者と共に社会を創造していくことを目指し、主体的な学びや「いま」と「これから」の社会の課題に対応できる学習ができるように工夫している。	【知識及び技能】 ・「いじめと向き合う」「よりよい社会と私たち」というテーマでユニット学習を設定している。 ・いじめの問題や情報モラル、キャリア教育など現代的・社会的課題に関する内容の教材を掲載している。 ・年間を3つのシーズンに分け、学校生活の流れと1年間の成長を考慮した教材配置にしている。  【思考力、判断力、表現力等】 ・各学年に4つ、問題解決的な学習ができる教材、各学年に2つ道徳的行為に関する体験的な活動ができる教材を掲載している。 ・問題解決的な学習、道徳的行為に関する体験的な学習ができる教材の後に、「学習の進め方」を例示している。 ・各教材に「考えてみよう」を設け、中心的に考える発問例を掲載している。  【学びに向かう力、人間性等】 ・学んだことを生かすために、教材の最後に「自分に+1(プラスワン)」を設けている。 ・日常生活や他教科等に関連するコラムを掲載している。 ・自分の考えや友達のことを記入したり、学期ごとに振り返りたりできる別冊「道徳ノート」を設けている。 ・別冊「道徳ノート」の「考えてみよう」「自分に+1」の欄が空欄になっており、発問を柔軟に設定できる形になっている。  【かわさき教育プラン】 ・いじめの問題に関する教材は知識を深めるコラムとスキルを身に付けるコラムの両方を掲載している。 ・2年、3年では神奈川県に関する教材やコラムを掲載している。 ・別冊「道徳ノート」の学期ごとの振り返りに保護者記入欄を設けている。	【主体的・対話的で深い学びに関わる構成】 ・巻頭に道徳科の学び方を示すページを掲載している。 ・各教材の最初のページに登場人物の写真や絵を掲載している。 ・詩、漫画を教材にしたものを掲載している。  【分量・装丁】 ・35教材を掲載している。 ・画像や動画などが活用できるように教材にマークを表示し、目次に二次元コードを掲載している。 ・本冊に別冊を挟み込み、一体となるように製本している。 ・別冊「道徳ノート」にはドット罫が入っている。 ・B5判を採用している。	【読みやすさの工夫】 ・内容項目A～Dの視点をマークと色で見分けられるようにし、教材タイトルの上部に表示している。 ・ユニバーサルデザインフォントを使用している。 ・カラーユニバーサルデザインに配慮している。 ・中学校で学習する漢字には振り仮名を付けている。 ・全ての教材が右ページ始まりになるように構成している。
224 学研	新・中学生の道徳 明日への扉 1 新・中学生の道徳 明日への扉 2 新・中学生の道徳 明日への扉 3	・学習指導要領に示されている目標、内容、指導計画の作成と内容の取扱いを踏まえ、「知識及び技能」「思考力、判断力、表現力等」「学びに向かう力、人間性等」を重視している。 ・教育内容の主な改善事項のうち、「道徳教育の充実」に関連して、自ら主体的に課題を発見し、考えを深めたり、学びの多様な展開で多面的・多角的に考えたりすることができるような教材の工夫している。	【知識及び技能】 ・「夢に向かって共に輝く」「地球と地域の未来のために」というテーマでユニット学習を設定している。 ・情報モラルや社会の持続可能な発展(ESD)などの現代的な課題について学習できる教材を掲載している。 ・「命の教育」を重点にし、他の内容項目から命について考えられる教材を掲載している。  【思考力、判断力、表現力等】 ・各教材の終わりに「考えよう」を設け、考えるきっかけとなる問いを掲載している。 ・学習の流れ「考えを深める4つのステップ」を巻頭で提示し、具体例を各学年6～8ヶ所の「深めよう」で示している。  【学びに向かう力、人間性等】 ・内容項目や日常生活との関連を図る「クローズアップ」を掲載している。 ・巻頭に自分を見つめることができる書き込み、巻末に残った言葉や学期の学びの記録を記入できる欄を設けている。 ・「深めよう」「クローズアップ」に自分の考えを記入できる欄や自分ごととして考えられる発問を掲載している。  【かわさき教育プラン】 ・いじめの問題、生命を尊重につながる観点から、各学年に「メンタルトレーニング」「アンガーマネジメント」「自己肯定感」に関する内容を「クローズアップ+(プラス)」に掲載している。 ・2年で川崎市のジャイアンツ寮(松井秀喜)の話を掲載している。 ・重点内容項目を1年では友情・信頼(仲間と生きる)、2年では社会参画・公共の精神(社会で生きる)、3年では国際理解・国際貢献(世界で生きる)としている。	【主体的・対話的で深い学びに関わる構成】 ・巻頭に道徳科の学び方を示すページを掲載している。 ・教材の一部抜粋などキーフレーズを教材タイトルの下に掲載している。 ・写真やグラフ、図などで構成した教材を掲載している。 ・各教材にメモ欄を設けている。  【分量・装丁】 ・35教材を掲載している。 ・画像や動画などを活用できるように教材タイトルの下にマークを表示し、目次に二次元コードを掲載している。 ・巻末に学びの記録を設けている。 ・AB判を採用している。	【読みやすさの工夫】 ・内容項目A～Dの視点が分かるように、教材タイトル上部にはマークで、タイトル全体を色分けで表示している。 ・ユニバーサルデザインフォントを使用している。 ・「いのち」「情報モラル」マークを設け、関連した教材に掲載している。 ・中学校で学習する漢字や固有名詞には振り仮名を付けている。 ・右ページ始まりになるように構成している。
232 廣あかつき	中学生の道徳 自分を見つめる 1 中学生の道徳ノート 自分を見つめる 1 中学生の道徳 自分を見つめる 2 中学生の道徳ノート 自分を見つめる 2 中学生の道徳 自分をのばす 3 中学生の道徳ノート 自分をのばす 3	・学習指導要領に示されている目標、内容、指導計画の作成と内容の取扱いを踏まえ、「知識及び技能」「思考力、判断力、表現力等」「学びに向かう力、人間性等」を重視している。 ・教育内容の主な改善事項のうち、「道徳教育の充実」に関連して、豊かな情操と道徳心を培うため、ともに考えて話し合うことや自分を見つめて考えを書くことができるような教材の工夫をしている。	【知識及び技能】 ・「いじめ防止・人権尊重」「生命尊重」を重点とし、関連する内容項目は配当時間を増やして掲載している。 ・情報モラル、共生など現代的な課題を巻末にまとめて掲載している。 ・学習指導要領の「指導内容の重点化」に示された内容項目の教材を3つずつ掲載している。  【思考力、判断力、表現力等】 ・問題解決的な学習や道徳的行為に関する体験的な学習ができる教材を掲載している。 ・各教材に学習の手がかり、問いを提示する「考える・話し合う」を設けている。 ・各教材の最終ページに先人や著名人の格言・名言を掲載している。  【学びに向かう力、人間性等】 ・別冊「道徳ノート」巻末に学期や年間のまとめで使用できる「心に残っている授業の記録」や心に残った授業のチェックシート「心のしおり」を設けている。 ・教材と合わせて活用できる資料「thinking」を各学年に3つ掲載している。 ・巻末に他教科との関連を一覧で掲載している。  【かわさき教育プラン】 ・1年で川崎市出身である競泳の成田真由美選手の話に掲載している。 ・いじめの問題に関する巻末特集は内容項目A～Dの視点から考えられるようにしている。	【主体的・対話的で深い学びに関わる構成】 ・巻頭に「道徳の時間とは」を掲載している。 ・巻末にいじめの問題、情報社会、持続可能な社会についての特集を掲載している。  【分量・装丁】 ・35教材を掲載している。 ・「インターネット」が付いた教材は、目次の二次元コードから関連資料を活用できるようにしている。 ・別冊「道徳ノート」は補助資料と学習の記録欄で構成している。 ・教材の最初のページには、別冊ノートの何ページと対応しているかを表示している。 ・本冊に別冊を挟み込み、一体となるように製本している。 ・AB判を採用している。	【読みやすさの工夫】 ・内容項目A～Dの視点が分かるように、教材タイトル上部を色分けして表示している。 ・カラーユニバーサルデザインに関しては今後認証を取得予定としている。 ・1年は本文の文字を大きめにしている。 ・未習の漢字には振り仮名を付けている。固有名詞には教材初出のみ付けている。

発行者の 番号略称	書名	学習指導要領との関連	内容	構成・分量・装丁	表記・表現
233 日科	道徳 中学 1 生き方 から学ぶ 道徳 中学 2 生き方 を見つめる 道徳 中学 3 生き方 を創造する	<ul style="list-style-type: none"> <li>学習指導要領に示されている目標、内容、指導計画の作成と内容の取扱いを踏まえ、「知識及び技能」「思考力、判断力、表現力等」「学びに向かう力、人間性等」を重視している。</li> <li>教育内容の主な改善事項のうち、「道徳教育の充実」に関連して、答えが一つではない道徳的課題を自分の課題として捉え、向き合うことができるような教材の工夫をしている。</li> </ul>	<p>【知識及び技能】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>いじめの問題に関して「生命の尊さ」「寛容」「人権」などから考えられる教材を掲載している。</li> <li>インクルーシブ教育、伝統と文化の尊重など多様な価値を受け入れることを重点としている。</li> <li>情報モラル、キャリア教育に関する教材は、生徒の身近な内容や発達段階の段階を踏まえたものを掲載している。</li> </ul> <p>【思考力、判断力、表現力等】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>自分ごととして考えられるよう、「考え、話し合ってみよう」を設けている。</li> <li>教材で学んだことに関する関連資料「もっと知りたい」を掲載している。</li> <li>先人、著名人の体験や夢に学ぶ教材を掲載している。</li> </ul> <p>【学びに向かう力、人間性等】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>日常生活につながるように、関連資料「込められた思い」「届けたい言葉」を掲載している。</li> <li>巻末に自分自身の成長や道徳科の学びを振り返るワークシートを設けている。</li> </ul> <p>【かわさき教育プラン】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>神奈川県に関する教材として、3年で二宮尊徳を取り上げている。</li> <li>キャリア教育、人権教育、福祉など価値の多様性について考える教材を掲載している。</li> </ul>	<p>【主体的・対話的で深い学びに関わる構成】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>学習指導要領に示されている内容項目A～Dの順に教材を配置している。</li> <li>巻頭に「道徳科で何を学ぶのか」を掲載している。</li> <li>全て読み物教材で構成している。</li> </ul> <p>【分量・装丁】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>1年2年は37、3年は38教材を掲載している。</li> <li>表紙には、伝統と文化、新しい技術の写真を掲載している。</li> <li>デジタルコンテンツに関する案内はない。</li> <li>B5判を採用している。</li> </ul>	<p>【読みやすさの工夫】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>内容項目A～Dの視点ごとに色を分けて教材タイトル上部に表示している。</li> <li>教材文は同じ書体を使用している。</li> <li>ユニバーサルデザインに関する記載はない。</li> </ul>

# 調査研究報告書 ⑤

## 国語

発行者の番号 略称	書名	内容	構成・分量・装丁	表記・表現
2 東書	新しい国語1 新しい国語2 新しい国語3	<p>【知識・技能】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・効率よく学べるように文法事項を体系的に整理したり、語彙の学習に役立つ資料を掲載したりしている。</li> <li>・情報活用能力の育成を図れるよう、情報の整理の仕方について掲載している。</li> <li>・1年生の最初の古典教材として「移り行く浦島太郎の物語」を設定し、2年生の「平家物語」では、理解を深めるために源氏・平家の人物の関係等を記載している。</li> <li>・朗読を聞くこと等ができる二次元コードを設定している。</li> </ul> <p>【思考・判断・表現】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・各教材の「言葉の力」に、身に付ける資質・能力や学びのポイントを示している。</li> <li>・生徒の活動に活用できるよう、手紙、新聞の書き方を掲載している。</li> <li>・「読み方」についての説明をまとめて掲載し、3年間で学ぶ「読み方」を巻末に系統的に示している。</li> </ul> <p>【主体的に学習に取り組む態度】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・他教科や現代社会とのつながりを意識した内容を掲載し、「他教科で学ぶ漢字」のページも掲載している。</li> <li>・生徒が興味をもちやすいよう、漫画を用いた「学びの扉」を掲載している。</li> </ul> <p>【かわさき教育プラン】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・生徒が興味をもてるような作品を、読書教材として掲載している。</li> <li>・SDGsに関連するもの等、現代的な諸課題を取り上げた教材を掲載している。</li> </ul>	<p>【主体的・対話的で深い学び】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・本編、基礎編、資料編の3部で構成している。</li> <li>・教科書の構成を示している。</li> <li>・見通しをもって取り組めるよう、巻頭に既習事項と今年度の学習事項を示している。</li> <li>・3年間で身に付ける力を系統的に示している。</li> <li>・導入に、漫画の形式の「学びの扉」を設定している。</li> </ul> <p>【分量・装丁】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・装丁については、表紙に中学生を風景の一部にしたイラストを用いている。</li> </ul>	<p>【読みやすさの工夫】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・所々にキャラクターを活用している。</li> <li>・写真やイラスト、マーク等を使用している。</li> <li>・ユニバーサルデザインの観点から、支援が必要な生徒への配慮をしている。</li> <li>・5の倍数の数字の他に、点で行の目印を付けている。</li> </ul>
15三省堂	現代の国語1 現代の国語2 現代の国語3	<p>【知識・技能】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・各教材に、使える語句の量を増やし語感を磨くための「語彙を豊かに」を掲載している。</li> <li>・古典作品の作者になりきって文書を書く課題では、イメージがもてるように例を示している。</li> <li>・細かい情報を確認できる二次元コードを設定している。</li> <li>・生徒に親しみやすい「歌の言葉」を各学年に掲載している。</li> </ul> <p>【思考・判断・表現】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・「読み方を学ぼう」では、学年間も含め、段階的に読み取りのポイントを示している。</li> <li>・「学び方」を学び、言語活動に活用できるよう、「思考の方法」や「読み方を学ぼう」を掲載している。</li> <li>・見通しをもてるよう、「内容を整理する」「読みを深める」「自分の考えを深める」「学びを振り返る」「学びの道しるべ」に示している。</li> </ul> <p>【主体的に学習に取り組む態度】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・自分で読み進めることに活用するよう、単元の前や後に「読み方を学ぼう」を掲載している。また、教材を通して身に付けたい資質・能力を示している。</li> <li>・学校生活に沿った学習活動ができるような構成や、教材の設定をしている。</li> </ul> <p>【かわさき教育プラン】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・「読書に広場」に、様々なジャンルの読書教材を掲載している。</li> <li>・SDGsに関連するもの等、現代的な諸課題に合わせた内容を掲載している。</li> </ul>	<p>【主体的・対話的で深い学び】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・本編と資料編の構成にしている。</li> <li>・教科書の構成や、領域別の身に付けたい力と教材文との関連を巻頭に示している。</li> <li>・わかりやすく伝わるように、学習の目的や振り返りを示している。</li> <li>・説明的な文章で、基本を確認できる短めの内容から確認したことを活用できる長めの内容へと連続して設定している。</li> <li>・読書教材等を巻末にまとめて掲載している。</li> </ul> <p>【分量・装丁】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・装丁については、表紙に自然の風景のイラストを用いている。</li> </ul>	<p>【読みやすさの工夫】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・構造化して示したりイラスト等を使用したりしている。</li> <li>・学年ごとに色づかいを統一している。</li> <li>・ユニバーサルデザインの観点から、支援が必要な生徒への配慮をしている。</li> <li>・5の倍数の数字で行の表記をしている。</li> </ul>
17 教出	伝え合う言葉 中学国語1 伝え合う言葉 中学国語2 伝え合う言葉 中学国語3	<p>【知識・技能】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・文学史、百人一首、十二支の資料等、補足資料を掲載している。</li> <li>・「文法の小窓」では、文法事項を日常会話から説明するようになっている。</li> <li>・関連付けて学習できるよう、古典作品には時代背景等も記載している。</li> <li>・情報モラルや、メディアリテラシーについての教材を掲載している。また「メディアと表現」では、生徒が興味をもちやすいよう、漫画や広告の分析を教材としている。</li> </ul> <p>【思考・判断・表現】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・文学作品を読み取る力をつけるため、比較して考えられるように、違う登場人物の視点から描いたストーリーを掲載している。</li> <li>・複数の資料を読んで考える課題を設定している。</li> <li>・思考パターンを身に付けられるよう、学習活動の中で「思考ツール」を活用できるように設定している。</li> </ul> <p>【主体的に学習に取り組む態度】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・学習内容について説明し、学びを支えられるよう、「学びナビ」を掲載している。</li> <li>・教科等を横断した内容の教材を掲載している。</li> </ul> <p>【かわさき教育プラン】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・定期的に読書活動に触れることができるよう、単元ごとに本の紹介ページを掲載している。</li> <li>・SDGsの視点を取り入れた教材を掲載し、自分で課題を見つけて考えるという学びの流れを設定している。</li> </ul>	<p>【主体的・対話的で深い学び】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・巻末に、資料や学習に必要な語句の索引を掲載している。</li> <li>・学習の見通しをもてるよう、「学びナビ」→「本編」→「みちしるべ」という流れで構成している。</li> <li>・国語を学ぶ意義を考えられるよう、各学年の巻頭に加藤周一（評論家）による「言葉」に関する文章を掲載している。</li> <li>・見通しをもって学習できるよう、目標と振り返りを示している。</li> <li>・古典教材を「物語の始まり」（「竹取物語」）、「随筆の味わい」（「枕草子・徒然草」）、「旅への思い」（「おくのほそ道」）等、生徒の「今」との接続を意識した教材として設定している。</li> </ul> <p>【分量・装丁】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・装丁は、表紙に絵画のようなイラストを用いている。</li> </ul>	<p>【読みやすさの工夫】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・グラフやイラスト等を掲載し、学年ごとに色づかいを統一している。</li> <li>・ページを開きやすいよう、左上に文章の題名等を示している。</li> <li>・ユニバーサルデザインの観点から、支援が必要な生徒への配慮をしている。</li> <li>・行を5の倍数の数字の他に点で表示している。</li> </ul>

発行者の番号 略称	書名	内容	構成・分量・装丁	表記・表現
38 光村	国語1 国語2 国語3	<p>【知識・技能】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・様々な言葉や伝統的な日本文化にふれられるよう、四季にまつわる詩歌や季語を紹介したり、古典を掘り下げて学習できるよう、伝統的な文化に関する資料を掲載したりしている。</li> <li>・文法では、わかりやすくなるように例題を掲載している。</li> <li>・情報を取り扱う単元を掲載している。</li> <li>・朗読を聞くこと等ができる二次元コードを設定している。</li> </ul> <p>【思考・判断・表現】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・同じテーマで比較して読むことができる教材文を掲載している。</li> <li>・「取扱説明書」「ウェブサイト」等、実社会でよく目にする文章を設定している。</li> <li>・教科横断的に資質・能力を伸ばせるような題材や学習活動を設定し、「思考ツール」の活用もできるよう「思考の地図」を掲載している。</li> </ul> <p>【主体的に学習に取り組む態度】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・単元の中に、身に付ける資質・能力を示す「学習の窓」を設定している。</li> <li>・学習を深めるため、「見通しをもつ」「捉える」「読み深める」「考えをもつ」「振り返る」という順に設定している。</li> </ul> <p>【かわさき教育プラン】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・現代の子どもたちに親しみやすく、興味をもてるような内容の本を「読書生活を豊かに」に掲載している。</li> <li>・SDGsに関連するもの等、持続可能な社会の担い手に求められる現代的な諸問題を取り上げている。</li> </ul>	<p>【主体的・対話的で深い学び】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・教科書の構成を示している。</li> <li>・見通しをもって学習に取り組めるよう、学習過程をひと目でわかるように構成している。</li> <li>・学習内容がどのようなことに生かされるのかを示している。</li> <li>・考えの深め方を身に付けていくことができるよう、目次のすぐ後に「思考の地図」を掲載している。</li> <li>・資質・能力の全体像を見渡し、汎用的に、日常生活や読書でも活用できるよう、巻末に各領域に関連する基礎的・基本的な事項をまとめて示している。</li> </ul> <p>【分量・装丁】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・装丁については、表紙にデフォルメされた自然や生き物のシンプルなイラストを用いている。</li> </ul>	<p>【読みやすさの工夫】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・写真や絵、キャラクター等を使用している。</li> <li>・領域ごとに色づかいを統一している。</li> <li>・ユニバーサルデザインの観点から、支援が必要な生徒への配慮をしている。</li> <li>・5の倍数の数字で行の表示をしている。</li> </ul>

# 調査研究報告書 ⑤

## 書写

発行者の番号 略称	書名	内容	構成・分量・装丁	表記・表現
2 東書	新しい書写 一・二・三年	<p>【知識・技能】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・確かな書写力の向上につながるよう、知識・技能を「書写のかぎ」としてまとめている。</li> <li>・理解しやすいよう、行書学習では書く動きに着目して示したり、楷書と行書の比較ができるようにしたりしている。</li> <li>・日常生活の様々な場面に生かせるよう、巻末に「書写活用ブック」を掲載している。</li> <li>・筆順等の情報を確認することができるよう二次元コードを設定している。</li> <li>・「文字の成り立ちと移り変わり」等、様々な分野の資料提示をしている。</li> </ul> <p>【思考・判断・表現】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・様々な生活場面での活用を、学年に応じ想定している。</li> <li>・生徒の思考を促すよう、生活の場面から「行書をいつ使うのか」を考えさせる内容等を設定している。</li> </ul> <p>【主体的に学習に取り組む態度】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・生徒が見通しをもてるように「書写で学ぶこと」のページや「目標」を掲載し、自己評価に活用するために「まとめ」や「書写テスト」を設定している。</li> <li>・苦手な生徒も得意な生徒も取り組みやすいよう、3年間の学習のまとめの単元を幅のある設定にしている。</li> <li>・単元を「見つけよう」「書写のかぎ」「確かめよう」「生かそう」「振り返って話そう」の流れで設定している。</li> </ul> <p>【かわさき教育プラン】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・言語活動を充実させられるよう、言語活動例を示している。</li> </ul>	<p>【主体的・対話的で深い学びに関わる構成】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・1年生から3年生の順で学年ごとの構成にしている。</li> <li>・単元の構成を、硬筆で学び、毛筆で書きあげ、習得した書き方を同じ特徴をもつ他の字に活用するという流れにしている。</li> <li>・手本を左側のページにしている。</li> </ul> <p>【分量・装丁】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・AB判で中とじにしている。</li> </ul>	<p>【読みやすさの工夫】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・学習のポイントをつかむ工夫として、イラストや写真・図版を示している。</li> <li>・運筆の理解のため、朱墨やイラスト、擬態語を用いている。</li> <li>・ユニバーサルデザインの視点から、支援が必要な生徒への配慮をしている。</li> </ul>
15 三省堂	現代の書写 一・二・三	<p>【知識・技能】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・「書き方」を学べるよう、書くときのポイントを示している。</li> <li>・理解しやすいよう、基本の点画のページや行書と楷書の比較等を掲載している。</li> <li>・国語学習との関連を意識した内容を掲載している。</li> <li>・日常での活用につながるよう、「資料編」に時候の挨拶、頭語、結語の学習ページや様々な資料を掲載している。</li> <li>・文字文化に関連して、3年生には「文字文化の豊かさ」を設定している。</li> </ul> <p>【思考・判断・表現】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・手紙等、実生活に生かせるような内容を設定している。</li> <li>・意見等を教科書に直接書き込む欄を掲載している。</li> </ul> <p>【主体的に学習に取り組む態度】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・3年間の学びを見ることができるよう、冒頭に「自分の文字を書き残そう」を設定している。</li> <li>・主体的に学べるよう教材名、目標、振り返りに学習のねらいを示している。</li> <li>・毛筆の補充教材を掲載している。</li> </ul> <p>【かわさき教育プラン】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・言語活動を充実させられるよう、言語活動例を示している。</li> </ul>	<p>【主体的・対話的で深い学びに関わる構成】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・全体を「基礎編」「本編」と分け、身のまわりの書式や文字文化については「資料編」にまとめて示す構成にしている。</li> <li>・楷書と行書を比較できる構成にしている。</li> <li>・学習のサポートができるよう二次元コードを設定している。</li> </ul> <p>【分量・装丁】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・B5判で中とじにしている。</li> </ul>	<p>【読みやすさの工夫】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・理解を助けるよう、イラストや写真、図版を示し、学年ごとにページの色分けをしている。</li> <li>・運筆を視覚的に理解させる工夫として、朱墨と筆の動きを示すイラスト等を用いている。</li> <li>・ユニバーサルデザインの視点から、支援が必要な生徒への配慮をしている。</li> </ul>
17 教出	中学書写	<p>【知識・技能】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・行書の学習について、文字ではなく筆の動かし方から解説している。</li> <li>・理解しやすいよう、一つの文字で行書、楷書を掲載している。</li> <li>・日常生活の様々な場面に生かせるよう、巻末に「書式の教室」を掲載し、一筆箋、年賀状等を示している。</li> <li>・レポートやポスター等、実用的な例を掲載している。</li> <li>・興味・関心を高められるよう、「暮らしの文字を支える人々」「あの人が残した文字」等のコラムを掲載している。</li> </ul> <p>【思考・判断・表現】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・まず「試し書き」で教材と比較して自分の課題に気づかせる導入を設定している。</li> <li>・書写を日常生活に生かそうとするページを掲載している。</li> </ul> <p>【主体的に学習に取り組む態度】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・3年間で学習する内容や身に付けたい力の見通しを示している。</li> <li>・学習内容や手順が明確になるよう、「目標」「試し書き」「考えよう」「生かそう」「振り返ろう」と示している。</li> <li>・補充教材や書写テストのページを掲載している。</li> </ul> <p>【かわさき教育プラン】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・「話し合い活動をととした学び方」について示し、言語活動を充実させられるよう、言語活動例を示している。</li> </ul>	<p>【主体的・対話的で深い学びに関わる構成】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・1年生から3年生の順に構成している。</li> <li>・学びを理解するため、はじめに「書写をとおして学んでいくこと」を掲載している。</li> <li>・学習のサポートができるよう二次元コードを設定している。</li> </ul> <p>【分量・装丁】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・AB判で中とじにしている。</li> </ul>	<p>【読みやすさの工夫】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・学習ポイントの理解のためイラストや写真、図版を示し、学年でページの色分けをしている。</li> <li>・運筆の理解のため、朱墨を用いた筆先の写真や筆圧を示すマークを示している。</li> <li>・ユニバーサルデザインの視点から、支援が必要な生徒への配慮をしている。</li> </ul>

発行者の番号 略称	書名	内容	構成・分量・装丁	表記・表現
38 光村	中学書写 一・二・三年	<p>【知識・技能】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・学習のポイントがひと目でわかる「学習の窓」を設け、他の文字にも活用できる基礎、基本、原理、原則を示している。</li> <li>・硬筆の練習ができる別冊「書写ブック」を設定している。</li> <li>・文字文化への理解を深めるためのコラムを設け、3年生にUD書体の説明を掲載している。</li> <li>・生活の場面に生かせるよう、「日常に役立つ書式」を掲載している。</li> <li>・「中学生のための漢字辞典」を掲載している。</li> </ul> <p>【思考・判断・表現】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・「学習の窓」を中心に、「考えよう→確かめよう→生かそう→学習を振り返る」という流れでまとめている。</li> <li>・書写で学んだことを日常で活用できるよう、日常場面の資料を掲載している。</li> </ul> <p>【主体的に学習に取り組む態度】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・生徒が学習の見通しをもてるよう、学習の「目標」「学習の窓」「学習を振り返る」を設定している。</li> <li>・学習活動に入りやすくする工夫として、「やってみよう」を掲載している。</li> <li>・書写テストを掲載している。</li> </ul> <p>【かわさき教育プラン】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・言語活動を充実させられるよう、言語活動例を示している。</li> </ul>	<p>【主体的・対話的で深い学びに関わる構成】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・全体は学年、分野ごとに分けて構成している。</li> <li>・「学習の進め方」に生徒が考えたり、話し合ったりする活動を示している。</li> <li>・筆使い等を映像で見られるよう、二次元コードを設定している。</li> </ul> <p>【分量・装丁】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・B5判で中とじにしている。</li> </ul>	<p>【読みやすさの工夫】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・学習のポイントを明確化するため、イラストや写真・図版を示している。</li> <li>・運筆の筆先や筆圧を示すために、朱墨や、イラスト、擬態語を用いている。</li> <li>・ユニバーサルデザインの視点から、支援が必要な生徒への配慮をしている。</li> </ul>

調査研究報告書 ⑤  
社会(地理的分野)

発行者の番号略称	書名	内容	構成・分量・装丁	表記・表現
2 東書	新しい社会 地理	<p>【知識・技能】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・巻末に「統計資料」「用語解説」「農産物」などを掲載している。</li> <li>・「スキル・アップ」のページで、地理的分野の学習に必要な技能を習得するための課題を設定している。</li> </ul> <p>【思考・判断・表現】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・思考ツールやパフォーマンス課題を掲載している。</li> <li>・単元を通して考える「探究課題」を示し、単元末ではまとめの仕方等を示している。</li> <li>・単元末に現代の地域的課題を考えるページを掲載している。</li> </ul> <p>【主体的に学習に取り組む態度】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・章の導入ページに、小学校の学習の振り返りを掲載し、既習事項を生かして学習の見通しを立てられるようにしている。</li> <li>・関東地方の学習のまとめでは、「帰宅難民」を取り上げ、災害時を例に、学習したことと生活をつなげて考えられるようにしている。</li> </ul> <p>【かわさき教育プラン】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・生徒が興味をもって学習できるよう、SDGsなどの社会的状況を踏まえた題材を取り上げている。</li> <li>・東京大都市圏にかかわって川崎に身近な京急線の資料を掲載している。</li> </ul>	<p>【主体的・対話的で深い学びに関わる構成】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・単元ごとに課題解決に向けてスモールステップで学習できるように構成している。</li> <li>・各見開きページで、「導入資料」「学習課題」「本文」「チェック&amp;トライ」など、学習の流れを統一している。</li> <li>・「Dマーク」を各所に設置し、二次元コードからインターネットで調べられるようにしている。</li> </ul> <p>【分量・装丁】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・AB判を採用している。</li> <li>・資料や解説文、本文のスペースを確保し、量のバランスを配慮して掲載している。</li> </ul>	<p>【読みやすさの工夫】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ユニバーサルデザインフォント、フラットデザインを使用し、ふりがなにはゴシック体を使用している。</li> <li>・本文と見分けやすくするため、資料部分の背景に色を付けている。資料の凡例についても図中に直接示している。</li> <li>・まとめのページにおいて、問いや気づきのポイントでキャラクターを使用している。</li> </ul>
17 教出	中学社会 地理 地域にまなぶ	<p>【知識・技能】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・「学習のまとめと表現」で単元で学習した知識にかかわる部分を確認できるようにしている。</li> <li>・資料の活用を支援する「地理の技」を掲載している。</li> <li>・学習の連続性を示すため、見開き右ページ下に「関連」マークを示し、関連内容を掲載している。</li> </ul> <p>【思考・判断・表現】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・導入やまとめで、自らの考えをまとめ、様々な方法で表現するような課題や問いを掲載している。</li> <li>・各章などの終末に掲載されている「学習のまとめと表現」のページで、各章・節の導入で提示した「学習テーマ」等に対して取り組む課題を設定している。</li> </ul> <p>【主体的に学習に取り組む態度】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・主体的に取り組めるよう、単元ごとにテーマや課題を明示し、1時間の授業の学習課題も設定している。</li> <li>・生徒が興味をもって学習できるよう、特設ページでは、現代の諸課題等を取り上げている。</li> </ul> <p>【かわさき教育プラン】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・巻頭でSDGsの項目を示し、地球的課題との関連を示し、世界の各州の学習で意識できるようにしている。</li> <li>・防災について、地域調査との関連を深め、地域で取り組んでいくことが大切であるという内容を掲載している。</li> </ul>	<p>【主体的・対話的で深い学びに関わる構成】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・「地理にアプローチ」などを通じて、小学校の知識を振り返りながら、学習を深められる構成としている。</li> <li>・各時間に学習課題と「確認！」「表現！」を掲載し、課題の確認と振り返りをできるようにしている。</li> <li>・学習に役立つ情報を見ることができるよう、単元のはじめに「まなびリンク」と二次元コードを掲載している。</li> </ul> <p>【分量・装丁】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・AB判を採用している。</li> <li>・学習の見通しがつきやすいよう、1時間を見開き2ページで構成している。</li> </ul>	<p>【読みやすさの工夫】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ユニバーサルデザインフォントを使用している。</li> <li>・学習の全体を把握し、読み取りやすくするために、各州・各地方の学習の導入で、1/2から2/3ページの大きさの世界地図を掲載している。</li> <li>・学習の問いの場面や見方・考え方の例、考察の場面でキャラクターを使用している。</li> </ul>
46 帝国	社会科 中学生の 地理 世界の姿と日本の 国土	<p>【知識・技能】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・学習内容の定着のために、章末や節末ごとに振り返りを掲載している。</li> <li>・「技能をみがく」では、資料の使い方や調べ方等、社会科の技能について説明している。</li> </ul> <p>【思考・判断・表現】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・見開き2ページで学習課題と対応させた「確認しよう」「説明しよう」のコーナーを設けている。</li> <li>・巻頭の「この教科書の学習のしかた」で、学習の見通し、振り返りの流れ等を示している。</li> <li>・章や節のまとめに『「地理的な見方・考え方」を働かせて説明しよう』のコーナーを設け、思考力、判断力、表現力のマークを示している。</li> </ul> <p>【主体的に学習に取り組む態度】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・発達段階に即し、メジャーリーグ等生徒が興味をもつ題材を取り上げている。</li> <li>・単元の内容をイメージしやすいよう、日本の諸地域の導入で、地図とともに各産品や伝統的な行事を掲載している。</li> </ul> <p>【かわさき教育プラン】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・各地域の写真資料を掲載して、暮らしの様子や移り変わり等を示している。</li> <li>・巻頭でSDGsについて見開きで記載している。コラムにSDGsマークを付けるなど、各所でSDGsを意識できるようにしている。</li> </ul>	<p>【主体的・対話的で深い学びに関わる構成】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・「身近な地域の調査」では、生徒が多面的・多角的に分析できる構成にしている。</li> <li>・各州、各地域の「ふりかえり」に、基礎的・基本的な知識の確認と、「説明」を求める内容を掲載している。</li> <li>・動画等を見ることができるよう、二次元コードを章や節の導入で記載している。</li> </ul> <p>【分量・装丁】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・AB判を採用している。</li> <li>・使いやすいように、統一したレイアウトで資料や文章を掲載している。資料や文章の量もバランスをとっている。</li> </ul>	<p>【読みやすさの工夫】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ユニバーサルデザインフォントを使用し、色覚特性に配慮した色づかいにしている。</li> <li>・キャラクターが問いの答えを導くヒントの役割をしている。</li> <li>・見開きの右にインデックスがあり、全体の中でどの部分を学習しているかを確認できるようにしている。</li> </ul>

発行者の番号略称	書名	内容	構成・分量・装丁	表記・表現
116 日文	中学社会 地理的分野	<p><b>【知識・技能】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・「学習のまとめ」では、既習事項を振り返ることで知識を整理できるようにしている。</li> <li>・学習内容の理解を深めるコラム「地理＋α」を掲載している。</li> <li>・地理の学習を進める上で必要な技能を身に付ける「スキルUP」を各所に掲載している。</li> </ul> <p><b>【思考・判断・表現】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・世界の諸地域と、日本の諸地域では、地域的な特色を追究するためのテーマと地球的課題（世界）、社会的課題（日本）を掲載している。</li> <li>・「アクティビティ」「チャレンジ地理」では、単元のテーマや学習内容等に関連して、「見方・考え方」を働かせて考える課題や説明等を示している。</li> </ul> <p><b>【主体的に学習に取り組む態度】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・興味をもったことに対して主体的に取り組めるよう、「自由研究」のページを掲載している。</li> <li>・章の導入で小学校で学習した内容を掲載して、既習を生かして学習に取り組めるようにしている。</li> </ul> <p><b>【かわさき教育プラン】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・自然災害に対する防災・減災に対する考え方や、具体的な取組を示したページを掲載している。</li> <li>・日本の諸地域の学習の振り返りでSDGsの項目を示すなど、各所で持続可能な社会を意識できるようにしている。</li> </ul>	<p><b>【主体的・対話的で深い学びに関わる構成】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・世界の諸地域と日本の諸地域では、テーマや課題を章の導入で示し、章末に章全体を振り返るページを掲載している。</li> <li>・巻頭に「地理的な見方・考え方」を整理したものを掲載している。また、章のはじめに「主に着目する見方・考え方」、見開きページでも「見方・考え方」を示している。</li> <li>・デジタル資料を見ることができるよう、各所にデジタルマークを掲載している。</li> </ul> <p><b>【分量・装丁】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・AB判を採用している。</li> <li>・写真と文章のバランスをとって掲載している。</li> </ul>	<p><b>【読みやすさの工夫】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ユニバーサルデザインフォントを採用し、重要語句は太いフォント、ルビにはゴシック体を用いている。</li> <li>・ポイントの説明や問いなどでキャラクターを掲載している。</li> <li>・章ごとにインデックスを示し、色分けをしている。</li> <li>・ページ下部に他分野とのかかわりを掲載している。</li> </ul>

# 調査研究報告書 ⑤

## 社会(歴史的分野)

発行者の番号 略称	書名	内容	構成・分量・装丁	表記・表現
2 東書	新しい社会 歴史	<p>【知識・技能】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>幅広い知識の習得に向け、「もっと歴史」ページでは、様々な立場の人を取り上げている。</li> <li>用語については、巻末の「用語解説」で補足説明を掲載している。</li> <li>「チェック」「トライ」では調べたり、知識を確認したりする問いを掲載している。</li> </ul> <p>【思考・判断・表現】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>学習課題の解決に向けて、「見方・考え方」「考える」などのコーナーを示し、考えさせるような構成にしている。</li> <li>章末で、章の課題や節の課題について、多面的・多角的に考察し、課題解決ができるような掲載にしている。</li> <li>くらげチャート、Xチャート、Yチャート、ピラミッドストラクチャ等、多様な思考ツールを示している。</li> </ul> <p>【主体的に学習に取り組む態度】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>「歴史のまとめ」では、持続可能な社会の実現に向けてテーマを設定するなど、地理や公民へのつながりを示している。</li> <li>単元の導入ページには、興味関心を高めるために、絵画、写真、年表などを掲載している。</li> </ul> <p>【かわさき教育プラン】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>「地域の歴史を調べよう」では、福岡市、福井市、会津若松市、神戸市、台東区、墨田区、広島市を掲載している。</li> </ul>	<p>【主体的・対話的で深い学びに関わる構成】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>時代の特色をとらえやすくするために、章の課題である探究課題、節の課題である探究のステップ、各授業の学習課題を設定している。</li> <li>「節の課題を解決しよう」「〇〇の探究課題を解決しよう」では、単元で学んだことをまとめられるようにしている。</li> <li>二次元コードを掲載し、関連ページにDマークを示して、インターネットを使った学習をできるようにしている。</li> </ul> <p>【分量・装丁】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>本文は見開き2ページで1つの学習単位になるよう掲載している。</li> <li>年表について、巻末の綴じ込みや、章の扉、各ページの下部などに掲載している。</li> </ul>	<p>【読みやすさの工夫】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>各章の扉やまとめで、キャラクターが学習課題について提示や疑問、解説などを行っている。</li> <li>章ごとに配色を変えるなど、ユニバーサルデザインを意識している。</li> <li>世界遺産、国宝、重文などのマークを使用している。</li> </ul>
17 教出	中学社会 歴史 未来をひらく	<p>【知識・技能】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>「歴史を探ろう」では、その時代の歴史の動きや、人々の生活の様子を掲載している。</li> <li>用語解説を同じページの側注に掲載している。</li> <li>「学習のまとめと表現」では、年表を読み取り、知識の確認ができるような問いを設定している。</li> </ul> <p>【思考・判断・表現】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>各章の導入の「学習を始めよう」のページでは、絵画の資料から時代を概観し、変化や特色を考える設問を掲載している。</li> <li>節ごとに課題を設定し、見開き左ページに年表のモノサシを示すことで、流れや区分を意識しながら学習できるようにしている。</li> <li>「確認!」「表現!」を各ページに掲載し、思考を深めたり、表現を工夫したりできる問いを設定している。</li> </ul> <p>【主体的に学習に取り組む態度】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>「現代」の学習や「歴史学習の終わりに」において、公民との接続も踏まえ、現代の課題を示している。</li> <li>第1章の「歴史のとらえ方・調べ方」では、小学校の既習事項を生かしながら、課題設定の仕方、資料の集め方、発表の仕方等を掲載している。</li> </ul> <p>【かわさき教育プラン】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>「身近な地域を調べよう」では、鎌倉市、川崎市を掲載している。</li> </ul>	<p>【主体的・対話的で深い学びに関わる構成】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>節ごとに学習課題を掲載し、その節の終わりに「〇節をとらえる」という課題を掲載している。</li> <li>各章のはじめに「まなびリンク」を設け、二次元コードとURLを掲載している。</li> <li>章末の「学習のまとめと表現」では、日本と世界の歴史の移り変わりがわかる年表と、章を振り返る問いを掲載している。</li> </ul> <p>【分量・装丁】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>見開き2ページごとに学習課題を設定している。</li> <li>年表を巻末の綴じ込みで掲載し、章扉と各見開きページの学習課題の上部に掲載している。</li> </ul>	<p>【読みやすさの工夫】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>キャラクターが歴史的な見方・考え方を働かせて学習している様子を掲載している。</li> <li>章ごとにタイトルの背景色を変えるなど、ユニバーサルデザインを考えた掲載をしている。</li> <li>世界遺産、国宝、重要文化財などのマークを使用している。</li> </ul>
46 帝国	社会科 中学生の歴史 日本の歩みと世界の動き	<p>【知識・技能】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>「歴史を探ろう」では、その時代の当時の様子や海外とのかかわりなど、単元の学習にかかわる内容を掲載している。</li> <li>用語解説を同じページの側注に掲載している。</li> <li>「章の学習を振り返ろう」では、年表をもとに調べたことや知識を確かめる問いを用意している。</li> </ul> <p>【思考・判断・表現】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>「多面的・多角的に考えてみよう」のコーナーでは、一つのテーマに複数の人の意見を掲載し、どの意見に共感するか意見を書かせる内容を掲載している。</li> <li>各章のまとめにある「歴史的な見方・考え方を働かせて時代の特色を説明しよう」では、単元の学習を振り返り、時代の特色を考える問いを掲載している。</li> <li>「確認しよう」「説明しよう」では、課題を解決するための手立てを示したり、表現活動したりする問いを掲載している。</li> </ul> <p>【主体的に学習に取り組む態度】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>巻末の「未来に向けて」では、歴史的な経緯を踏まえて社会的な課題について考える活動を掲載している。</li> <li>意欲的に学習に取り組めるよう、「タイムトラベル」のページでは、時代の特色を示す絵画や写真等を掲載している。</li> </ul> <p>【かわさき教育プラン】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>「歴史を探ろう」では、世界に開かれた港として横浜を掲載している。また、生糸で財を成した横浜商人として原善三郎と、三溪園を掲載している。</li> </ul>	<p>【主体的・対話的で深い学びに関わる構成】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>各章の課題、各節の課題、各授業の課題を記載し、課題を追究できる構成にしている。</li> <li>章の学習を振り返ろうのページでは、時代の特色を説明するための手立てとして、考えを整理し、話し合いを通して自分の考えを深める構成にしている。</li> <li>二次元コードを掲載し、学習の理解を助ける動画などのコンテンツを利用できるようにしている。</li> </ul> <p>【分量・装丁】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>本文は見開き2ページで1つの学習単位になるよう掲載している。</li> <li>巻末に綴じ込みの年表を掲載するとともに、見開き右ページの端に年表を掲載している。</li> </ul>	<p>【読みやすさの工夫】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>キャラクターの吹き出しが「～かな?」と子どもの疑問形にして思考を促すようにしている。</li> <li>ユニバーサルデザインを踏まえ、章ごとにタイトルやページ数の背景色を統一している。</li> <li>ページの下部では、小学校の学習や地理、公民との関連の事項を示している。</li> </ul>

発行者の番号 略称	書名	内容	構成・分量・装丁	表記・表現
81 山川	中学歴史 日本と世界	<p>【知識・技能】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・「コラム」では、その時代の理解をより深める内容を掲載している。</li> <li>・「用語解説」のコーナーでは、見開きの学習内容の中で押さえておきたい用語等について、側注で説明している。</li> <li>・「〇世紀の世界」では、世界地図と各地の様子を示すイラストを掲載し、世界の中の日本の歴史という視点を意識できるようにしている。</li> </ul> <p>【思考・判断・表現】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・歴史が変化する過程で起きる諸課題や、それらの解決に向けた動き、歴史的事象の意義などを考えるよう、黄色枠の発問を掲載している。</li> <li>・「ステップアップ」では、見開き2ページの課題を学び、さらに考えを深めていくような問いを掲載している。</li> <li>・章末の「まとめ」では、多面的・多角的に考えたり、各時代を比べたり、時代の変化を考えたりできるような問いを掲載している。</li> </ul> <p>【主体的に学習に取り組む態度】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・「身近な地域を調べよう」では、調査の順序、注意事項等を示し、生徒が主体的に取り組む様子を掲載している。</li> <li>・章扉のページでは、時代を概観し興味関心を高められるよう、年表や資料を掲載している。</li> </ul> <p>【かわさき教育プラン】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・「地域からのアプローチ」では、奈良、福岡、平泉、金沢、札幌、広島を掲載している。</li> </ul>	<p>【主体的・対話的で深い学びに関わる構成】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・章扉で各単元の時代や場所を確認し、章まとめて復習・確認を行う構成にしている。</li> <li>・見開き2ページの学習において、学習課題を2つ掲載しているところがある。</li> <li>・各所にホームページや動画を見られるよう「くわしく見てみよう」のマークと共に二次元コードを示している。</li> </ul> <p>【分量・装丁】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・写真や資料の掲載量に比べ、文章での説明を詳しく掲載している。</li> <li>・章扉の年表では、見開き2ページにわたって、単元で取り上げる時代の日本と世界の動きについて、写真資料等とともに掲載している。</li> </ul>	<p>【読みやすさの工夫】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・地図、グラフなどは、カラーユニバーサルデザインを考慮し作成している。</li> <li>・「歴史との対話」では中学生のキャラクターが地域の調査活動をする様子を掲載している</li> <li>・「コラム」や「人物」マークをつくり、多数紹介している。</li> <li>・本文は常体で記述している。</li> </ul>
116 日文	中学社会 歴史的分野	<p>【知識・技能】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・「確認」では、学習課題を踏まえて、学んだ内容の復習ができるようにしている。</li> <li>・用語の解説として「基本用語」のコーナーを掲載している。</li> <li>・単元末の「学習の整理と活用」では、単元で調べたことや学んだことを、年表や地図で整理して確認できるような問いを掲載している。</li> </ul> <p>【思考・判断・表現】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・「学習の整理と活用」において、複数の問いと、生徒が自らの考えをまとめ、様々な方法で表現するような活動を掲載している。</li> <li>・「深めよう」では、「見方・考え方」を働かせ、考えたり表現したりする活動を促す問いを示している。</li> <li>・「見方・考え方」では、学習課題の解決に向けて着目する点を掲載している。</li> </ul> <p>【主体的に学習に取り組む態度】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・『「歴史との対話」を未来に活かす』では、災害の歴史や政治参加、世界平和の取組などを具体例として掲載し、公民的分野とのつながりを掲載している。</li> <li>・編の導入では、編のめあてや時代の特徴を示す資料、その時代の世界地図と年表を掲載し、学ぶ時代を概観し、見通しをもてるようにしている。</li> </ul> <p>【かわさき教育プラン】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・「でかけよう！地域調べ」では、奈良市、福山市、姫路市、富岡市、大阪市、北九州市を取り上げている。</li> </ul>	<p>【主体的・対話的で深い学びに関わる構成】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・編の導入で編のめあてを提示し、編末の「アクティビティ」でまとめができるように構成している。</li> <li>・デジタルコンテンツを利用できるよう、巻頭に二次元コードを示し、各所にデジタルマークを掲載している。</li> <li>・「チャレンジ歴史」では、複数の資料をもとに、歴史について自分で考えたり、対話したりして学べる活動を示している。</li> </ul> <p>【分量・装丁】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・1時間の学習で、見開き2ページだけでなく、3ページ、4ページと続く内容のものも複数掲載している。</li> <li>・巻末に折込で日本と世界の年表を掲載するとともに、教科書右ページの端に年表を記載し、時代の流れを意識して学習できるようにしている。</li> </ul>	<p>【読みやすさの工夫】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・キャラクターが登場し、様々な投げかけをしている。</li> <li>・ユニバーサルデザインのフォントを使用したり、色覚特性のある生徒も見分けたりしやすいようにしている。</li> <li>・世界遺産マーク、国宝マーク、小学校マークなどのマークを使用している。</li> </ul>
227 育鵬社	[最新]新しい日本の歴史	<p>【知識・技能】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・「学習のまとめ」では、単元で学習した内容の理解に向けて、確認するための問いを掲載している。</li> <li>・重要語句の意味を簡潔に確認できるように、教科書の側注に説明を掲載している。</li> <li>・人物の活躍を詳しく理解できるよう、「なでしこ日本史」や「人物クローズアップ」などのコラムを掲載している。</li> </ul> <p>【思考・判断・表現】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・各時代の「学習のまとめ」のページでは、時代を年表で整理し、地図や資料の読み取りを通して、時代像を捉えられるようにしている。</li> <li>・「歴史のターニングポイント」のページでは、歴史的事象に対して、様々な立場から考え、話し合い、表現できるような課題等を掲載している。</li> <li>・「歴史ズームイン」や「歴史ビュー」では、内容にかかわる事項について様々な視点からの解説や事象についての詳しい説明を掲載している。</li> </ul> <p>【主体的に学習に取り組む態度】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・時代をとらえ、興味や関心を高めるために、章の導入では各時代の特色がわかる絵画「歴史絵巻」を掲載している。</li> <li>・主体的に歴史を学習できるよう、序章では小学校で学んだ歴史の流れを振り返り、人物の似顔絵や、年代区分などを掲載している。</li> </ul> <p>【かわさき教育プラン】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・第4章の導入では「横浜の開港」についての特集を掲載している。</li> </ul>	<p>【主体的・対話的で深い学びに関わる構成】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・各章の導入で時代の特色を示す資料と、「〇〇な時代！」と時代の特色を簡潔に表現した言葉を掲載している。</li> <li>・「鳥の目で見ると〇〇」では、単元の大きな流れを把握できるよう、イラストで時代の流れを掲載している。</li> <li>・「歴史人物Q&amp;Aカードをつくろう」では生徒が考えを交流しながらカード作りを行う様子を掲載している。</li> </ul> <p>【分量・装丁】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・見開き2ページのテーマには教科書全体での通し番号を付けている。</li> <li>・巻末に折込で日本と世界の主な出来事を示した年表を、各章の導入でその時代にかかわる部分の年表を示している。</li> </ul>	<p>【読みやすさの工夫】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・キャラクターの言葉で、資料からわかることや、疑問、解説等を載せている。</li> <li>・色覚の個人差に留意して、図版やイラスト等の色彩や形等を配慮している。</li> <li>・章の導入等で、問いと連動して資料を読み取れるよう、図版を見開きで掲載している。</li> </ul>

発行者の番号 略称	書名	内容	構成・分量・装丁	表記・表現
229 学び舎	ともに学ぶ人間の 歴史	<p>【知識・技能】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・「第〇章をふりかえる」では、学習内容を確認するため、章の学習で取り上げた事象について振り返る問いを掲載している。</li> <li>・重要語句の意味を簡潔に確認できるように、教科書の側注に説明を掲載している。</li> <li>・歴史的事象についてより理解できるよう、各所にコラムを掲載している。</li> </ul> <p>【思考・判断・表現】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・「学習のまとめ」では、学習したことを関連させたり、比較したりして、意見を交換して考えを深められるような課題を掲載している。</li> <li>・「学習のまとめ」では、時代の変化や特色について考え、発表する課題や、グループでの発表の例、発表のメモの例等を掲載している。</li> </ul> <p>【主体的に学習に取り組む態度】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・単元の学習の見通しをもてるよう、章の扉で世界地図を掲載し、その時代の特徴を示す写真等の資料を世界地図と関連付けて配置している。</li> <li>・各見開きページに、学習内容の中心となる図版を掲載し、発見や疑問から授業を始められるようにしている。</li> <li>・生徒の関心を高めるため、歴史的事象について、産業などの人々の営みの視点からの記述を掲載している。</li> </ul> <p>【かわさき教育プラン】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・歴史への案内では、羽村市、小平市を掲載している。</li> </ul>	<p>【主体的・対話的で深い学びに関わる構成】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・章扉で章の課題を提示し、見開き2ページの各授業で課題を設定し、章末で章のまとめをして、時代を大きくとらえるようにしている。</li> <li>・「学習のまとめ」では章全体を振り返る形で課題解決を行うようにしている。</li> </ul> <p>【分量・装丁】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・見開き2ページごとに学習課題を示し、一つのテーマで学ぶことができるようにしている。</li> <li>・A4判を採用している。</li> </ul>	<p>【読みやすさの工夫】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・地図やグラフなどは、カラーユニバーサルデザインを考慮して作成している。</li> <li>・教科書をA4判としていることから、世界史にかかわる資料など、多様な資料を掲載している。</li> <li>・本文では太字の語句を用いずに表現している。</li> </ul>

# 調査研究報告書 ⑤

## 社会(公民的分野)

発行者の番号 略称	書名	内容	構成・分量・装丁	表記・表現
2 東書	新しい社会 公民	<p>【知識・技能】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>見開きの学習内容ごとに、用語の理解を確かめる「チェック」、概念的理解を問う「トライ」のコーナーを設けている。</li> <li>単元ごとの「基礎・基本のまとめ」のページで、単元で押さえておきたい用語をチェックボックス付きで示している。</li> <li>「スキル・アップ」では、「集める」「読み取る」「まとめる」の3つの視点で情報を活用する活動を掲載している。</li> </ul> <p>【思考・判断・表現】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>「見方・考え方」のコーナーで、社会的事象について比較・関連付けて考察する活動等を示している。</li> <li>単元の導入やまとめを中心に、ウェビングやトゥールミン図式、Yチャート、ステップチャート等の様々な思考ツールを示している。</li> <li>単元の「まとめの活動」のページで、単元の探究活動に関連する現代社会の課題について、「対立と合意」「効率と公正」の見方・考え方を働かせて考察する活動を掲載している。</li> </ul> <p>【主体的に学習に取り組む態度】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>「だれを市長に選ぶ？」や「コンビニエンスストアの経営者になってみよう」など、単元の導入に具体的な活動を示している。</li> <li>「18歳のステップ」のページで、選挙権年齢の引き下げに関わる選挙の具体的な流れや契約のルールを説明している。</li> </ul> <p>【かわさき教育プラン】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>巻頭や「地球社会と私たち」の導入の活動でSDGsに関する取組を掲載している。</li> <li>「労働環境の変化と課題」では、障がいのある人たちの雇用の事例として、川崎市の企業を掲載している。</li> </ul>	<p>【主体的・対話的で深い学びに関わる構成】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>単元を見通す課題を「探究課題」、節のまとめごとの課題を「探究のステップ」、各時間ごとの課題を「学習課題」としている。章のまとめに、「探究のステップ」の問いの解決から「探究課題」の解決に向かうページを設ける構成にしている。</li> <li>探究課題は、「何ができるか」「どう関わるか」という問い方で統一して示している。</li> <li>「みんなでチャレンジ」のコーナーで、対話的な活動を示している。</li> <li>インターネットを使った学習ができるページには、「Dマーク」を示している。巻頭に二次元コードとURLを掲載している。</li> </ul> <p>【分量・装丁】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>巻末に関連法令集と用語解説を掲載している。</li> </ul>	<p>【読みやすさの工夫】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>キャラクターが登場し、学習を促す課題や発問、ポイント等を説明している。</li> <li>UDフォントを使用している。</li> <li>全ての生徒の色覚特性に適応するようにデザインしている。</li> <li>章ごとに見出しやページの色を変えてページを構成している。</li> <li>関連している資料には、地理的分野や歴史的分野との関連をマークで示している。</li> </ul>
17 教出	中学社会 公民 ともに生きる	<p>【知識・技能】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>見開きの学習内容ごとに、具体的な用語を踏まえて、学習したことを確かめる「確認！」のコーナーを設けている。</li> <li>単元ごとの「学習のまとめと表現」のページで、知識を確認する質問形式の問いを掲載している。</li> <li>公民のノートづくりの方法やメディアからの情報の読み取り方といった学習の手立てを示している。</li> </ul> <p>【思考・判断・表現】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>見開きページごとの「表現！」のコーナーで、各時間の学習内容を踏まえて表現する問いを示している。</li> <li>「公民の技」のコーナーでは、具体的な事例を通して、「対立と合意」「効率と公正」の見方・考え方を働かせて考察する活動等を掲載している。</li> <li>単元ごとの「学習のまとめと表現」のページで、単元を見通す課題についてキーワードを使って考察する活動を示している。</li> </ul> <p>【主体的に学習に取り組む態度】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>章ごとの「学習のはじめに」では、漫画等を使って具体的な事例から単元の学習の見通しを示している。</li> <li>「読んで深く考えよう」では、外交交渉、持続可能性を妨げる課題等、現代社会の課題について掲載している。</li> </ul> <p>【かわさき教育プラン】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>公民の導入として、巻頭にSDGsの説明を掲載している。見開き2ページごとにSDGsの目標との関連も示している。</li> <li>在日韓国・朝鮮人との交流の例として、川崎市での韓国・朝鮮の伝統芸能を披露する写真を掲載している。地方自治への住民参加の例として、川崎市の「外国人市民代表者会議」や「川崎市市民オンブズマン」を掲載している。</li> </ul>	<p>【主体的・対話的で深い学びに関わる構成】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>章ごとに単元を見通す課題である「全体のテーマ」、節ごとに節の課題、見開き2ページごとに「学習課題」を設定している。章のまとめに、全体のテーマについて考える活動を示している。</li> <li>「言葉で伝え合おう」のページでは、対話的な活動を示している。「学習のまとめと表現」のSTEP2では、思考ツールを用いた対話的な活動を示している。</li> <li>ウェブサイトで学習に役立つ情報を見られるように、各章の冒頭のページ右下に「まなびリンク」のマークとともに二次元コードを掲載している。</li> </ul> <p>【分量・装丁】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>巻末に日本国憲法と諸法令集、用語解説を掲載している。</li> </ul>	<p>【読みやすさの工夫】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>見開きページごとにキャラクターが登場し、学習課題の解決を補助問いを示している。</li> <li>UDフォントを使用している。</li> <li>より多くの人に見やすいカラーユニバーサルデザインに配慮している。</li> <li>章ごとに見出しやページの色を変えてページを構成している。見開きページの右下には、章の中のどの節かわかるようにインデックスを示している。</li> <li>地理的分野や歴史的分野との関連や小学校の学習内容との関連を見開きページの左下に示している。</li> </ul>
46 帝国	社会科 中学生の公民よりよい社会を目指して	<p>【知識・技能】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>見開きの学習内容ごとに、基本的な知識を確かめる「確認しよう」のコーナーを設けている。</li> <li>「章の学習を振り返ろう」のページで、知識を確認する質問形式の問いを掲載している。</li> <li>「技能をみがく」のコーナーで、思考ツールの使い方や資料の読み取り方等を示している。</li> </ul> <p>【思考・判断・表現】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>見開きの学習内容ごとに、「説明しよう」のコーナーで知識を活用して考察する活動を示している。</li> <li>「アクティブ公民」のページで、「対立と合意」「効率と公正」の見方・考え方を働かせて考察する活動を示している。</li> <li>「章の学習を振り返ろう」のページで、単元を見通す課題について、解決に向けた3段階の手立てを示している。</li> </ul> <p>【主体的に学習に取り組む態度】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>各部や章の導入にある「学習の前に」では、見開き2ページで、社会の様子を示したイラストを掲載し、部や章の学習内容と社会との関連を示している。</li> <li>「よりよい社会を目指して」や「未来にむけて」のコラムでは、共生社会や持続可能性、防災・減災を通じた社会参画等、現代社会の課題への取組について掲載している。</li> </ul> <p>【かわさき教育プラン】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>電気自動車の普及や「SDGs未来都市」について、神奈川県横浜市を事例地として取り上げている。</li> </ul>	<p>【主体的・対話的で深い学びに関わる構成】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>章ごとの「問い」、節ごとの「問い」、見開きの学習内容ごとに「学習課題」を設定している。章のまとめとして、「章の学習を振り返ろう」で課題の解決に向かうページを設ける構成にしている。</li> <li>「アクティブ公民」のページで、ロールプレイングやディスカッション、KJ法を活用した対話的な活動を示している。</li> <li>「Yes No」のコラムでは、社会に見られる課題における賛成・反対の意見例を示している。</li> <li>巻頭に二次元コードとURLを掲載している。各所に二次元コードを掲載している。</li> </ul> <p>【分量・装丁】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>巻末に日本国憲法や諸法令を掲載している。</li> </ul>	<p>【読みやすさの工夫】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>キャラクターが登場し、課題に対するヒントやポイント、補足の情報等を示している。</li> <li>UDフォントを使用している。</li> <li>カラーユニバーサルデザインに配慮している。</li> <li>章ごとに見出しやページの色を変えてページを構成している。</li> <li>SDGsに関連する項目をマークで示している。</li> </ul>

発行者の番号 略称	書名	内容	構成・分量・装丁	表記・表現
116 日文	中学社会 公民的分野	<p>【知識・技能】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>見開きの学習内容ごとに、学習内容の理解を問う「確認」のコーナーを設けている。</li> <li>各編末の「学習の整理と活用」のページで、単元で押さえておきたいキーワードを振り返る活動を掲載している。</li> <li>「情報スキルアップ」のページで、統計資料の扱い方やメディアリテラシーについて掲載している。</li> </ul> <p>【思考・判断・表現】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>見開きの学習内容ごとに「見方・考え方」や「深めよう」のコーナーを設け、「対立と合意」「効率と公正」「分業と交換」等の見方・考え方を働かせる活動を示している。</li> <li>各編の「学習の整理と活用」にシンキングツールを活用した活動を掲載している。</li> <li>単元ごとのまとめとして、「チャレンジ公民」を設け、見方・考え方を働かせて実社会の課題を考える活動を示している。</li> </ul> <p>【主体的に学習に取り組む態度】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>各編の導入として「学習の始めに」を設け、漫画を使って具体的な事例から単元の学習の見通しを示している。</li> <li>特設ページ「明日に向かって」では、選挙権年齢や成年年齢の引き下げに関わる、地域社会や将来の課題を考える活動を掲載している。</li> </ul> <p>【かわさき教育プラン】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>巻頭に公民の学習を貫く問いと関連して、SDGsを取り上げている。</li> <li>エネルギーの地産地消、体育巡回授業、プラスチックによる海洋汚染、視覚障がい者用防災マップについて、神奈川県小田原市、寒川町、横浜市を取り上げている。</li> </ul>	<p>【主体的・対話的で深い学びに関わる構成】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>見開き2ページの学習内容ごとに「学習課題」を設定している。編の始めに「学習の始めに」、まとめとして「チャレンジ公民」「学習の整理と活用」を設けている。</li> <li>「アクティビティ」のコーナーでは、事例や資料を基にした対話的な活動を示している。</li> <li>巻頭に二次元コードとURLを掲載している。各所にデジタルマークを掲載している。</li> </ul> <p>【分量・装丁】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>巻末に日本国憲法を含む「法令集」「用語解説」「類似用語集」を掲載している。</li> </ul>	<p>【読みやすさの工夫】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>キャラクターが登場し、課題に対するヒントやポイント、補足の情報等を説明している。</li> <li>UDフォントを使用している。</li> <li>カラーユニバーサルデザインに配慮している。</li> <li>章ごとにインデックスや見出し、ページの色を変えてページを構成している。</li> </ul>
225 自由社	新しい公民教科書	<p>【知識・技能】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>見開きの学習内容ごとに、「ここがポイント」のコーナーで、各時間の中で押さえるべきポイントを示している。</li> <li>章の終わりに「学習のまとめと発展」を設け、単元の最重要語句をチェック欄付きで示している。</li> <li>本文の学習内容を補足するため、「ミニ知識」のコーナーを設けている。</li> <li>「やってみよう」のコーナーでは、本文の学習内容に関連して、さらに調べることを提示している。</li> </ul> <p>【思考・判断・表現】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>「アクティブに深めよう」のページでは、思考ツールを用いて考察する活動や、単元を通してさらに考えを深める活動を示している。</li> <li>各章末の「学習のまとめと発展」のページで、「学習の発展」として、章の学習で取り上げた事象や関連する事象について考察したり、考察したことを文章で表現したりする活動を示している。</li> </ul> <p>【主体的に学習に取り組む態度】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>「もっと知りたい」のコーナーでは、章の学習内容に関連して、科学や芸術、政治参加や防災、人権問題、国際平和等、普段の生活とかかわりが深いことや、現代社会の課題について掲載している。</li> <li>終章の「課題の探求」では、現代社会に起きている問題や身近な話題等を取り上げ、レポート作成やディベート活動を示している。</li> </ul> <p>【かわさき教育プラン】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>「持続可能な日本と世界」の学習では、国連が掲げる「持続可能な開発目標(SDGs)」17項目を掲載している。</li> </ul>	<p>【主体的・対話的で深い学びに関わる構成】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>章の扉には、各章を見通した課題を文章で示している。</li> <li>見開き2ページで取り組む学習課題を、左ページに設定している。</li> <li>各章に「アクティブに深めよう」のページを設け、具体的な事例についての対話的な活動を示している。</li> <li>各章末の「学習のまとめと発展」では、最重要語句を手がかりに、語句の意味や理解した内容を説明する「3つの問題」に挑戦することを促している。</li> </ul> <p>【分量・装丁】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>巻末に日本国憲法を含む「法令集」を掲載している。</li> </ul>	<p>【読みやすさの工夫】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>キャラクターが登場し、課題に対するヒントやポイント、補足の情報等を説明している。</li> <li>明朝体やゴシック体を使用している。</li> <li>章ごとに見出し、ページ数の背景色やページ上部の帯の色を統一してページを構成している。</li> </ul>
227 育鵬社	[最新]新しいみんなの公民	<p>【知識・技能】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>見開きの学習内容ごとに、理解を進めるため、学習した用語を踏まえて説明するまとめの課題を設けている。</li> <li>各章末に「学習のまとめ」を設け、単元で押さえておきたい内容をチェックボックス付きで示している。</li> <li>「スキルアップ」のコーナーでは、ロールプレイングやディベート、KJ法等の方法を説明している。</li> </ul> <p>【思考・判断・表現】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>各章末の「〇〇のこれから」では、単元で学習したことを生かし、具体的な調査や資料を踏まえ、見方・考え方を働かせて考察する活動を示している。</li> <li>各章末の「学習のまとめ」では、「対立と合意」「効率と公正」「分業と交換」等の見方・考え方を働かせて実社会に見られる課題の解決に向けて考える言語活動を示している。</li> </ul> <p>【主体的に学習に取り組む態度】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>各章の導入に「〇〇の入り口」のページを設け、章全体の学習内容を捉えさせる言語活動を掲載している。</li> <li>「やってみよう」のページでは、社会参画や自己の将来を考える活動を掲載している。</li> <li>「学習を深めよう」のページでは、共生社会や防災・減災を通じた社会参画等、学習内容を深める事例の紹介や、現代社会の課題への取組について掲載している。</li> </ul> <p>【かわさき教育プラン】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>障がい者雇用を続ける企業の事例地として、神奈川県川崎市の企業を取り上げている。</li> <li>多文化共生社会や水素エネルギーの活用の事例地として、神奈川県横浜市を取り上げている。</li> <li>巻頭に公民の学習の導入としてSDGsとの関連を示している。</li> </ul>	<p>【主体的・対話的で深い学びに関わる構成】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>章の導入の「〇〇の入り口」のページでは、「学習するにあたって」のコーナーで単元の見通しを文章で示している。</li> <li>見開き2ページの学習内容ごとに課題を設定している。</li> <li>章末の「〇〇のこれから」のページでは、単元で学習したことを基に、思考ツール等を用いた対話的な活動を示している。</li> </ul> <p>【分量・装丁】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>巻末に日本国憲法を含む「法令集」や用語解説を掲載している。</li> </ul>	<p>【読みやすさの工夫】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>見開きページごとにキャラクターが登場し、学習を促す課題や発問、ポイント等を説明している。</li> <li>図版は色覚特性を踏まえて、色の使用や表示を配慮している。</li> <li>章ごとに見出しやページ、資料の背景の色を変えてページを構成している。</li> <li>地理的分野や歴史的分野との関連を見開き2ページのテーマの下にマークで示している。</li> </ul>

# 調査研究報告書 ⑤

## 社会(地図)

発行者の番号略称	書名	内容	構成・分量・装丁	表記・表現
2 東書	新しい社会 地図	<p>【知識・技能】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>アジア州、ヨーロッパ州、北アメリカ州では鳥瞰図を掲載している。</li> <li>巻頭に地図帳の使い方を示し、ポイントをイラストを使って説明している。</li> <li>環境・資源・エネルギー問題や人口・貧困問題など、現代的な諸課題について世界地図や写真等で掲載している。</li> </ul> <p>【思考・判断・表現】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>世界各地の気温や降水量の統計資料のページに、関連付けて考えるために植物や標高の資料を掲載している。</li> <li>歴史的分野や公民的分野と関連付けて考える資料やページを掲載し、該当部分にはマークを掲載している。</li> <li>国際社会の様々な課題を掲載したページと関連させて考えるよう、巻頭に見開き2ページでSDGsのマークと関連する写真を掲載している。</li> </ul> <p>【主体的に学習に取り組む態度】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>生徒が興味をもって学習できるように、東京オリンピックなど社会的状況を反映した題材を取り上げている。</li> <li>学習したこと踏まえ、社会の課題に主体的に取り組めるよう、現代社会の課題についての資料を掲載している。</li> </ul> <p>【かわさき教育プラン】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>巻頭のSDGsのページでは、見開きでSDGsと17のゴールについて写真を掲載して説明している。</li> <li>「東京中心部」のページには、都心部と周辺の地図を掲載し、川崎市も掲載している。</li> </ul>	<p>【主体的・対話的で深い学びに関わる構成】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>地理的分野の学習の流れに沿った構成としている。</li> <li>各所にジャンプマークを掲載し、他のページの多様な情報と関連付けて理解を深める構成としている。</li> <li>インターネットを使った学習に取り組めるよう、巻頭に「Dマーク」と二次元コード、URLを掲載している。該当箇所には「Dマーク」を掲載している。</li> </ul> <p>【分量・装丁】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>AB判を採用している。</li> <li>巻頭では折込で世界地図を、巻末では折込で日本の周辺の地図と各地の写真を掲載している。</li> </ul>	<p>【読みやすさの工夫】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>UDフォントを使用している。</li> <li>色覚特性がある生徒に配慮してカラーユニバーサルデザインに対応している。</li> <li>不要な陰影や立体感のあるデザインをなくして、シンプルなフラットデザインを採用している。</li> <li>統計ページにある帯グラフは、読み取りやすくするため、上位と下位で2色の色分けを行っている。</li> </ul>
46 帝国	中学校社会科地図	<p>【知識・技能】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>世界の各州で鳥瞰図を掲載している。</li> <li>世界の宗教・文化・言語・主食などの分布図を写真とともに掲載している。</li> <li>各所に「地図活用」のコーナーを設け、資料を読み取るポイントや活動を示している。</li> </ul> <p>【思考・判断・表現】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>世界の各州、日本の各地方の資料図について、比較しやすいように、地図を同縮尺で掲載している。</li> <li>「地図活用」のコーナーでは、地形や防災、歴史等の視点から、地形とそこにある施設の関係を考えたり、農産物が盛んな理由を考えたりする活動を示している。</li> <li>防災や環境等、テーマを設定して描かれた地図や資料を掲載している。</li> </ul> <p>【主体的に学習に取り組む態度】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>主体的に地図を活用できるよう、歴史や公民、修学旅行等、多目的に活用できるページを設けている。</li> <li>日本の各地方の資料や日本全図で防災の観点の資料やハザードマップの例等を掲載している。</li> </ul> <p>【かわさき教育プラン】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>「世界の環境問題」のページでは、SDGsへの関心を高めるため世界地図と共に、各地の現状や取組を掲載している。</li> <li>関東地方の「東京都周辺の地形」では、防災の視点から川崎市や二ヶ領用水を掲載している。</li> </ul>	<p>【主体的・対話的で深い学びに関わる構成】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>地理的分野の学習の流れに沿った構成としている。</li> <li>地域を深く学べるよう、一般図の中に、特色ある地域の立体地図を掲載している。</li> <li>コンテンツを見ることができるよう、巻頭と各ページのタイトル部分に二次元コードを掲載している。</li> </ul> <p>【分量・装丁】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>A4判を採用している。</li> <li>巻頭では折込で世界地図を、中盤に折込で写真とともに日本全図を掲載している。</li> </ul>	<p>【読みやすさの工夫】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>UDフォントを使用している。</li> <li>色覚特性に配慮した色づかいにしている。</li> <li>冊子自体のサイズ変更で地図が収まる範囲を大きくしている。</li> <li>統計ページにある帯グラフは、読み取りやすくするため、州や地方で色分けをしている。</li> </ul>

調査研究報告書 ⑤

数学

発行者の番号 略称	書名	内容	構成・分量・装丁	表記・表現
2 東書	新しい数学1 新しい数学2 新しい数学3	<p>【知識・技能】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・繰り返し学習して基礎的・基本的な知識や技能の定着が図れるよう巻末に「補充の問題」を設けている。</li> <li>・1年では、算数と数学をつなぐ章として0章を設けている。</li> <li>・巻末裏表紙に、前の学年の確認とあわせて「1年の確認」のページを設けている。</li> </ul> <p>【思考・判断・表現】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・学習する意味を意識できるよう章末の活用の問題では、実生活にあった問題を掲載している。</li> <li>・その単元で学習した内容を用いて、自分の考えを説明したり、他の考えと比較したりして問題解決をする場面として「深い学び」のページを設けている。</li> <li>・数学的な考え方を深められるように生徒の会話を通して、様々な考え方を提示している。</li> </ul> <p>【主体的に学習に取り組む態度】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・章の最初のページに身の回りの数学的事象を掲載して、また、その分野との関連性を視覚的に表している。</li> <li>・他教科との関連があるページには、「他教科関連マーク」で示している。</li> <li>・「学びをふり返ろう」では内容のまとめりに、学習を振り返りながら自分の言葉でまとめる活動ができる。</li> </ul> <p>【かわさき教育プラン】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・基礎的・基本的な知識や技能が習得できるよう、巻末に「補充の問題」を設定したり、「章の問題」をA・Bと段階別に設定している。</li> <li>・現代的な諸課題である「防災・安全」、「人権・多様性の尊重」、「オリンピック・パラリンピック」などSDGsに関連する題材を取り上げている。</li> </ul>	<p>【主体的・対話的で深い学び】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・問題発見・解決の過程を重視した数学的活動を示し、学び方の例として「問題をつかむ」、「見通しをたてる」、「問題を解決する」、「振り返る」、「深める」と示している。</li> <li>・「データの活用」領域の問題解決の方法として、データを生かした問題解決型の理解と、PPDACサイクルを意識した構成になっている。</li> <li>・「深い学び」のページで、話し合う中で課題を解決する活動を設定している。</li> <li>・動画やシミュレーションを見ることができる二次元コードを示している。</li> </ul> <p>【分量・装丁】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・基礎的・基本的な内容に重点を置いている。</li> <li>・B5判</li> </ul>	<p>【読みやすさの工夫】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・本文や「例」は「である」調で、「Q」や「問」など生徒が取り組む問題は「ですます」調で示している。</li> <li>・日常生活と結びやすい「節の導入」や「数学の窓」は、身の回りの具体物の写真を使い、工夫がある。</li> <li>・カラーユニバーサルを含むユニバーサルデザインを使用し、ユニバーサルフォントを使用している。</li> <li>・目次に既習との繋がりが示されている。また、索引では内容をイメージできる式や簡単な図などを掲載している。</li> </ul>
4 大日本	数学の世界1 数学の世界2 数学の世界3	<p>【知識・技能】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・節や項の導入では、生徒が見通しをもってその課題に取り組めるよう、「めあて」を設定している。</li> <li>・既習内容との繋がりを意識して学習できるページに「思い出そう」を掲載している。また1年では巻末に「小学校算数のふり返り」を設けている。</li> <li>・知識・技能の習得のため、「たしかめ」や「プラスワン」、「たしかめよう」、「補充問題」を掲載している。</li> </ul> <p>【思考・判断・表現】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・学習を振り返り、知識を定着、活用を図るため「学びにプラス」を掲載している。</li> <li>・課題解決の過程を振り返るノートの作り方を例示した「ノートの作り方」を掲載している。</li> <li>・既習を生かして、調べたり考えたりする学びを「活動」で示している。</li> </ul> <p>【主体的に学習に取り組む態度】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・学習内容に関連させながら、数学と日常とのつながりが意識できるよう「社会にリンク 発見！仕事のなかの数学」というページを設定している。</li> <li>・巻末の「課題学習」や「MATHFUL」では、日常の中の数学や他教科に関連する題材を示している。</li> <li>・章の導入ページの活動を通して、主体的に学習に取り組めるようにしている。</li> </ul> <p>【かわさき教育プラン】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・「プラスワン」や章末の「力をのばそう」、巻末の「補充問題」、「総合問題」といった習熟の程度に応じた問題がある。</li> <li>・数学が様々な職業で生かされていることについてのコラムを「社会にリンク」で掲載している。また、防災にかかわる課題や人権への配慮もある。</li> </ul>	<p>【主体的・対話的で深い学び】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・問題発見から解決に至るまでの一連の学習の流れ（「問題を見いだそう」「解決のしかたを探ろう」「解決しよう」「深めよう」）を巻頭で示している。</li> <li>・1年間の内容が切り取れる冊子としてまとめられ、次年度にも活用することで、単元でのつながりをもてるように工夫している。</li> <li>・統計的な問題解決の方法であるPPDACサイクルに沿って、数学的活動に取り組めるよう流れを記載している。</li> <li>・問題の表現として、「解き方が正しいか」、「どこが間違えているのか」といった問題が多くあり、根拠をもとに説明させるような工夫がある。</li> <li>・点や図形を動かすシミュレーションを中心に学習できるデジタルコンテンツを二次元コードで示している。</li> </ul> <p>【分量・装丁】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・章の色が領域ごとの色になっている。</li> <li>・B5判</li> </ul>	<p>【読みやすさの工夫】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・既習の用語や記号を、側注で示している。</li> <li>・色だけでなく、図の形を変えたり、番号等を付記したりして、色以外でも区別できるように配慮している。</li> <li>・章末の「たしかめよう」では、それぞれの学習したページを確認できるように、ページ数を明記している。</li> <li>・ユニバーサルデザインフォントを使用し、カラーユニバーサルデザインで示している。</li> <li>・目次に既習とのつながりが示されている。</li> </ul>
11 学図	中学校数学1 中学校数学2 中学校数学3	<p>【知識・技能】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・基礎的・基本的な知識や技能の定着を図るよう、各節に「確かめよう」の問題を設定している。</li> <li>・節の導入では、その課題の見方・具体化・単純化・類推・発展などの思考の方向性を、「！見方・考え方」で示している。</li> <li>・1年の「ふりかえり～算数から数学へ～」では、小学校での学びをまとめてあり、中学校での学習とのつながりを示している。また、本文中も「ふりかえり」を設けている。</li> </ul> <p>【思考・判断・表現】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・「数学的活動ページ」では、身の回りの事象の中から問題発見したり、考察したり、さらなる発見ができるように問題解決型の学びができるよう設定している。</li> <li>・伝える力や聞く力を身に付けさせるため、発表の仕方やレポートの例を掲載している。</li> <li>・生徒同士が話し合い、考えを深めやすくするように章末の「深めよう」を掲載している。</li> </ul> <p>【主体的に学習に取り組む態度】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・小学校の内容や全学年を振り返る題材がある。3年の内容には中学校の内容と関連のある高校数学の題材を取り上げていて、小中高の連続性を踏まえている。</li> <li>・本文中の「TeaBreak」で、日常の数学や疑問を取り上げるコラムを掲載している。</li> <li>・巻末の「さらなる数学へ」では、身近な問題を数学的活動を通して解決したり、自分の考えと他者の考えを比較・共有しながら思考を深めたりする場面を設定している。</li> </ul> <p>【かわさき教育プラン】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・章のまとめの問題を基本、応用、活用の3つに分類し、習熟度に応じて取り組めるよう設定している。</li> <li>・章末に「役立つ数学」というコラムを掲載している。また、章末の活用や「深めよう」では、関連する職業・仕事をページ下にマークを付けて示している。また、各学年巻末にSDGsと関連した課題を取り上げている。</li> </ul>	<p>【主体的・対話的で深い学び】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・目標を示し、その目標の前に問いを置くことで問題解決の見通しをもてる構成となっている。</li> <li>・各章に、ペアやグループで互いの意見を聞き合うなど協力して行う数学的活動を示している。</li> <li>・各学年、裏見返しに「プログラミングを体験してみよう」のページを設定し、論理的思考やICT活用 の場を設定している。また、1年でPPDACサイクルの流れに沿って学ぶページがある。</li> <li>・章末に、この章で何ができるようになったか自己評価できる構成になっている。</li> <li>・該当ページに二次元コードを示し動画やシミュレーションなどのコンテンツがある。</li> </ul> <p>【分量・装丁】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・巻末折込には、ホワイトボードマーカーで書いたり消したりできる「アイデアボード」が添付されている。</li> <li>・B5判</li> </ul>	<p>【読みやすさの工夫】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・数学的活動のページでは解決への手立てをページ左側に記載している。</li> <li>・本文や説明文は「である」調で、導入の問題は「～みましょう」、例や問は、「ですます」調で示している。</li> <li>・新出用語は、読み方を示している</li> <li>・ユニバーサルデザインに配慮し、写真、イラスト、図版、本文記述などカラーバリエーションとなるように示している。</li> <li>・目次に既習とのつながりが示されている。</li> </ul>

発行者の番号 略称	書名	内容	構成・分量・装丁	表記・表現
17 教出	中学数学 1 中学数学 2 中学数学 3	<p>【知識・技能】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・章のはじめに既習内容の確認をする「○章を学習する前に」、章末に「学習のまとめ」を設定し、基礎的・基本的な内容を確認できる工夫がある。</li> <li>・巻末に系統的に内容を確認するための手段として、前学年までの内容がまとめられた「学びのマップ」を設けている。</li> <li>・基礎的・基本的な知識や技能の定着を図るよう、節末に「基本の問題」を設定している。</li> </ul> <p>【思考・判断・表現】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・学習したことを活用する課題や多様な考え方で進められる課題では、問題解決や話し合い活動の過程について、生徒がイメージしやすいように学習のプロセスを記載している。</li> <li>・課題解決の過程を振り返るノートの作り方を例示している。</li> <li>・巻頭の「数学的な考え方」で具体的な事例をもとに、数学的な考え方の視点をまとめている。</li> </ul> <p>【主体的に学習に取り組む態度】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・導入「章のとびら」では、数学が日常や社会で利用されている例を取り上げ、数学を身近に感じることのできる工夫がある。</li> <li>・1年の1つ目の章として「整数の性質」を設定し、小学校からの繋がりをもたせている。</li> <li>・学ぶ必要性や大切さを実感できるように、「数学の広場」では日常生活や実社会に利用されている事例を掲載している。</li> </ul> <p>【かわさき教育プラン】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・基本の問題、章の問題、補充問題、実力アップ問題、総合問題など、習熟の程度に応じた問題を掲載している。</li> <li>・章のとびらでは、数学が日常生活や実社会に利用している事例を取り上げている。また、気候変動や貧困問題を取り上げ、SDGs教育として扱う題材も掲載している。</li> </ul>	<p>【主体的・対話的で深い学び】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・「問い」をもち、そこから学びが始まる構成で、問題解決のプロセス例を示している。章の導入と学習の振り返りがつながる構成となっている。</li> <li>・振り返る場面があり、既習内容を戻って確認することができる記載が側注にある。</li> <li>・「データの活用」領域では、各学年PPDACサイクルにしたがって学ぶことができるよう、その流れが可視化され設定されている。</li> <li>・二次元コードでは、シミュレーションや動画、補充問題などを設定している。</li> <li>・側注に「数学メモ」や「数学的な考え方」、既習とのつながりを示す「もどって確認」や関連ページ、デジタルコンテンツとつながる「まなびリンク」の表記など工夫をしている。</li> </ul> <p>【分量・装丁】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・章の導入をはじめ、学習の振り返りを示しておりスパイラルにつながる構成である。</li> <li>・B5判</li> </ul>	<p>【読みやすさの工夫】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ページ右側に資料や参考ページをまとめている。</li> <li>・キャラクターなどの「？」や「！」のマークが生徒の気づきに繋がっている。</li> <li>・カラーユニバーサルデザインやユニバーサルデザインフォントで示している。</li> <li>・目次に既習とのつながりが示され、索引では合わせて英語表記をしている。</li> <li>・「数学メモ」などで、問題のヒントや解説が書かれている。</li> </ul>
61 啓林館	未来へひろがる 数学 1 未来へひろがる 数学 2 未来へひろがる 数学 3	<p>【知識・技能】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・基礎的・基本的な内容の定着を図れるよう、繰り返し学習する「問」や巻末の「もっと練習しよう」を設定している。</li> <li>・自分の学習状況を記録することで、効率的に振り返り学習ができるよう、巻末に「学びのあしあと」を設けている。</li> <li>・1年では、算数と関連する内容に、「ふりかえり算数」(みんなで学ぼう編)を掲載したり、「算数をふりかえろう」(自分から学ぼう編)を掲載している。</li> </ul> <p>【思考・判断・表現】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・学ぶ良さを実感できるように、数学的な活動を重視した「学習のとびら」「節とびら」を設定している。</li> <li>・論理的に考える力が身に付くように、章末問題の「学びを身につけよう」や「自分から学ぼう編」の「力をつけよう」を設定している。</li> <li>・証明の問題では、見通しを立てることを促すような手立てを示している。</li> </ul> <p>【主体的に学習に取り組む態度】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・「ふりかえり」や「ひろげよう」で小中の連携を、「学びを生かそう」で中高の連携を系統的に示している。</li> <li>・身の回りで数学が活用されている場面を考える「数学ライブラリー」を文中に掲載している。</li> <li>・章の導入では、生徒が興味をもって学習が進めていけるよう、言語活動「話しあおう」を設定している。</li> </ul> <p>【かわさき教育プラン】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・「章末問題」は、基礎的内容の「学びをたしかめよう」と発展的内容の「学びを身につけよう」の2つに分け、個に応じた学びをすることができるように設定している。</li> <li>・他教科やSDGsと関連した内容を掲載している。</li> </ul>	<p>【主体的・対話的で深い学び】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・身の回りの問題発見から解決までを節の流れとして、「利用場面」、「ステップ1」、「ステップ2」、「ステップ3」と4段階で示している。</li> <li>・「説明しよう」、「話しあおう」という言語活動を通して、新たな問題提示や多様な考えのもと問題解決ができるようにしている。</li> <li>・「データの活用」領域では、PPDACサイクルの流れを掲載している。</li> <li>・二次元コードから、アニメーションや動画、シミュレーションのほかに、章末問題の解説付き解答を読み取りできる。</li> </ul> <p>【分量・装丁】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・「みんなで学ぼう編」と「自分から学ぼう編」の2部構成となっている。</li> <li>・B5判</li> </ul>	<p>【読みやすさの工夫】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・問題に対して挿絵が多く、イメージしやすくするための工夫をしている。</li> <li>・中学生同士の会話の中から問いを示している。</li> <li>・文章表現は、例やまとめ、命題は「ですます」調、「ひろげよう」や「学びをいかそう」では、「～しましょう。」などと表している。</li> <li>・ユニバーサルデザインフォントを採用し、色だけではなく番号なども明記しメディアユニバーサルデザインで示している。</li> </ul>
104 数研	日々の学びに数学的な見方・考え方をはたらかせる これからの 数学1 見方・考え方がはたらき、問題解決のチカラが高まる これからの 数学1 日々の学びに数学的な見方・考え方をはたらかせる これからの 数学2 見方・考え方がはたらき、問題解決のチカラが高まる これからの 数学2 日々の学びに数学的な見方・考え方をはたらかせる これからの 数学3 見方・考え方がはたらき、問題解決のチカラが高まる これからの 数学3	<p>【知識・技能】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・各章に入る前に「○を学習する前に」や文中に「ふりかえり」を設け、学習内容と関係する既習の内容を掲載している。</li> <li>・1年の巻末に小学校算数と合わせて振り返られるまとめのページを設けている。</li> <li>・学習内容の定着を図れるよう、節末に確認問題を設定している。</li> </ul> <p>【思考・判断・表現】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・数学的な見方・考え方が自然にはたらくように対話場面の掲載をしている。</li> <li>・課題解決の過程を振り返る「ノートのつくり方」や「レポートを書こう」を掲載している。</li> <li>・話し合いの場面を切り取った内容からどのように考えるかを答える発問がある。</li> </ul> <p>【主体的に学習に取り組む態度】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・日常生活に関わる内容を取り上げ、巻末の「数学旅行」では日常生活の中の数学に関連したコラムを設けている。</li> <li>・学んだことの活用や学びの発展の機会をもてるように探究ノートで、学びから発生する自然な疑問を扱った題材や日常生活の中にある課題を取り上げている。</li> <li>・対話の場面が多く様々な考え方をういているが、自分で考える場面が失われる可能性がある。</li> </ul> <p>【かわさき教育プラン】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・章末では「確認問題」、「問題A」と「問題B」に分かれ、巻末にはチャレンジ編「力をつけよう」「力をのばそう」を設け、習熟の程度に応じた問題を設定している。また、既習内容の応用・発展的な題材を別冊「探究ノート」で掲載している。</li> <li>・他教科やSDGsに関連した題材を掲載している。</li> </ul>	<p>【主体的・対話的で深い学び】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・話し合い活動から課題解決する活動を、「Q」や「TRY」で掲載している。</li> <li>・別冊「探求ノート」の課題学習は、日常生活に生かせる内容となっている。</li> <li>・「データの活用」領域では、導入で扱った例を深めていく繋がりで示している。また小学校との繋がりも触れ、PPDACサイクルを前提にして構成している。</li> <li>・二次元コードの該当ページには4種類(補充、資料、イメージ、考察)のマークで示され、動画やシミュレーション、統計ツールなどを設けている。</li> </ul> <p>【分量・装丁】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・基本的な問題は少ない。本冊「これからの数学」と別冊「探求ノート」の仕様になっている。</li> <li>・B5判 各学年2冊</li> </ul>	<p>【読みやすさの工夫】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・理解の助けになったり興味につながったりする図や写真を使っている。</li> <li>・イラストや吹き出しなどで生徒の気づきを支援している。</li> <li>・「例題」「問」「大切なところ」は、それぞれ色分けしている。</li> <li>・1年の問いの文末が「～しましょう」と表現している。</li> <li>・ユニバーサルデザインフォントを採用し、ユニバーサルデザインの視点で示している。</li> </ul>

発行者の番号 略称	書名	内容	構成・分量・装丁	表記・表現
116 日文	中学数学1 中学数学2 中学数学3	<p>【知識・技能】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>既習内容を振り返り、系統を意識しながら学習できるよう、章の前に「次の章を学ぶ前に」を掲載している。</li> <li>間違えたり誤解したりしやすい問題を、「まちがえやすい問題」とし典型的な誤答例を掲載している。</li> <li>1年の巻頭に「算数の確かめ」、巻末に「算数の確かめ【問題編】」を設けている。</li> </ul> <p>【思考・判断・表現】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>自分の考えを整理し、対話を通して学びを深めていけるように切り離して使えるワークシートがある。</li> <li>各章に方法や理由を説明する記述の問題を掲載し、事柄や事実、方法や手順、理由を数学的な表現を用いて説明する言語活動を示している。</li> <li>複数の表現方法や多様な考え方を扱うことで、根拠や理由をもって説明させる場面を設定している。</li> </ul> <p>【主体的に学習に取り組む態度】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>巻末にある対話シートを切り離したり、ノートやファイルに貼ったりできる仕様になっている。</li> <li>深い学びに対応した題材「学び合おう」を各学年複数設けている。</li> <li>数学が身近に感じられるように「数学を見つけよう」「章の扉」「数学のたんけん」「数学を仕事に生かす」「暮らしと数学」という様々な工夫がある。</li> </ul> <p>【かわさき教育プラン】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>巻末に「補充問題」、「算数の確かめ」、「総合問題」、「活用の問題」、「ステップアップ」など習熟の程度に応じた学びを設定している。</li> <li>他教科との関連や自然災害や環境問題、国際理解などESDやSDGsに関連する題材を掲載している。</li> </ul>	<p>【主体的・対話的で深い学び】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>節が1つの課題に対して「見通し」「個人思考」「集団思考」「まとめ」「次の学習」という流れで進められる構成になっている。</li> <li>グループ活動やペア活動を通して、それぞれの考え方、解法を整理しやすいように巻末に「対話シート」を掲載している。</li> <li>「データの活用」領域では、統計的な問題解決の方法であるPPDACサイクルの流れを可視化している。</li> <li>二次元コードに、アニメーションやシミュレーション、繰り返し練習できるフラッシュ計算などを設けている。</li> </ul> <p>【分量・装丁】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>穴埋め式のところがあり、大切なポイントを押さえることができる。</li> <li>B5判</li> </ul>	<p>【読みやすさの工夫】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>問題の見方や考え方のキーワードをキャラクターの吹き出しや会話で示している。</li> <li>めあてを色の違いで示している。</li> <li>本文は「ですます」調で示し、演習問題は「～しなさい。」、主体的な活動は「～しましょう。」と区別している。</li> <li>カラーバリアフリーやユニバーサルデザインを採用している。</li> <li>目次に既習とのつながりを示し、索引では英語表記をしている。</li> </ul>

調査研究報告書 ⑤

理科

発行者の番号 略称	書名	内容	構成・分量・装丁	表記・表現
2 東書	新しい科学1 新しい科学2 新しい科学3	<p>【知識・技能】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>「学習内容の整理」「確かめと応用」「確かめと応用活用編」を設定している。</li> <li>計算について、複数の例題と解説を掲載している。</li> </ul> <p>【思考・判断・表現】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>観察、実験などでは、重点的に探究を深める「探究をレベルアップ」を設定している。</li> </ul> <p>【主体的に学習に取り組む態度】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>問題意識をもって主体的に取り組めるよう、単元導入に「レッツ スタート！」を設けている。</li> <li>章ごとに振り返りができるよう、「Before&amp;After」を設定している。</li> </ul> <p>【かわさき教育プラン】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>「世界につながる科学」のコーナーでは、科学技術の紹介とともに、技術者へのインタビューを掲載している。</li> </ul>	<p>【主体的・対話的で深い学びに関わる構成】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>キャラクターの吹き出しが随所にあり、対話を通して探究する学習を例示している。</li> <li>巻頭の二次元コードにより、インターネットを活用した学習につながる「Dマーク」を掲載している。</li> </ul> <p>【分量・装丁】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>判型はA4スリム判を採用している。</li> <li>第3学年は5単元で構成している。</li> <li>世界の活火山分布(第1学年)、温帯低気圧3D(第2学年)、星座早見のペーパークラフト(第3学年)の付録がある。</li> </ul>	<p>【読みやすさの工夫】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>ユニバーサルデザインフォントを採用し、カラーユニバーサルデザインに配慮している。</li> <li>第1学年の文字サイズは、小学校との接続を考慮し、第2、3学年よりも大きいサイズを採用している。</li> <li>重要な語句を太字・ゴシック体・黒色で表記している。</li> <li>漫画による説明を掲載している。</li> </ul>
4 大日本	理科の世界1 理科の世界2 理科の世界3	<p>【知識・技能】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>「まとめ」「単元末問題」「読解力問題」を設定している。</li> <li>計算について、考え方の手順を「解答例」とともに掲載している。</li> </ul> <p>【思考・判断・表現】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>単元末に、これまでの学習をいかして探究を進める「探究活動」を設定している。</li> </ul> <p>【主体的に学習に取り組む態度】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>学習の連続性やつながりを意識させるよう、単元の初めに「これまでに学習したこと」「これから学習すること」を記載している。</li> <li>単元末に、課題を見つけて探究するよう「探究活動」を設定している。</li> </ul> <p>【かわさき教育プラン】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>単元の学習内容に関連する職業について紹介する「Professional」のコーナーを設けている。</li> </ul>	<p>【主体的・対話的で深い学び】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>キャラクターの吹き出しは、学習のヒントを例示している。</li> <li>巻頭の二次元コードにより、ウェブサイト「理科の世界WEB」を活用した学習ができるよう、マークを掲載している。</li> </ul> <p>【分量・装丁】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>判型はB5判を採用している。</li> <li>第3学年は6単元で構成している。</li> </ul>	<p>【読みやすさの工夫】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>ユニバーサルデザインフォントを採用している。</li> <li>第1学年の文字サイズは、小学校との接続を考慮し、第2、3学年よりも大きいサイズを採用している。</li> <li>重要語句を太字・ゴシック体・黒色で表記している。</li> </ul>
11 学図	中学校 科学1 中学校 科学2 中学校 科学3	<p>【知識・技能】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>「学びを日常にいかしたら」を設定している。「まとめ」「基礎問題」は二次元コード先のWEB上に掲載している。</li> <li>計算について、複数の例題を掲載している。</li> </ul> <p>【思考・判断・表現】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>観察、実験などを「探究」と設定し、学年ごとに主に重視する探究の学習課程の例を示している。</li> </ul> <p>【主体的に学習に取り組む態度】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>「なぜ理科を学ぶの?」「理科で何を学ぶの?」「理科を学ぶとどうなの?」「どうやって理科を学ぶの?」というステップや学びの考え方を解説する「理科のトリセツ」を巻頭に掲載している。</li> <li>各章の初めと終わりに、学習目標を示し、見通しと振り返りを助ける「Can-Do List」を掲載している。</li> </ul> <p>【かわさき教育プラン】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>学習内容に関連する職業の写真を随所に掲載している。</li> </ul>	<p>【主体的・対話的で深い学び】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>キャラクターの吹き出しが随所にあり、対話を通して探究する学習を例示している。</li> <li>発展的な内容や関連する内容のデジタルコンテンツにつながる二次元コードを掲載している。</li> </ul> <p>【分量・装丁】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>判型はAB判を採用している。</li> <li>第3学年は5単元で構成している。</li> <li>裏表紙に話し合いを促す、ホワイトボードを設けている。</li> <li>単元の番号を、学年-単元番号で掲載している。</li> </ul>	<p>【読みやすさの工夫】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>ユニバーサルデザインフォントを採用し、カラーユニバーサルデザインに配慮している。</li> <li>第1学年の文字サイズは、小学校との接続を考慮し、第2、3学年よりも大きいサイズを採用している。</li> <li>重要語句を太字・ゴシック体・黒色で表記している。</li> <li>タイトルの文字色と本文の文字色を変えて表記している。</li> </ul>

発行者の番号 略称	書名	内容	構成・分量・装丁	表記・表現
17 教出	自然の探究 中学理科1 自然の探究 中学理科2 自然の探究 中学理科3	<p>【知識・技能】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・「要点と重要用語の整理」「基本問題」「学年末総合問題」を設定している。</li> <li>・計算について、解き方を枠で囲み、算数の考え方と関連させた説明を掲載している。</li> </ul> <p>【思考・判断・表現】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・各内容は、仮説や計画を立て、観察、実験などを通して考察し、結論を示す探究の過程を設定している。</li> </ul> <p>【主体的に学習に取り組む態度】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・巻頭に、探究の過程の場面ごとの学習例を示した「探究の進め方」を掲載している。</li> <li>・学習の見通しと振り返りができるよう、章の初めに「学習前の私」、終わりに「学習後の私」を設定している。</li> </ul> <p>【かわさき教育プラン】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・「ハローサイエンス」のコーナーでは、日常生活や社会と関連する科学技術などの内容を掲載している。</li> </ul>	<p>【主体的・対話的で深い学びに関わる構成】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・キャラクターの吹き出しは、学習のヒントを例示している。</li> <li>・巻頭の二次元コードにより、学習に役立つデジタルコンテンツにつながる「まなびリンク」を掲載している。</li> </ul> <p>【分量・装丁】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・判型はAB判を採用している。</li> <li>・第3学年は5単元で構成している。</li> <li>・巻末に、生物カード(1年)、原子のモデルカード(2年)、星座早見シート(3年)の付録がある。</li> <li>・探究の進め方を確認できるよう、「探究の進め方」を巻頭に折り込んでいる。</li> </ul>	<p>【読みやすさの工夫】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ユニバーサルデザインフォントを採用し、カラーユニバーサルデザインに配慮している。</li> <li>・第1学年の文字サイズは、小学校との接続を考慮し、第2、3学年よりも大きいサイズを採用している。</li> <li>・重要語句を太字・ゴシック体・オレンジ色で表記している。</li> <li>・学習の流れが追いやすいように側注をなくし、縦方向レイアウトを採用している。</li> </ul>
61 啓林館	未来へひろがるサイエンス1 未来へひろがるサイエンス2 未来へひろがるサイエンス3	<p>【知識・技能】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・「基本のチェック」、「学習のまとめ」、「力だめし」をセットで設けている。</li> <li>・計算について、例題とその考え方を示し、練習問題を掲載している。</li> </ul> <p>【思考・判断・表現】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・単元末に、既習事項をもとに探究を深める「みんなで探Qクラブ」を設定している。</li> </ul> <p>【主体的に学習に取り組む態度】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・巻頭に、探究の過程と場面ごとの学習を説明した「探究の過程」を掲載している。</li> <li>・学習の見通しと振り返りができるよう、単元ごとに「学びの見通し」「学ぶ前にトライ！」「学んだあとにリトライ！」のコーナーを設定している。</li> </ul> <p>【かわさき教育プラン】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・理科の有用性が伝わるよう、「部活動ラボ」や「お仕事ラボ」など、身近な日常生活や職業に関連するコラムを随所に掲載している。</li> </ul>	<p>【主体的・対話的で深い学び】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・対話的な学習を促す「話し合ってみよう」や「みんなで解決」のコーナーを設定している。</li> <li>・発展的な内容や関連する内容のデジタルコンテンツにつながる二次元コードを掲載している。</li> </ul> <p>【分量・装丁】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・判型はAB判を採用している。</li> <li>・第3学年は5単元で構成している。</li> <li>・巻末に分野ごとの「探究シート」の付録がある。</li> </ul>	<p>【読みやすさの工夫】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ユニバーサルデザインフォントを採用し、メディアユニバーサルデザインに配慮している。</li> <li>・第1学年の文字サイズは、小学校との接続を考慮し、第2、3学年よりも大きいサイズを採用している。</li> <li>・重要語句を太字・ゴシック体・黒色にしている。</li> <li>・図や写真は上部、本文は下部にそろえたレイアウトを基本としている。</li> </ul>

# 調査研究報告書 ⑤

## 音楽(一般)

発行者の番号略称	書名	内容	構成・分量・装丁	表記・表現
17 教出	中学音楽 1 音楽のおくりもの 中学音楽 2・3上 音 楽のおくりもの 中学音楽 2・3下 音 楽のおくりもの	<p>【知識・技能】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>音楽を形づくっている要素についての説明を示し、楽曲を鑑賞しながら要素について学習する教材を掲載している。</li> <li>「歌うための準備」として、歌唱の技能について、姿勢や息のコントロール、母音の発音等を掲載している。</li> <li>新出の〔共通事項〕に示されている用語や記号を教材の中で示し、その説明を巻末の「楽典」に掲載している。</li> </ul> <p>【思考・判断・表現】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>「学びのユニット」で、音楽を形づくっている要素を「学びの手掛かりとなるヒント」として示している。</li> <li>気づいたことや思考したことを記入する欄を掲載している。</li> </ul> <p>【主体的に学習に取り組む態度】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>「学びのユニット」で、学習のねらいと比較する教材や学びを深めるための教材を示している。</li> <li>マークを活用して、教材を比較したり深めたりする学習の手立てを掲載している。</li> </ul> <p>【かわさき教育プラン】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>我が国や郷土の伝統音楽、諸外国の音楽を掲載している。</li> <li>友達と対話をしたり、協働的に進めたりする学習の手立てを掲載している。</li> </ul>	<p>【主体的・対話的で深い学びに関わる構成】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>「学びのユニット」で領域・分野ごとに題材を示し、学びを深めるための活動、学びの手がかりとなるヒントを掲載している。</li> <li>書き込むコーナーを設け、曲のよさを紹介したり、共通点や相違点を友達に紹介したりする活動を掲載している。</li> <li>学習に役立つ情報をウェブサイトで見たり聴いたりできるよう、該当ページに「まなびリンク」のマークを示し、目次のページに二次元コードとURLを掲載している。</li> </ul> <p>【分量・装丁】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>折り込みページ、表裏紙は厚い紙を使用している。</li> </ul>	<p>【読みやすさの工夫】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>「学びのユニット」では、領域・分野ごとに色分けし、各教材のページの帯も同じ色で示している。</li> <li>歌唱共通教材は、縦書きの歌詞を掲載し、難しい歌詞には説明を加え、情景を想像するための写真を掲載している。</li> <li>カラーユニバーサルデザインに配慮し、ユニバーサルデザインフォントを使用している。</li> </ul>
27 教芸	中学生の音楽 1 中学生の音楽 2・3上 中学生の音楽 2・3下	<p>【知識・技能】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>「音楽を形づくっている要素」のコーナーでは、音楽を形づくっている要素を教材と関連付けて示している。</li> <li>「My Voice!」では、技能の定着を図るために、姿勢や呼吸、歌声づくり等の手立てを掲載している。</li> <li>新出の〔共通事項〕に示されている用語や記号を教材の中で示し、その説明を巻末の「音楽の約束」に掲載している。</li> </ul> <p>【思考・判断・表現】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>教材ごとに〔共通事項〕に示されている「音楽を形づくっている要素」と「学習内容」をページ左側に記載している。</li> <li>「深めよう！音楽」では、音楽を形づくっている要素について、知覚感受したことを直接記入したり、それを基に協働的な学びを進める教材を掲載している。</li> </ul> <p>【主体的に学習に取り組む態度】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>1年間の学習の見通しをもつために、学習内容や〔共通事項〕に示されている音楽を形づくっている要素、身に付ける資質・能力を示している。</li> <li>音楽文化についての理解、社会や生活とのつながりを学ぶ内容を掲載している。</li> </ul> <p>【かわさき教育プラン】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>我が国及び諸外国の音楽文化に関心をもつ教材を掲載している。</li> <li>キャラクターを活用してポイントや問いを示し、対話的・協働的な学びを促す教材を掲載している。</li> </ul>	<p>【主体的・対話的で深い学びに関わる構成】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>1年間の学習内容を領域・分野ごとに示し、教材ごとに、学習目標、活動、音楽を形づくっている要素を掲載している。</li> <li>自分の思いや考えをまとめ、さらに友達の見解と比較できるような手立てを示している。</li> <li>学習に役立つ情報をウェブサイトで見たり聴いたりできるよう、該当ページに二次元コードを掲載している。</li> </ul> <p>【分量・装丁】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>表紙は固い用紙で、全体を通して同じ紙質、綴じ方で統一している。</li> </ul>	<p>【読みやすさの工夫】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>教材の配置を領域・分野ごとに色分けし、各教材のページの帯も同じ色で示している。</li> <li>歌唱共通教材は縦書きの歌詞を別記し、難しい歌詞には説明を示し、情景を想像するための写真を掲載している。</li> <li>カラーユニバーサルデザインに配慮し、ユニバーサルデザインフォントを取り入れている。</li> </ul>

# 調査研究報告書 ⑤

## 音楽(器楽合奏)

発行者の番号略称	書名	内容	構成・分量・装丁	表記・表現
17 教出	中学器楽 音楽のおくりもの	<p>【知識・技能】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>各楽器の幅広い知識や技能を得られるよう、楽器の扱い方、構え方、運指表、楽器の各部の名称などを掲載している。</li> <li>演奏に必要な技能を身に付けるための基礎的な演奏の仕方について、写真や図を用いて説明している。</li> </ul> <p>【思考・判断・表現】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>器楽の学習を生かした鑑賞の活動を取り入れ、共通性と固有性を考えて記入するワークシートを掲載している。</li> <li>楽器を演奏する際のアドバイスや解説など、補足説明を示している。</li> <li>箏の平調子などを用いて、即興的な短い旋律やリズムをつくる創作の活動を掲載している。</li> </ul> <p>【主体的に学習に取り組む態度】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>見通しをもって学習できるよう、教材ごとに、ねらい、ポイント、まとめの曲を示し、発達の段階に応じた楽曲を掲載している。</li> <li>リコーダーの教材は、同じ楽曲でソプラノリコーダーとアルトリコーダーの両方の楽譜を掲載している。</li> <li>多様なジャンルの楽曲を掲載し、学習したことを生かして、さらに発展的に取り組む楽曲を掲載している。</li> </ul> <p>【かわさき教育プラン】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>自分の意見を友達と共有する学習や、アンサンブルの教材など、友達と協働的に学習を進める教材を掲載している。</li> </ul>	<p>【主体的・対話的で深い学びに関わる構成】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>各楽器の学習は、楽器の紹介と奏法のポイント、アンサンブル教材で構成している。</li> <li>「話し合おう」では、話し合い活動の手立てを掲載している。</li> <li>学習に役立つ情報をウェブサイトで見たり聴いたりできるよう、該当ページに「まなびリンク」のマークを示し、目次のページに二次元コードとURLを掲載している。</li> </ul> <p>【分量・装丁】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>折り込みページは厚紙、表裏紙は強い紙を使用している。</li> <li>リコーダー、ギター及び篠笛、尺八、箏、三味線、太鼓の7種類の教材を掲載している。</li> </ul>	<p>【読みやすさの工夫】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>音の出し方から、基礎的な演奏の仕方について写真やイラストを用いて解説を掲載している。</li> <li>カラーユニバーサルデザインに配慮し、ユニバーサルデザインフォントを使用している。</li> <li>ギター、キーボードのコード表、リコーダーの運指表を折り込みページの見開きで掲載している。</li> </ul>
27 教芸	中学生の器楽	<p>【知識・技能】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>各楽器の幅広い知識や技能を得られるよう、楽器の扱い方、構え方、運指表、楽器の各部の名称などを掲載している。</li> <li>基本的な技能を習得できるよう、イラストや写真を用いて解説しながら、奏法の手順を段階的に示している。</li> </ul> <p>【思考・判断・表現】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>「アンサンブルセミナー」「My Melody」では、教材ごとに、知覚・感受する手掛かりとなる〔共通事項〕の音楽を形づくっている要素を掲載している。</li> <li>「深めよう！音楽」の吹き出しには、生徒自らが考えるためのヒントを掲載している。</li> <li>創作の教材では、活動の手順を示し、既習の箏の学習を生かして、音楽の構成を工夫する創作の学習を掲載している。</li> </ul> <p>【主体的に学習に取り組む態度】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>巻頭で、育成する資質・能力、学習内容、音楽を形づくっている要素を教材ごとに一覧にして示している。</li> <li>リコーダーの教材は、学校の実態に合わせられるよう、ソプラノリコーダーとアルトリコーダーの両方を掲載している。</li> <li>様々な音楽文化に触れられるよう、多様なジャンルの教材や著名な演奏家のメッセージを掲載している。</li> </ul> <p>【かわさき教育プラン】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>グループ活動を通して、協働的に学習を進めるために、多様なジャンルのアンサンブルの教材を掲載している。</li> </ul>	<p>【主体的・対話的で深い学びに関わる構成】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>各楽器の学習は、音色の鑑賞や楽器の歴史、基本的な奏法、アンサンブル教材で構成している。</li> <li>器楽の表現の工夫や創作活動で友達と話し合ったり、アンサンブルをしたりする、協働的な学習を掲載している。</li> <li>動画や音源などの学習に役立つ情報をウェブサイトで見られるよう、該当ページに二次元コードを掲載している。</li> </ul> <p>【分量・装丁】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>表紙は固い用紙で、全体を通して同じ紙質、綴じ方で統一している。</li> <li>リコーダー、ギター、打楽器及び和楽器の篠笛、尺八、箏、三味線、太鼓の8種類の教材を掲載している。</li> </ul>	<p>【読みやすさの工夫】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>楽器や奏法について、写真や図・イラストを効果的に用いて説明している。</li> <li>ユニバーサルデザインに配慮し、ユニバーサルデザインフォントを使用している。</li> <li>リコーダーの運指表やギター、キーボードのコード表を見開きで掲載している。</li> </ul>

# 調査研究報告書 ⑤

## 美術

発行者の番号略称	書名	内容	構成・分量・装丁	表記・表現
9 開隆堂	美術1 発見と創造 美術2・3 探求と継承	<p>【知識・技能】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>生徒の豊かな活動を促すために、題材ごとに「学習のポイント」を掲載している。</li> <li>学習を深めるために、巻末に「学びの資料」を掲載している。</li> </ul> <p>【思考・判断・表現】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>作品に込められた作者の思いを感じ取ったり表現の意図を参考にするために、「作者の言葉」を掲載している。</li> <li>質感等を感じ取り、よりよく鑑賞するために原寸大で掲載している。</li> <li>表現したり鑑賞したりする参考となるように、二次元コードを掲載している。</li> </ul> <p>【主体的に学習に取り組む態度】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>美術との関わりや暮らしの中の美について学ぶために、様々な職種の人のインタビューを掲載している。</li> </ul> <p>【かわさき教育プラン】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>社会の中の美術との関わりを学ぶ題材を掲載している。</li> <li>道徳や他教科との関連を示すために、ページの下部に教科名と内容を掲載している。</li> <li>友達と協力して表現する「共同制作」のページを掲載している。</li> </ul>	<p>【主体的・対話的で深い学びに関わる構成】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>題材で身に付けたい力を「学習の目標」に整理し、三つの柱にそって掲載している。</li> </ul> <p>【分量・装丁】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>図版を大きく掲載するために、A4ワイド版にしている。</li> <li>扱いやすくするために、2・3年を1冊にまとめている。</li> <li>図版を大きく掲載するために、見開きのページを設けている。</li> </ul>	<p>【読みやすさの工夫】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>学習の目標、ポイントを目に付きやすいところに表記し、題材ごとに色分けしている。</li> <li>見やすい紙面にするために、タイトル文字や文章表記のフォントを統一して表記している。</li> <li>ユニバーサルデザインを意識した色覚の配慮をしている。</li> <li>ルビをふって表記している。</li> </ul>
38 光村	美術1 美術2・3	<p>【知識・技能】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>描画材料による表現方法の違いを掲載している。</li> <li>技法について、巻末に「学習を支える資料」を掲載している。</li> </ul> <p>【思考・判断・表現】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>全ての表現題材に学習に必要な資料を掲載している。</li> <li>生徒の制作のプロセスが分かるようにするための「みんなの工夫」を掲載しているページがある。</li> <li>鑑賞における図版を大きく載せたり、実物大で掲載している。</li> <li>題材に関する資料が見られる二次元コードを掲載している。</li> </ul> <p>【主体的に学習に取り組む態度】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>美術と社会との関わりを学ぶために、「デザインってなんだろう」のページを掲載している。</li> <li>生活の中から生み出される美術を扱ったページを掲載している。</li> </ul> <p>【かわさき教育プラン】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>西洋と日本を比較できるような作品を表紙に掲載している。</li> <li>教科等横断的な学習のために、他教科とのつながりを掲載している。</li> <li>道徳とのつながりがある題材には、内容項目を記載している。</li> </ul>	<p>【主体的・対話的で深い学びに関わる構成】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>題材のねらいを二つにまとめ、目標という表記で掲載している。</li> </ul> <p>【分量・装丁】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>扱いやすくするために、2・3年を1冊にまとめている。</li> <li>触れて感じ取ることができるようにするため、紙質を変えているページを設けている。</li> <li>生徒の学びを深めるために、直接書き込めるページを設けている。</li> <li>迫力を感じられるように、見開きのページを設けている。</li> </ul>	<p>【読みやすさの工夫】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>学習している内容を分かりやすくするために、ページ左上に「表現」「鑑賞」の表記をしている。</li> <li>文字の大きさや色や配置等は、ユニバーサルデザインを意識している。</li> <li>題材名はゴシック体、説明文等は明朝体を使って表記している。</li> </ul>
116 日文	美術1 美術との出会い 美術2・3上 学びの実感と広がり 美術2・3下 学びの探求と未来	<p>【知識・技能】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>表現と鑑賞を深めるために、各題材に「造形的な視点」を設けている。</li> <li>題材で必要となる技法や色彩の資料を掲載している。</li> </ul> <p>【思考・判断・表現】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>表現の意図を参考とするために、作者の言葉を掲載している。</li> <li>絵画作品の筆使いや技法が分かるように、原寸大の図版を掲載している。</li> <li>鑑賞を深めたり発想や構想する際の資料が見られたりする、二次元コードを掲載している。</li> </ul> <p>【主体的に学習に取り組む態度】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>生活の中にある美術について関連する題材を掲載している。</li> </ul> <p>【かわさき教育プラン】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>生活や社会とのつながりや、伝統的な文化の継承などを掲載している。</li> <li>社会状況を反映した題材を掲載している。</li> <li>道徳科との関連がある題材には、マークを掲載している。</li> </ul>	<p>【主体的・対話的で深い学びに関わる構成】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>題材の学習の目標を、三つの柱に基づいて掲載している</li> </ul> <p>【分量・装丁】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>図版を大きく掲載できるように、A4ワイドのサイズにしている。</li> <li>発達の段階に応じた各学年における資質・能力を育成するために、3分冊構成にしている。</li> <li>鑑賞を効果的にするために、見開きにできるページがある。</li> <li>立体的に立たせて鑑賞しやすくするために、紙に厚みをもたせた屏風作品を掲載している。</li> </ul>	<p>【読みやすさの工夫】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>授業の流れや学びを分かりやすくするために、見開き左上に見出しを表記している。</li> <li>見やすさを意識して、文章はユニバーサルフォントで表記している。</li> <li>色覚に特性のある生徒も、色名を覚えやすくする表記をしている。</li> </ul>

# 調査研究報告書 ⑤

## 保健体育

発行者の番号 略称	書名	内容	構成・分量・装丁	表記・表現
2 東書	新しい保健体育	<p>【知識・技能】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・二次元コードのコンテンツは、教科書紙面での資料を補填できる内容で、学習に深まりをもたせたり、インターネットを通じて学習を進めたりすることができる。</li> <li>・巻末に「キーワードの解説」というページを設け、重要語句とその解説を掲載している。</li> <li>・学習内容を振り返るため、各章ごとに資料やまとめの問題を掲載している。</li> </ul> <p>【思考・判断・表現】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・「学習課題」では、生徒が考えたり、話し合ったり、深めたりする学習活動を設定している。</li> <li>・学習内容と日常生活が関連付きやすい「コラム」を掲載したり、日常生活を振り返る発問を設定したりしている。</li> </ul> <p>【主体的に学習に取り組む態度】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・インターネットを通じた学習ができるよう、「Dマークコンテンツ内容一覧」のページを設け、コンテンツの内容を掲載している。</li> <li>・生徒が主体的に取り組めるよう、「見つける」「課題の解決」「活用する」「広げる」の流れで学習の過程を示している。</li> </ul> <p>【かわさき教育プラン】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・実践力の育成につながるよう、「活用する」「広げる」で、学んだことを実生活に生かすことができる発問を掲載している。</li> <li>・さまざまな自然災害の危険と安全な避難について、資料の写真を大きく掲載している。</li> </ul>	<p>【主体的・対話的で深い学び】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・「見つける－課題の解決－活用する－広げる」という流れで構成している。</li> <li>・実践力の育成につながるよう、「活用する」「広げる」で実生活につながる学習課題を提示している。</li> <li>・教科書に書き込めるワークシートを掲載し、必要な内容を書き留めておくスペースを設定している。</li> </ul> <p>【分量・装丁】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・学習内容を見開きで完結するようにまとめている。</li> <li>・各内容の分量、文章と資料の配分を適切に設定している。</li> </ul>	<p>【読みやすさの工夫】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・文章や資料の場所が常に同じ位置にあるように、レイアウトを統一している。</li> <li>・学習内容を把握できるよう、「学習課題」を太字で大きく示し、キーワードを明記している。</li> <li>・カラーユニバーサルデザインに配慮した配色にしている。</li> <li>・図や絵などはパステルカラーを使用している。</li> </ul>
4 大日本	中学校保健体育	<p>【知識・技能】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・課題把握－知識の習得－知識の活用という流れにしている。</li> <li>・章末に「学習のまとめ 重要な言葉」を掲載し、まとめの問題・解答をウェブサイトに掲載している。</li> <li>・学習を深めるため、他教科とのつながりに関するマークを掲載している。</li> </ul> <p>【思考・判断・表現】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・思考力・判断力・表現力等を育成するため、「学びを活かそう」で、考えたり、話し合ったり、まとめたりする発問を掲載している。</li> <li>・「やってみよう」「話し合ってみよう」で、本文や資料をもとに話し合ったり深めたりする活動を提示している。</li> </ul> <p>【主体的に学習に取り組む態度】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・章末資料などで、生活に身近な出来事や現代の問題を取り扱っている。</li> <li>・「つかもう」で生徒の興味を引き出す発問を掲載し、「活用して深めよう」で、学んだことを日常生活に生かす課題を提示している。</li> </ul> <p>【かわさき教育プラン】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・オリンピック・パラリンピックの歴史や、世界で活躍する日本人を掲載している。</li> <li>・読むことに苦手意識をもっている生徒も学習内容を確認しやすくなるよう、文章と資料を見開きで左右に分けている。</li> </ul>	<p>【主体的・対話的で深い学び】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・「つかもう－やってみよう－話し合ってみよう－活用して深めよう」という流れで構成している。</li> <li>・「調べてみよう」「話し合ってみよう」で、考えたり話し合ったりする活動を提示している。</li> <li>・生徒の興味・関心を引くよう、トピックスの欄を単元ごとに掲載している。</li> </ul> <p>【分量・装丁】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・学習に必要な情報を偏りなく配分し、掲載している。</li> <li>・心肺蘇生法は、ページ全体を確認しながら実習を進めることができるよう、折り込みを開いて見る形にしている。</li> </ul>	<p>【読みやすさの工夫】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・本文と資料を明確に分けている。左ページに文章、右ページに資料や図表を配置している。</li> <li>・本文の見出しに参照資料番号を掲載し、資料と関連付けて見ることができるよう設定している。</li> <li>・本文が文節の途中で切れないよう改行している。</li> <li>・ユニバーサルデザインフォントを使用している。</li> </ul>
50 大修館	最新 中学校保健体育	<p>【知識・技能】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・「がんとその予防」では、がんの発生と進行のしくみや、早期発見と回復などについて示している。</li> <li>・章のまとめの問題に「思考・判断・表現」の問題を設定している。</li> <li>・章のはじめや単元の導入に、小学校で学習した内容を振り返る内容を掲載している。</li> </ul> <p>【思考・判断・表現】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・1単位時間の「学習目標」を提示し、生徒が考えたり、話し合ったり、深めたりする学習活動を設定している。</li> <li>・日常生活と関連した学習課題を提示し、考えや知識が広がるよう、「コラム」「保健の窓」等を掲載している。</li> </ul> <p>【主体的に学習に取り組む態度】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・「きょうの学習」で学習内容や具体的な考え方を示し、「課題をつかむ」で、基本的な発問を提示している。</li> <li>・生徒が興味を持って学習できるよう、章末資料や特集資料で社会的状況を反映した題材を取り上げている。</li> </ul> <p>【かわさき教育プラン】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・学習に広がりをもたせ、学習内容が実生活につながるよう、「クローズアップ」のページを設けている。</li> <li>・難病を発症しながらも、生きる希望をもって世界をリードしたスティーブン・ホーキング博士を「コラム」に掲載している。</li> </ul>	<p>【主体的・対話的で深い学び】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・「つかむ－身に付ける－考える－まとめる－振り返る」という流れで構成している。</li> <li>・学習内容と生活が結びつくよう、マスクやSNS、緊急地震速報など現代社会における身近な内容を示している。</li> <li>・生徒が興味をもちやすくなるよう、生徒と同じ中学生や有名なスポーツ選手の写真を掲載している。</li> </ul> <p>【分量・装丁】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・学習内容を見開きで完結するようにまとめている。</li> <li>・各内容の分量、文章と資料の配分を適切に設定している。</li> </ul>	<p>【読みやすさの工夫】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・生徒が意見や考えなどを直接書き込む部分に、罫線を引いている。</li> <li>・カラーユニバーサルデザインに配慮して図やグラフを掲載している。</li> <li>・資料をオフホワイトで囲み、反射しにくい配慮をしている。</li> <li>・資料との対応箇所を文中に示している。</li> </ul>

<p>224 学 研</p>	<p>中学保健体育</p>	<p>【知識・技能】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・知識の定着を図るため、章のまとめ問題を見開きで設定している。</li> <li>・心肺蘇生法の実習を、ガイドラインとチェック項目に沿って進めることができるよう設定している。</li> <li>・学習を深めたり、学んだことをまとめたりできるよう、「課題をつかむ」「考える・調べる」「まとめる・深める」で、それぞれ学習目標や学習活動を示している。</li> </ul> <p>【思考・判断・表現】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・「探究しようよ！」のページは、調べたり、考えたり、話し合ったりする学習を設定している。</li> <li>・1年間の学習内容をフィードバックし、自分の生活に生かすことができるよう、学年の終わりにまとめや感想などを記入するページを設けている。</li> </ul> <p>【主体的に学習に取り組む態度】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・生徒が興味をもって主体的に学習に取り組み、理解を深めていけるよう、身近な話題や実生活につながる「コラム」を掲載している。</li> <li>・オリンピックや新型インフルエンザなどの今日的な話題を、口絵や「探究しようよ！」に掲載している。</li> </ul> <p>【かわさき教育プラン】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・性の多様性について学習できるよう、LGBT、SOGIなどを記載している。</li> <li>・より深い学びにつながるよう、「もっと広げる・深める」や「探究しようよ！」というページを設けている。</li> </ul>	<p>【主体的・対話的で深い学び】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・「つかむー本文ー調べる(考える)ーまとめる(深める)」の4ステップで構成している。</li> <li>・見通しをもって学習できるよう、「課題をつかむ」で学習のねらいを示している。</li> <li>・「判断する」「表現する」「話し合う」などのマークを示している。</li> </ul> <p>【分量・装丁】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・学習内容を見開きで完結するようにまとめている。</li> <li>・各内容の分量、文章と資料の配分を適切に設定している。</li> </ul>	<p>【読みやすさの工夫】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・章のまとめの問題に掲載しているイラストもカラーにしている。</li> <li>・カラーユニバーサルデザインに配慮して、図やグラフを掲載している。</li> <li>・重要な用語は太字で表記している。</li> <li>・ユニバーサルデザインフォントを使用している。</li> </ul>
--------------------	---------------	---	---	---

# 調査研究報告書 ⑤

## 技術・家庭(技術分野)

発行者の番号 略称	書名	内容	構成・分量・装丁	表記・表現
2 東書	新しい技術・家庭 技術分野	<p>【知識・技能】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・実習例として各内容に応じて多くの例を取り上げ、製作の際につまづきが予想される所を「ポイント」で解説したり、改善方法を提示したりしている。</li> <li>・学習課題に対する説明が詳しく、様々な教材や実習内容で授業展開した場合でも活用できる内容になっている。</li> </ul> <p>【思考・判断・表現】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・見方・考え方を働かせた深い学びを実現できる内容になっており、技術分野の学習の意義や大切さが伝わるように工夫している。</li> <li>・生徒自身で問題解決に導くため、その流れを統一的に示し、見通しを持って取り組めるように工夫している。</li> </ul> <p>【主体的に学習に取り組む態度】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・学習内容が伝統文化や最新技術などと結び付けられているため、技術について幅広く関心をもつことができる。</li> <li>・各編の終わりに「まとめ」「章末の問題」を設けてあり、学習した内容をまとめることができ、自学・自習ができるように工夫している。</li> </ul> <p>【かわさき教育プラン】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・技術の匠や技術のとびらなど特集ページが豊富で、生徒が将来の進路を考える参考になる。</li> </ul>	<p>【主体的・対話的で深い学びに関わる構成】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・学習指導要領に準拠した構成となっており、A材料と加工、B生物育成、Cエネルギー変換、D情報の順番で構成している。</li> <li>・各編とも「技術の原理・法則と仕組み」、「技術による問題解決」、「社会の発展と技術」で構成しており、授業を進めていくと学びが深まるようになっている。</li> <li>・実習方法や安全・衛生に関する内容が充実している。</li> </ul> <p>【分量・装丁】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・表紙は写真を使い技術分野の特色を表したデザインで、親しみやすくしている。</li> <li>・AB判である。</li> </ul>	<p>【読みやすさの工夫】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・学習へのアドバイスは先生のイラストではなく、キャラクターのイラストを使用しているため、優しい印象を受ける。</li> <li>・写真や表、図が多く取り入れられていて、資料として見やすいレイアウトになっており、配色も適当である。</li> <li>・全ての生徒にとって認識されやすいよう、特別支援教育やバリアフリーの視点から、配色やデザイン、字体などを工夫、配慮している。</li> <li>・二次元コードを読み込むと、必要な動画を視聴できる。</li> </ul>
6 教図	技術・家庭 技術分野 明日を創造する New技術・家庭 技術分野 明日を創造する 技術ハンドブック	<p>【知識・技能】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・実習例として、題材と併せて手順や基礎技能を見開きページに記載することで、体験的な学習が行いやすい工夫をしている。</li> <li>・各編とも丁寧な説明があり、知識や技能を身に付けるための資料が分かりやすく示してある。</li> </ul> <p>【思考・判断・表現】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・身の回りの問題を解決しながら、見方・考え方を身に付けさせることができる内容になっている。</li> <li>・限られた授業時間数の中で、教材を有効活用した問題解決的な学習ができる内容になっている。</li> </ul> <p>【主体的に学習に取り組む態度】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・実際の社会で利用されている生活を豊かにするための技術の応用例を、写真を用いて紹介しており、生徒の興味や関心を喚起させるものとなっている。</li> <li>・各編の終わりに「まとめ」「章末の問題」を設けており、学習した内容をまとめることで自学・自習ができるように工夫してある。</li> </ul> <p>【かわさき教育プラン】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・職業観、勤労観を重んじており、主体的に社会の形成に参画できる内容になっている。</li> <li>・伝統と文化を尊重し、国際社会でも通じる力を身に付けられる内容になっている。</li> </ul>	<p>【主体的・対話的で深い学びに関わる構成】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・学習指導要領のA材料と加工、B生物育成、Cエネルギー変換、D情報の順で、各題材ごとに学びを深めていけるよう、段階を追うように構成している。</li> <li>・各編の内容を全て「つくって学ぼう」、「じっくり学ぼう」、「学びを深め生かそう」で構成している。</li> <li>・実習の基礎技能を別冊にまとめるなど、実習の実態に沿った資料が充実している。</li> </ul> <p>【分量・装丁】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・表紙で「創造性」をアピールしている。</li> <li>・分量が多めで、情報量が多い。</li> <li>・A4変型判である。</li> </ul>	<p>【読みやすさの工夫】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・生徒同士が会話しているイラストがあるため、自然な動機付けになっている。</li> <li>・題材例は左から右へ進んだ後に左に戻るレイアウトで、写真を多く使用している。</li> <li>・特別支援教育の観点から、全ての生徒が見やすいデザイン、書体、イラストになっている。</li> <li>・二次元コードがあり、動画などの資料が見られる。</li> </ul>
9 開隆堂	技術・家庭 技術分野 テクノロジーに希 望をのせて	<p>【知識・技能】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・実習例として、基本的なものから応用的なものまで多くの例を取り上げ、生徒の実態や学校の環境に合わせた学習ができるようにしている。</li> <li>・基礎・基本を確実に身に付けさせるために、内容がシンプルにまとめられている。</li> </ul> <p>【思考・判断・表現】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・授業で問題解決力を育てる工夫ができる内容になっており、思考力、判断力、表現力等を高めるための構成になっている。</li> <li>・生徒自ら問題を見出し、課題を設定して解決を図る力を身に付けられるような内容になっている。</li> </ul> <p>【主体的に学習に取り組む態度】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・生徒に「なぜ」と思わせるような仕掛けがあり、導入部分に授業で使える文章を掲載している。</li> <li>・各編の終わりに「学習のまとめ」を設け、学習のまとめや反省、自己評価ができるようにし、「生活に生かそう」で学んだことを生活の場で活用できるようにしている。</li> </ul> <p>【かわさき教育プラン】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・技術に関する進路や職業に関する話題を取り上げている。</li> </ul>	<p>【主体的・対話的で深い学びに関わる構成】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・学習指導要領のA材料と加工、B生物育成、Cエネルギー変換、D情報の順に各編を構成している。</li> <li>・各編で、基本の知識や技能を身に付けた後に問題解決を行う流れとなっている。</li> <li>・作業以前に安全面に関するページを掲載している。</li> </ul> <p>【分量・装丁】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・表紙は写真を使い、技術分野の特色を表したデザインで親しみやすくしている。</li> <li>・AB判である。</li> </ul>	<p>【読みやすさの工夫】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・生徒が一人で話しているイラストであるため、解説的である。</li> <li>・作業の写真は少ないが、その分必要なイラストを掲載している。</li> <li>・色覚特性に関わらず、色の区別がしやすいような配色である。</li> <li>・二次元コードで、内容ごとの要点を確認することができる。</li> </ul>

# 調査研究報告書 ⑤

## 技術・家庭(家庭分野)

発行者の番号 略称	書名	内容	構成・分量・装丁	表記・表現
2 東書	新しい技術・家庭 家庭分野 自立と共生を目指して	<p>【知識・技能】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・「いつも確かめよう」で実習や生活での実践に必要な基礎・基本の技能をイラストと説明でまとめて記載している。</li> <li>・安全、衛生に関連した内容には、配慮することを具体的に掲載している。</li> <li>・伝統文化を理解するために、日本の衣文化、日本の住まい等を掲載している。</li> <li>・独特の言い回しや名称を「言葉のページ」でまとめて掲載している。</li> </ul> <p>【思考・判断・表現】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・生活の営みに係る見方・考え方を働かせて学習に取り組めるように、各編のはじめに「生活の営みに係る見方・考え方」を明記している。</li> <li>・生活の課題と実践の学習の進め方が、問題を解決する流れに沿って示している。</li> <li>・学習が深まるように思考ツールやキーワードを掲載している。</li> </ul> <p>【主体的に学習に取り組む態度】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・見通しをもって学習に取り組めるように、家庭科のガイダンスを最初に掲載している。</li> <li>・各編のはじめのページに小学校の学習、他教科との関連をマークと言葉で示している。</li> <li>・小題材のはじめに「やってみよう」「考えてみよう」等学習活動を促す言葉を示している。また、家庭実践にも生かせる実習例を多く掲載している。</li> </ul> <p>【かわさき教育プラン】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・キャリア教育に関連する「プロに聞く」の記事を掲載している。</li> <li>・SDGs、高齢者の理解、防災に関連する学習活動を掲載している。</li> </ul>	<p>【主体的・対話的で深い学びに関わる構成】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・内容の順番がガイダンス→衣食住の生活→消費生活・環境→家族・家庭生活→選択「生活の課題と実践」の流れで構成している。</li> <li>・導入→基本→まとめの流れが決まっており、授業の展開も工夫しやすい掲載がある。</li> <li>・各編の「学習のまとめ」に「振り返ろう」を掲載している。</li> <li>・巻末に体験活動に活用できる「子ども視界体験めがね」や家庭実践に活用できる「防災・減災手帳」を掲載している。</li> <li>・デジタルコンテンツのある内容にDマークがあり、二次元コードから内容が一覧で確認できる。二次元コードは目次のページ、各編の最初に掲載している。</li> </ul> <p>【分量・装丁】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・AB判</li> <li>・実習のページは、一目で見渡せるように見開きで示している。</li> </ul>	<p>【読みやすさの工夫】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・書体はユニバーサルデザインフォントを使用し、大事な用語は太字ゴシック体で表示している。</li> <li>・図や写真が多く、食材の写真を実物大で掲載している。</li> <li>・小学校の学習や他教科との関連はそれぞれ統一したマークを記載している。</li> </ul>
6 教図	New技術・家庭 家庭分野 くらしを創造する	<p>【知識・技能】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・視覚的に分かりやすいように、実習の手順を写真等で示している。</li> <li>・実習で扱う道具や材料等の安全な取り扱い方を掲載している。</li> <li>・伝統文化について、季節の行事や伝統的な食文化を巻頭に掲載している。</li> </ul> <p>【思考・判断・表現】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・生活の課題と実践とつなげることができるように、各章の終わりに「学びを生かそう」を掲載している。</li> <li>・各内容ごとに問題解決的な学習を行うことができるように、「学びをいかそう」があり、課題設定のヒントや例を掲載している。</li> <li>・章末に学んだことをまとめて確認する「学習の振り返り」を掲載している。</li> </ul> <p>【主体的に学習に取り組む態度】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・学びの導入として「見つめる」で中学生の会話が自分の生活の中の課題を発見するきっかけを示している。</li> <li>・小学校の学習や他教科との関連を掲載している。</li> <li>・小題材のはじめに「話し合ってみよう」「考えてみよう」などの活動例を掲載している。</li> </ul> <p>【かわさき教育プラン】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・キャリア教育に関連する「センパイに聞こう」という記事を掲載している。</li> <li>・SDGs、高齢者とのかわり方等と関連した学習課題を掲載している。</li> </ul>	<p>【主体的・対話的で深い学びに関わる構成】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・内容の順番がガイダンス→家族・家庭生活→衣食住の生活→消費生活・環境→選択の流れで構成している。</li> <li>・各編は、「導入」「やってみよう」「学びを生かそう」で構成している。また、「やってみよう」は、「見つめる」「学ぶ」「振り返る」の流れに沿って学習を繰り返す構成としている。</li> <li>・小題材ごとに「めあて」と「キーワード」「確認」「私の学び」を掲載している。</li> <li>・献立作成をシールを使って学習できるように巻末に学習シールがある。</li> <li>・デジタルコンテンツの資料や動画を二次元コードから読み取ることができる。</li> </ul> <p>【分量・装丁】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・A4変型判</li> <li>・調理実習や作業の手順がわかりやすいように、写真やイラストを掲載している。</li> </ul>	<p>【読みやすさの工夫】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・書体はユニバーサルデザインフォントを使用し、重要な語句は青色で表示している。</li> <li>・本文の文字が大きくなっている。</li> <li>・カラーが多く、イラストや写真が豊富で、食材の写真は実物大のものを掲載している。</li> <li>・安全、衛生に関する内容に、マークを掲載している。</li> </ul>
9 開隆堂	技術・家庭 家庭分野 生活の土台 自立と共生	<p>【知識・技能】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・調理実習の手順を一つ一つ写真を使って表示している。</li> <li>・科学的な理解ができるように、6つの食品群に栄養素の実験を掲載している。</li> <li>・伝統文化を学習するために、和服や地域の食文化等を記載している。</li> </ul> <p>【思考・判断・表現】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・生活の課題と実践の進め方は、問題を解決する道筋と流れを統一して示している。</li> <li>・内容の終わりに復習ができるように、「学習のまとめ」を掲載している。</li> <li>・自分の言葉で学習を振り返り、深い学びにつなげられるようなワークシートを掲載している。</li> </ul> <p>【主体的に学習に取り組む態度】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・学習の見通しをもつためのガイダンスを巻頭に掲載している。</li> <li>・実生活とつなげ主体的に学習に取り組めるように、導入に学習活動を設定している。</li> <li>・生活で活用できるように「生活を生かそう」「やってみよう」で学習課題を掲載している。</li> </ul> <p>【かわさき教育プラン】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・キャリア教育に関する働く人へのインタビュー記事を「先輩からのエール」として掲載している。</li> <li>・SDGs、防災、異年齢との体験活動などにつながる学習内容を掲載している。</li> </ul>	<p>【主体的・対話的で深い学びに関わる構成】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・内容の順番がガイダンス→家族・家庭生活→衣食住の生活→消費生活・環境→生活の課題と実践の流れで構成している。</li> <li>・各内容は「主体的」「対話的」「深い学び」の3ステップで学習を進める構成としている。</li> <li>・各章の最初の「私の興味・関心」というページに、目標や興味・関心を記入するワークシートを掲載している。</li> <li>・小題材のはじめに、学習の目標、学習活動を掲載している。</li> <li>・デジタルコンテンツや動画を二次元コードから確認できる。</li> </ul> <p>【分量・装丁】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・AB判</li> <li>・実習や製作の手順をすべて右から左に手順が進むように統一して掲載している。</li> </ul>	<p>【読みやすさの工夫】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ユニバーサルデザインフォントを使用し、重要語句はゴシック体で表示している。</li> <li>・1ページにたくさんの写真や図・表があり、幼児の手形、足形、食材の写真を実物大で掲載している。</li> <li>・小学校の学習、他教科と関連する内容にマークを掲載している。</li> </ul>

# 調査研究報告書 ⑤

## 英語

発行者の番号 略称	書名	内容	構成・分量・装丁	表記・表現
2 東書	NEW HORIZON English Course 1 NEW HORIZON English Course 2 NEW HORIZON English Course 3	<p>【知識・技能】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・4技能5領域をバランスよく活用しながら文法の学習ができるよう、目的・場面・状況が明確に設定された活動を「扉」「Preview」「Scene」「Read and Think」に繰り返し設けている。</li> <li>・必要な時に確認できるように「Key Sentence(基本文)・Today's Point一覧」を巻末に設けている。</li> <li>・小学校で学習した事項には小学校マークを示している。</li> </ul> <p>【思考・判断・表現】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・「Read and Think」では、読むための目的が明確になるような課題を設定している。</li> <li>・言語材料の提示から、コミュニケーション活動に発展できるように、単元の最初に「目的・場面・状況」を示している。</li> <li>・グラフや図表を用いたものなど、様々な種類の文章、多様な題材を取り扱っている。</li> </ul> <p>【主体的に学習に取り組む態度】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・英語を学ぶ主体的な学習態度を育成するために、英語学習のポイントや学習の進め方を3年間通して系統的に取り上げる「学び方コーナー」を設けている。</li> <li>・到達度を把握できるように、書き込み式の「CAN-DOリスト」を巻末に設けている。</li> <li>・動画や音声の視聴ができるよう、二次元コードを設けている。</li> </ul> <p>【かわさき教育プラン】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・SDGsに関連した多様な題材を扱っている。</li> </ul>	<p>【主体的・対話的で深い学び】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・全学年を通して、既習事項をスパイラルに学習できる構成にしている。</li> <li>・巻末に付録の読み物教材を掲載している。</li> <li>・見直しをもって学習内容に入っていけるよう、各単元の初めに「Preview」を設けている。</li> <li>・1年生のUnit0～5では、小学校で学んだ内容を繰り返し扱うようにしている。</li> </ul> <p>【分量・装丁】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・判型をA4判にしている。</li> </ul>	<p>【読みやすさの工夫】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・イラストや写真、図等を効果的に配置している。</li> <li>・1年では、手書き文字に近い書体を使用している。</li> <li>・学習を進めやすいように、新出単語が、基本語、準基本語、題材語などが分かるように記載している。</li> </ul>
9 開隆堂	SUNSHINE ENGLISH COURSE 1 SUNSHINE ENGLISH COURSE 2 SUNSHINE ENGLISH COURSE 3	<p>【知識・技能】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・使用場面を設定して言語材料を導入し、繰り返しの練習ができるように学習活動を設けている。</li> <li>・言語材料の使用場面が理解しやすいように単元最初の、「Scenes」をマンガ形式にしている。</li> <li>・小学校で学んだ単語リストを巻末に掲載している。</li> </ul> <p>【思考・判断・表現】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・既習事項を活用し単元のまとめの言語活動である「Interact」、協働学習で学び合い、既習表現を活用する言語活動の「Our Project」を設けている。</li> <li>・教科書の内容を自分の言葉で話し、表現力を高める「Retell」を3段階の難易度別に設けている。</li> <li>・読み物教材の内容理解を段階的に深めることができるように、「Reading」は概要把握→詳細把握→表現活動の3つの段階で構成している。</li> </ul> <p>【主体的に学習に取り組む態度】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・学習の振り返りのために、「聞くこと」「読むこと」「話すこと(やり取り)」「話すこと(発表)」「書くこと」のそれぞれの領域での到達目標をまとめた『英語で「できるようになったこと」リスト』を巻末に掲載している。</li> <li>・見通しがもてるように、各単元を「Scenes」→「Think」→「Retell」→「Interact」という同じ流れにしている。</li> <li>・音声や映像等を視聴できるように二次元コードを随所に設けている。</li> </ul> <p>【かわさき教育プラン】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・SDGsに関連した多様な題材を扱っている。</li> </ul>	<p>【主体的・対話的で深い学び】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・「Scenes」→「Think」→「Retell」→「Interact」と、3年間を通して繰り返し表現を活用しながら習得する構成にしている。</li> <li>・多用途に使うことのできる「アクションカード」等を巻末資料として付属している。</li> <li>・小学校で学んだことを復習する「Get Ready」「Program 0」を1年の最初に設けている。</li> </ul> <p>【分量・装丁】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・判型をAB判にしている。</li> </ul>	<p>【読みやすさの工夫】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・写真やイラスト、図等を効果的に配置している。</li> <li>・小中接続への配慮として1年の前半では、手書き文字に近い書体、1年の後半では一般的な活字体に近いフォントを使用している。</li> <li>・生徒の興味を高めるために、言語材料の導入でマンガ形式の「Scenes」を設けている。</li> </ul>
15 三省堂	NEW CROWN English Series 1 NEW CROWN English Series 2 NEW CROWN English Series 3	<p>【知識・技能】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・言語活動の中で活用することを通して、文構造、文法事項の定着が図れるように、「Drill」「Listen」「Talk &amp; Write」「Speak &amp; Write」など様々な活動を設けている。</li> <li>・語彙や表現をを広げるために、種類ごとに分類した語句を提示した「Word Bank」を設けている。</li> <li>・文法事項の理解を深めるために文法事項を整理した「文法のまとめ」を設けている。</li> </ul> <p>【思考・判断・表現】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・各技能を活用する課題が盛り込まれた「USE」や技能統合型言語活動の「Project」を各学年に設けている。</li> <li>・「Use Read」では、目的に応じて概要を捉えたり要点を捉えたりする活動を設けている。</li> <li>・技能統合的な言語活動である「Project」では、「空き地の利用方法について話し合おう」など多様な内容を扱っている。</li> </ul> <p>【主体的に学習に取り組む態度】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・単元の扉で、学習の見直しをもたせるために、その単元を学ぶ内容、活動等を示している。</li> <li>・何ができるようになったかを振り返ることができる「What Can I Do?」や英語の学習方法を示した「For Self-study」など、自律的な学習をサポートする資料を付属している。</li> <li>・音声や映像、資料等を利用できるように、二次元コードを随所に設けている。</li> </ul> <p>【かわさき教育プラン】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・SDGsに関連した題材を取り扱っている。</li> </ul>	<p>【主体的・対話的で深い学び】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・学習した語彙や文法を活用することを重視し、技能別に設定した言語活動の「USE」「Take Action!」、技能統合的な言語活動の「Project」を設けている。</li> <li>・小学校で学んだアルファベットと文字の読み方や身近なことについての会話と語句・表現等の復習のために、1年最初に「Hello, everyone!」と「Starter」を設けている。</li> </ul> <p>【分量・装丁】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・判型をAB判にしている。</li> </ul>	<p>【読みやすさの工夫】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・写真やイラストが工夫して効果的に配置している。</li> <li>・中学校での学習に円滑に接続できるように、1年の最初は、書くためのモデルとなるよう手書きフォントを使用している。</li> <li>・学習を進めやすいように、大切な部分について、枠で囲ったり、字の大きさや太さを変えたりして示している。</li> </ul>

発行者の番号 略称	書名	内容	構成・分量・装丁	表記・表現
17 教出	ONE WORLD English Course 1  ONE WORLD English Course 2  ONE WORLD English Course 3	<p>【知識・技能】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・文法事項の練習活動である「Tool Kit」「Listen」などを設け、その後の言語活動に必要な技能が段階的に身に付くようにしている。</li> <li>・「聞く」「読む」「話す」「書く」のそれぞれの技能を高める活動の「Tips」を設けている。</li> <li>・文法事項の定着を図るために、各単元の最後に文法事項をまとめた「Grammar」を設けている。</li> </ul> <p>【思考・判断・表現】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・活動の目的や場面、状況が設定され、既習事項を活用する言語活動の「Task」「Project」等を設けている。</li> <li>・即興で話す力を高める「Activities Plus」を帯活動教材として巻末に設けている。また、赤色マスキングシートを付属し、文字を隠したりして、既習の表現等を確認することができるようにしている。</li> <li>・ディベートなど様々な形式の言語活動を設けている。</li> </ul> <p>【主体的に学習に取り組む態度】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・主体的に学習を進めることができるように、新出語句に付したチェックボックス、本文に付した音読練習回数の記録欄などを設けている。</li> <li>・生徒が学習到達目標を把握するために、「Can-Do自己チェックリスト」を巻末に掲載している。</li> <li>・音声を利用できるように、二次元コードを随所に設けている。</li> </ul> <p>【かわさき教育プラン】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・SDGsに関連した幅広い題材を扱っている。</li> </ul>	<p>【主体的・対話的で深い学び】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・「Tool Kit」「Listen」などの基本的な練習活動を繰り返しながら、実際のコミュニケーションに近い言語活動である「Task」や「Project」に段階的に結び付ける構成にしている。</li> <li>・既習表現等を確認できる赤色マスキングシートや活動で使うカードを付属している。</li> <li>・小中の円滑な接続のために、1年の巻頭に「Springboard1～4」を設けている。</li> </ul> <p>【分量・装丁】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・判型はAB版にしている。</li> </ul>	<p>【読みやすさの工夫】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・読みやすくなるように写真やイラスト、図表を適切に配置している。</li> <li>・1年では、小学校との接続に配慮して読みやすさ、書きやすさに配慮した字形の書体を用い、その後段階的に他の書体を導入している。</li> <li>・学習を進めやすいように、大切な単語を太字にしたり、意味が分かるだけでよいものは日本語訳を付けたりして示している。</li> </ul>
38 光村	Here We Go! ENGLISH COURSE 1  Here We Go! ENGLISH COURSE 3  Here We Go! ENGLISH COURSE 2	<p>【知識・技能】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・基本文や語彙の定着を図るために、練習活動の「Listen」「Speak」「Write」を各Partに設けている。</li> <li>・文法事項の説明をまとめ、複数の例文を示した「Active Grammar」を設けている。</li> <li>・生徒が言語活動等で使用できるように、語彙を「身に付けるもの」「天気」など種類ごとに分類し、整理した「Active Words」を設けている。</li> </ul> <p>【思考・判断・表現】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・各Partで学習した内容を活用して自己表現活動に取り組むことができるよう単元最後に「Goal」を設けている。</li> <li>・自分の言葉で教科書内容を伝える言語活動「Story Retelling」を帯学習教材として設け、本文の内容に沿ったイラストを掲載している。</li> <li>・学習した知識・技能を活用して、5領域を統合した言語活動に取り組めるように各学年3か所にプロジェクト型言語活動の「You Can Do It!」を設けている。</li> </ul> <p>【主体的に学習に取り組む態度】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・自律的学習者の育成につながるよう「英語の学び方ガイド」や「Your Coach」を設けている。</li> <li>・生徒が興味を高められるように、本文を3年間一続きの話にしている。</li> <li>・動画や音声等を利用できるように、二次元コードを随所に設けている。</li> </ul> <p>【かわさき教育プラン】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・SDGsの17の目標に関連する題材を扱っている。</li> </ul>	<p>【主体的・対話的で深い学び】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・各単元は導入の「扉」、教科書本文と各技能の活動を含んだ「Part1～3」、技能統合的な言語活動である「Goal」の3段階で構成している。</li> <li>・即興でやり取りを行う「Let's Talk!」、自分の言葉で本文の内容を伝える「Story Retelling」等を帯活動教材として付属している。</li> <li>・小学校から中学校の円滑な接続のために、1年巻頭に「Let's Be Friends!」を設けている。</li> </ul> <p>【分量・装丁】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・判型はAB判にしている。</li> </ul>	<p>【読みやすさの工夫】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・生徒が場面を意識して取り組めるように、適切な写真、イラストを掲載している。</li> <li>・アルファベットの文字について、1年の最初は手書き体、その後はゴシック体を使用している。</li> <li>・話している人が一目で分かるように、1年の最初は、マンガ形式でセリフが本文となるようにしている。</li> </ul>
61 啓林館	BLUE SKY English Course 1  BLUE SKY English Course 2  BLUE SKY English Course 3	<p>【知識・技能】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・学習を積み上げながら文法や表現を定着することができるように、「Get Ready」「Practice」「Use」を各Partに繰り返し設けている。</li> <li>・文法事項の説明をまとめた「Targetのまとめ」を設けている。</li> <li>・本文の内容について理解を深めるために、関連する情報をまとめた「More Information」を設けている。</li> </ul> <p>【思考・判断・表現】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・単元の内容に沿ったミニスピーチを作成し、発表活動につなげる「Express Yourself」を単元のまとめとして設けている。</li> <li>・言語活動では目的・場面・状況を設定し、「Further Study」では、ディスカッション等の発展的な活動も扱っている。</li> <li>・読む力を高めるために、「Read&amp;Think」では、英文を読んで概要や詳細を捉えたり、自分の意見を表現したりする活動などを設けている。</li> </ul> <p>【主体的に学習に取り組む態度】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・巻末の「Word Box」では、生徒が活動において主体的に活用できるような表現を掲載している。</li> <li>・自分で学習が進めることができるように、基本文には、文法項目の解説を日本語で示している。</li> <li>・音声等を利用できるように、二次元コードを随所に設けている。</li> </ul> <p>【かわさき教育プラン】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・SDGsに関連する幅広い題材について扱っている。</li> </ul>	<p>【主体的・対話的で深い学び】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・様々な活動を通して少しずつ段階的に言語活動の「Express Yourself」に結び付ける構成にしている。</li> <li>・技能統合的な言語活動である「Project」を年に2～3回設けている。</li> <li>・1年の冒頭に「Let's Start 1～7」を設け、小学校の復習と文字への意識付けを行うような構成にしている。</li> </ul> <p>【分量・装丁】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・判型はAB判にしている。</li> </ul>	<p>【読みやすさの工夫】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・内容理解の手掛かりとなる絵や写真、図表等を適切に配置している。</li> <li>・1年の英語部分には、ユニバーサルデザインフォントを使用している。</li> <li>・学習の流れを把握しやすいように、各Part等では学習項目の位置を固定して同じページ構成にしている。</li> </ul>

調査研究報告書 ⑤  
道徳

発行者の番号 略称	書名	内容	構成・分量・装丁	表記・表現
2 東書	新訂 新しい道徳1 新訂 新しい道徳2 新訂 新しい道徳3	<p>【知識及び技能】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・いじめの問題や生命の尊さについて、各学年にユニット学習(教材やコラム等を組み合わせて一定期間に集中してあるテーマについてを学ぶという学習)を設定している。</li> <li>・人権・平和、環境・資源、防災・安全など現代的な課題についての教材を掲載している。</li> </ul> <p>【思考力、判断力、表現力等】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・各教材に「考えよう」を設け、学習の中心になる問いを掲載している。</li> <li>・道徳的行為に関する体験的な学習や問題解決的な学習ができる教材を掲載している。</li> <li>・「ACTION」には、話し合いや演じながら考える手引きを掲載している。</li> <li>・読み物教材と合わせて、図や穴埋め形式で考えを整理することができる教材を掲載している。</li> </ul> <p>【学びに向かう力、人間性等】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・「自己を見つめよう」には、学習したことを生かし、自分自身を振り返るための問いを掲載している。</li> <li>・巻末に学期ごとに自分の学びを振り返ることができるワークシートを設けている。</li> </ul> <p>【かわさき教育プラン】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・伝統・文化やキャリア教育に関する内容などの教材を掲載している。</li> </ul>	<p>【主体的・対話的で深い学びに関わる構成】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・巻頭に道徳科の学び方を掲載している。</li> <li>・各教材の冒頭に学習テーマを提示し、テーマを深めるために導入で使用できる漫画や教材文を掲載している。</li> <li>・教材文の下に、記入できる枠「つぶやき」を設けている。</li> <li>・漫画や新聞、写真などで構成された教材を掲載している。</li> </ul> <p>【分量・装丁】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・35教材を掲載している。</li> <li>・巻末に心情円、ホワイトボードを付録として付けている。</li> <li>・動画や画像が活用できるように二次元コードを掲載している。</li> <li>・AB判を採用している。</li> </ul>	<p>【読みやすさの工夫】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・内容項目A～Dの視点が分かるようにマークや色で示している。</li> <li>・ユニバーサルデザインフォントを使用している。</li> <li>・文節で改行している。</li> <li>・カラーユニバーサルデザインに配慮している。</li> <li>・教材文と問いの文の書体を変えている。</li> </ul>
17 教出	中学道徳1 とびだ そう未来へ 中学道徳2 とびだ そう未来へ 中学道徳3 とびだ そう未来へ	<p>【知識及び技能】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・「いじめや差別のない社会」「生命の尊さ」について体系的に学べるようにユニット学習を設定している。</li> <li>・情報モラル、社会参画、安全・防災など現代的な課題についての教材を掲載している。</li> </ul> <p>【思考力、判断力、表現力等】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・道徳的行為に関する体験的な学習や日常の体験を想起して話し合う活動ができるように「やってみよう」を設けている。</li> <li>・異なる立場から考える教材や、登場人物が判断を迫られる場面が中心になる教材など、問題解決的な学習ができる教材を掲載している。</li> <li>・導入として考えていくことができる問いを教材タイトルの下に掲載している。</li> </ul> <p>【学びに向かう力、人間性等】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・「学びの道しるべ」に、考えを深めるための問いを掲載している。</li> <li>・「道徳の学びを記録しよう」には、1行ずつ感想を書き込める一覧表を設けている。</li> <li>・巻末の「これからを生きるみなさんへ」には、著名人のメッセージを読んで自分の考えを記述できる枠を設けている。</li> </ul> <p>【かわさき教育プラン】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・「郷土」「命」を扱う教材を掲載している。</li> <li>・「都道府県にゆかりのある人物と、その言葉」というページの中に、神奈川県に関する人物を掲載している。</li> </ul>	<p>【主体的・対話的で深い学びに関わる構成】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・巻頭に道徳科の学び方を掲載している。</li> <li>・ユニット学習を各学年2つ以上掲載している。</li> <li>・いじめの問題を扱う教材と生命の尊さを扱う教材にはそれぞれマークを掲載している。</li> <li>・漫画や絵本、歌詞、新聞記事等で構成された教材を掲載している。</li> </ul> <p>【分量・装丁】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・30教材を掲載し、5教材を補充教材として掲載している。</li> <li>・画像や動画が活用できるように二次元コードを掲載している。</li> <li>・B5判を採用している。</li> </ul>	<p>【読みやすさの工夫】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・内容項目A～Dの視点が分かるようにマークや色で示している。</li> <li>・ユニバーサルフォントを使用している。</li> <li>・イラストや写真についてカラーユニバーサルデザインに配慮している。</li> <li>・1年の前半の教材は、本文の文字を大きくしている。</li> </ul>
38 光村	中学道徳1 きみ が いちばん ひか るとき 中学道徳2 きみ が いちばん ひか るとき 中学道徳3 きみ が いちばん ひか るとき	<p>【知識及び技能】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・年間を3つのシーズンに分け、その時期の学びのテーマを記載している。</li> <li>・各シーズンは生徒の成長と学校生活を意識した配置にしている。</li> <li>・情報モラル、スポーツ、福祉、防災・安全など様々な内容の教材を掲載している。</li> </ul> <p>【思考力、判断力、表現力等】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・「考えよう」を設け、教材を通して学ぶことを「めあて」として記載し、具体的な問いを掲載している。</li> <li>・多面的・多角的に考えられるよう、「見方を変えて」を設定している。</li> <li>・「深めタイム」を設け、自分ごととして考えられる学習の手引きを掲載している。</li> </ul> <p>【学びに向かう力、人間性等】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・「つなげよう」には、授業で学んだことを他教科や日常生活との関わりで考える問いを掲載している。</li> <li>・他教科等との関連やグローバルな視点に立った教材を掲載している。</li> <li>・巻末に1時間ごとの振り返りやシーズンごとの振り返りができる「学びの記録」を設けている。</li> </ul> <p>【かわさき教育プラン】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・環境、国際理解、共生など「現代的な課題」として考えられる教材を掲載している。</li> <li>・「生命の尊さ」について各学年に3つずつ掲載している。</li> </ul>	<p>【主体的・対話的で深い学びに関わる構成】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・「道徳で何を学ぶのか」を1時間目に設定している。</li> <li>・ユニット学習を設定しており、テーマごとにキーワードを目次に掲載している。</li> <li>・漫画やポスター、写真などで構成された教材を掲載している。</li> <li>・自分→他者→社会とつながりをもって学習ができるように構成している。</li> </ul> <p>【分量・装丁】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・1時間での扱いが可能な31教材と付録4教材を掲載している。</li> <li>・関連サイトや動画を活用できるように二次元コードを掲載している。</li> <li>・B5判を採用している。</li> </ul>	<p>【読みやすさの工夫】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・内容項目A～Dの視点が分かるようにマークや色で示している。</li> <li>・ユニバーサルデザインフォントを使用している。</li> <li>・カラーユニバーサルデザインに配慮をしている。</li> <li>・学習の手引きはフォントを変えたり、枠で囲ったりして本文と区別できるように表記をしている。また、ページによって図で表記している。</li> </ul>

発行者の番号 略称	書名	内容	構成・分量・装丁	表記・表現
116 日文	中学道徳 あすを生 きる 1 中学道徳 あすを生 きる 1 道徳ノート 中学道徳 あすを生 きる 2 中学道徳 あすを生 きる 2 道徳ノート 中学道徳 あすを生 きる 3 中学道徳 あすを生 きる 3 道徳ノート	<p>【知識及び技能】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・「いじめと向き合う」というテーマでユニット学習を設定している。</li> <li>・いじめの問題や生命の尊さ、SDGsに関連する教材を掲載している。</li> <li>・身近な話題だけでなく、スポーツ、学者、歴史人物など、多くの著名人の生き方から学ぶ教材を掲載している。</li> </ul> <p>【思考力、判断力、表現力等】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・教材に関連した資料や他教科との関連、自分の考えや視野を広げるコラム「プラットフォーム」を掲載している。</li> <li>・何を考えるかが分かるように、各教材の最後に「考えよう」を掲載している。</li> <li>・多面的・多角的に考えられるように、いじめの問題をテーマとした教材で視点を変えて書いた教材を掲載している。</li> </ul> <p>【学びに向かう力、人間性等】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・自己を振り返る工夫として、「自分に+1(プラスワン)」という項目があり、問いを掲載している。</li> <li>・別冊「道徳ノート」に学期ごとに振り返るワークシートを掲載している。</li> <li>・別冊「道徳ノート」には、自分の考えをまとめたり、友達との意見交換のメモをとったりする欄を設けている。</li> </ul> <p>【かわさき教育プラン】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・別冊「道徳ノート」には、自己評価をする欄、また、保護者記入欄を設けている。</li> <li>・日本各地の地域の教材を扱っている。</li> </ul>	<p>【主体的・対話的で深い学びに関わる構成】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・学習の流れを可視化(①気づく②考え議論する、深める③見つめる、生かす)できるページを掲載している。</li> <li>・「1年 出会う」「2年 みつめる」「3年 ひらく」と各学年の重点目標を設定し、系統性をもたせた構成にしている。</li> <li>・漫画やノンフィクションを扱った教材を掲載している。</li> </ul> <p>【分量・装丁】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・35教材を掲載している。</li> <li>・動画や画像などを見ることができ二次元コードを掲載している。</li> <li>・ワークシートの発問内容を変えることができる別冊「道徳ノート」を設けている。</li> <li>・B5判を使用している。</li> </ul>	<p>【読みやすさの工夫】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・内容項目A～Dの視点が分かるようにマークや色で示している。</li> <li>・教材タイトルの下に登場人物の写真や絵を記載している。</li> <li>・すべての教材が見開きから始まっている。</li> <li>・中学校で学習するすべての漢字に振り仮名を付けている。</li> <li>・カラーユニバーサルデザインに配慮をしている。</li> </ul>
224 学研	新・中学生の道徳 明日への扉 1 新・中学生の道徳 明日への扉 2 新・中学生の道徳 明日への扉 3	<p>【知識及び技能】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・「生命の尊さ」については、ユニット学習を設定している。</li> <li>・情報モラル、防災、福祉など現代的な課題についての教材を掲載している。情報モラルについては系統性をもたせた教材を掲載している。</li> <li>・先人や今を生きる人たち、日本の各地域に関連した内容など、幅広い教材を掲載している。</li> </ul> <p>【思考力、判断力、表現力等】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・1つの問題を多面的・多角的に考えられるように「クローズアップ」「クローズアッププラス」で関連資料を掲載している。</li> <li>・考えを深めるきっかけになる問いや話し合いの仕方などを「深めよう」に掲載している。</li> <li>・教材ごとに、考えを深めるための問い「考えよう」を掲載している。</li> </ul> <p>【学びに向かう力、人間性等】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・学びの記録を学期ごとに書くワークシートを設けている。</li> <li>・「深めよう」には、学習を通して考えたことを記述できる枠を設けている。</li> <li>・「クローズアッププラス」には自分ごととして考えることができるように、関連資料や視点を変えた情報を掲載している。</li> </ul> <p>【かわさき教育プラン】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・いじめの問題を直接的に扱う教材だけでなく、生命の誕生や、生と死について考えさせるような教材を掲載している。</li> <li>・様々な分野で活躍している人々や功績を残した先人などの教材を掲載している。</li> </ul>	<p>【主体的・対話的で深い学びに関わる構成】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・道徳の学び方を示す4つのステップを掲載している。</li> <li>・教材タイトルの下に内容についての導入ができるキーフレーズを掲載している。</li> <li>・絵や写真、漫画、図やグラフ等、様々な素材で教材を構成している。</li> <li>・思いや気づきを記入できるメモ欄がページの下部にある。</li> </ul> <p>【分量・装丁】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・35教材を掲載している。</li> <li>・動画や画像などを見ることができ二次元コードを掲載している。</li> <li>・巻末に「学びの記録」を設けている。</li> <li>・AB判を採用している。</li> </ul>	<p>【読みやすさの工夫】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・内容項目A～Dの視点が分かるようにマークや色で示している。</li> <li>・ユニバーサルフォントを使用している。</li> <li>・カラーユニバーサルデザインに配慮している。</li> <li>・中学校で習う漢字や固有名詞には振り仮名を付けている。</li> <li>・難しい言葉には注釈が付いている。</li> <li>・どの教材も右ページから始まるように構成している。</li> </ul>
232 廣あかつき	中学生の道徳 自分 を見つめる 1 中学生 の道徳ノート 自分 を見つめる 1 中学生の道徳 自分 を考える 2 中学生の 道徳ノート 自分を 考える 2 中学生の道徳 自分 をのぼす 3 中学生の 道徳ノート 自分を のぼす 3	<p>【知識及び技能】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・いじめの問題や人権教育に関わる内容を重点にし、読み物教材とともに資料も合わせて掲載している。</li> <li>・情報モラル、防災、共生など現代的な課題についての教材を掲載している。</li> </ul> <p>【思考力、判断力、表現力等】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・道徳的行為に関する体験的な学習や問題解決的な学習などの学習ができる教材を掲載している。</li> <li>・「学習の手がかり」でねらいを示し、問いを掲載している。</li> <li>・「考えを広げる・深める」では、自分のことや道徳的価値について考える問いを掲載している。</li> </ul> <p>【学びに向かう力、人間性等】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・教材の最後に自己を振り返る手がかりとして、「考えを広げる・深まる」を設けている。</li> <li>・別冊「道徳ノート」には、学習の記録が毎回できるワークシートと資料集を掲載している。</li> <li>・教材と合わせて活用できる資料「thinking」を掲載している。</li> </ul> <p>【かわさき教育プラン】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・巻頭に発達段階に応じて自己を見つめたり、在り方や生き方について考えを深めていけるよう、メッセージ「道徳の時間とは」を掲載している。</li> <li>・「いじめの問題・人権尊重」「生命の尊さ」に関しては重要課題として配当時間を増やして掲載している。</li> </ul>	<p>【主体的・対話的で深い学びに関わる構成】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・巻頭に道徳科で何を学ぶかを掲載している。</li> <li>・各教材の末尾に、偉人・著名人の格言・名言を掲載している。</li> <li>・発達の段階を考え、本冊のテーマを「自分を見つめる→考える→伸ばす」としている。</li> </ul> <p>【分量・装丁】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・35教材を掲載している。</li> <li>・関連資料が見られる二次元コードを掲載している。</li> <li>・別冊「道徳ノート」は資料集として活用できる部分と記述の部分で構成している。</li> <li>・別冊「道徳ノート」は、自由に書き込める形式になっている。</li> <li>・AB判を採用している。</li> </ul>	<p>【読みやすさの工夫】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・内容項目A～Dの視点が分かるようにマークや色で示している。</li> <li>・1年生は文字を大きめにし読みやすくしている。</li> <li>・ユニバーサルデザインにこだわり、色覚特性によらず識別しやすい配色にしている。</li> <li>・未習の漢字には振り仮名を付けている。</li> </ul>

発行者の番号 略称	書名	内容	構成・分量・装丁	表記・表現
233 日科	道徳 中学1 生き 方から学ぶ 道徳 中学2 生き 方を見つめる 道徳 中学3 生き 方を創造する	<p>【知識及び技能】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・「いじめを許さない心を育てる」というテーマで3年間を通して教材を掲載している。</li> <li>・先人の気高い生き方から生きる勇気や知恵などを感じることができる教材を掲載している。</li> <li>・情報モラルに関して、LINEやインターネットを話題にした内容などを系統的に学習できる教材を掲載している。</li> </ul> <p>【思考力、判断力、表現力等】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・より知識を深め、考えを深める「もっと知りたい」を掲載している。</li> <li>・教材ごとに「考え・話し合ってみよう・そして深めよう」を設け、生徒の思考を揺さぶる問いを掲載している。</li> <li>・物語や意見文、伝記など、多様な教材を掲載している。</li> </ul> <p>【学びに向かう力、人間性等】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・昔の偉人の生き方から学ぶ教材だけでなく、物語やニュースなども教材として掲載している。</li> <li>・巻末に内容項目ごとに振り返りができるワークシートを設けている。</li> <li>・自分ごととして考えられるように、生徒の日常生活に関連した内容の教材を掲載している。</li> </ul> <p>【かわさき教育プラン】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・いじめの問題について、直接的に扱う教材と関連する内容項目から考える教材を掲載している。</li> </ul>	<p>【主体的・対話的で深い学びに関わる構成】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・内容項目A～Dの順に教材を掲載している。</li> <li>・「道徳科で学ぶこと」と題して、授業の取り組み方を掲載している。</li> <li>・教材に関連したデータや、補足の資料を掲載している。</li> <li>・教科書に考えを記入できる教材を掲載している。</li> </ul> <p>【分量・装丁】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・1年、2年は37教材、3年は38教材を掲載している。</li> <li>・巻末の振り返りやテーマで振り返ることもできるようになっている。</li> <li>・B5判を採用している。</li> </ul>	<p>【読みやすさの工夫】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・内容項目A～Dの視点が分かるように色で示している。</li> <li>・教材文は同じ書体を使用している。</li> <li>・本文と注釈の間にはラインが表記されている。</li> <li>・内容項目ごとに教材タイトルと「考え・話し合ってみよう・そして深めよう」の色を統一している。</li> </ul>